

土木工事標準設計図集

青森県県土整備部

土木工事標準設計図集 目次

種 類	名 称		記 号	規 格	図面番号
側溝類()	L 型側溝	プレキャスト鉄筋コンクリート	LS1-B	JIS A 5372 B250A	-0101
		プレキャスト鉄筋コンクリート	LS1-B	JIS A 5372 B250B B350 B300	-0102
		プレキャスト鉄筋コンクリート	LS2-h	h200 h250	-0201
		組合せ	LS3-M, F-T	JIS A 5371 T180 ~ T270 M型 T180 ~ T270 F型	-0301
		プレキャスト鉄筋コンクリート	LS3-1-h	h200 -T200 h200 -T250	-0401
	U 型側溝	プレキャスト	US1-A-B	JIS A 5372 1種 JIS A 5372 1種(ふた) B240 ~ B600	-1001
		プレキャスト	US1-B-B	JIS A 5372 2種(ふた) B240 ~ B600	-1101
		プレキャスト	US3-B	JIS A 5372 3種 JIS A 5372 3種(ふた) B300A ~ B500B	-1201
		グレーチング蓋	FG3-B1, B2-B	B1-B300 ~ B500 B2-B300 ~ B500(ハ-7タイプ)	-1202
	自由勾配側溝	プレキャスト	US9-B-B -H	B300-H300 ~ H1100 B400-H400 ~ H1200 FC9-B300, B400(ふた)	-1301(1)
		プレキャスト	US9-B-B -H	B500-H400 ~ H1400 B600-H400 ~ H1500 FC9-B500, B600(ふた)	-1301(2)
	自由勾配側溝用ふた		(FG9, FH9)-B	FG9-A1, A2-B300 ~ B600 FG9-B-B300 ~ B600 FH9-B-B300 ~ B600	-1401
	ベンチフリューム	プレキャスト	BF1-B	JIS A 5372 B200 ~ B1000	-1501
	集水ます	場所打ち	SM-B -H	B 500-L 500-H 700 ↓ B 900-L 900-H1800 B1000-L1000-H1200 ↓ B1500-L1500-H2000	-2101(1)
				-2101(2)	
	路面排水ます	プレキャスト	RHM	B 400-H 400 (グレーチングふた付)	-2110
	集水ますふた	縞鋼板	FSM-B	B 500 ~ B1500	-2115
	組合せ暗渠	プレキャスト JISタイプ	KA2-A-B	JIS A 5372 B 240 ~ B 600	-3101
		プレキャスト側溝タイプ	KA3-A-B	B 240 ~ B 600	-3110
	ベンチボックス	プレキャストベンチフリュームタイプ	BF-B-B	B 300 ~ B1000	-3120
地下排水、素堀側溝	UD-A, B	SS	径 200	-4101	

種 類	名 称		記 号	規 格	図面番号
管渠類()	管渠適用索引表		PK		-0101
	管渠	固定基礎	PK1-D(90° 巻)	JIS A 5372, JIS A 5373 D 600, D 900 D1200	-0111
		固定基礎	PK2-D(180° 巻)	JIS A 5372, JIS A 5373 D 600, D 900 D1200	-0121
		固定基礎	PK3-D(360° 巻)	JIS A 5372 1種管 D 600, D 900	-0131
		呑口工	NPK1-D	D 600 D 900 D1200	-0141
		吐口工	HPK2-D	D 600 D 900 D1200	-0151
函渠類()	小型暗渠	プレキャスト	RCB-B -H	B 300×H 300 B 400×H 400 B 500×H 500	-0101
	R C ボックス	プレキャスト	RCB-B -H	B 600×H 600 ↓ B2000×H2000	-0201
	P C ボックス	プレキャスト	PCB-B -H	B1000×H1000 ↓ B2000×H2000	-0301
縁石類()	歩車道境界工		HB-M, F	JIS A 5371 C種 M型, F型	-0101
擁壁類()	ブロック積擁壁	裏込コン有	BW1-H -U -N	JIS A 5371 H=1000 1:0.3 (質量区分A) ↓ 1:0.4 H=5000 1:0.5	-0102
	基礎工	ブロック積擁壁用	KC -b	b 100 b 150	-0103
	天端工	ブロック積擁壁用	TC -b -U	b 100 b 150 U1 or U2	-0104
	小口止工	ブロック積擁壁用	BWK-H	1:0.5 U1 or U2	-0105
	L 型擁壁	プレキャスト	PW-H	H1000 ↓ H3000	-0201
	小型重力式擁壁適用索引表		SGW		-0301
	小型重力式擁壁	SGW 1 ~ SGW15	SGW	1:0.00 1:0.40 H 500 1:0.20 1:0.50 1:0.30	-0302
		SGW16 ~ SGW26	SGW	H1000 1:0.00 1:0.20	-0303
		SGW27 ~ SGW39	SGW	H1000 1:0.30 1:0.40 1:0.50	-0304
		SGW40 ~ SGW54	SGW	H1500 1:0.00 1:0.20	-0305
		SGW55 ~ SGW67	SGW	H1500 1:0.30 1:0.40 1:0.50	-0306
		SGW68 ~ SGW81	SGW	H2000 1:0.00 1:0.20	-0307

土木工事標準設計図集 目次

種 類	名 称		記 号	規 格	図面番号	
擁壁類 ()	小型重力式擁壁	SGW82 ~ SGW98	SGW	H2000 1:0.30 1:0.40 1:0.50	-0308	
	重力式擁壁適用索引表		GW		-0401(1)	
			GW		-0401(2)	
	重力式擁壁	GW 1 ~ GW14	GW	H1000 1:0.00 1:0.40 1:0.20 1:0.50 1:0.30	-0402	
		GW15 ~ GW22	GW	H2000 1:0.00 1:0.20	-0403	
		GW23 ~ GW34	GW	H2000 1:0.30 1:0.40 1:0.50	-0404	
		GW35 ~ GW44	GW	H3000 1:0.00 1:0.20	-0405	
		GW45 ~ GW61	GW	H3000 1:0.30 1:0.40 1:0.50	-0406	
		GW62 ~ GW75	GW	H4000 1:0.20 1:0.30	-0407	
		GW76 ~ GW87	GW	H4000 1:0.40 1:0.50	-0408	
		GW88 ~ GW105	GW	H5000 1:0.20 1:0.30	-0409	
		GW106 ~ GW121	GW	H5000 1:0.40 1:0.50	-0410	
		法面保護類 ()	法枠ブロック	プレキャスト	NB1- -N	道路法面等
	プレキャスト			NB2- -N	急傾斜地法面	-0102
法枠ブロック	基礎工		KCN -N	1型：道路法面等 2型：急傾斜地法面	-0103	

種 類	名 称		記 号	規 格	図面番号	
防護柵類 ()	路側用ガードレール	標準型	Gr- -4E	支柱間隔 4000	-0101	
	路側用ガードレール	標準型	Gr- -2B	支柱間隔 2000	-0201	
	路側用ガードレール	耐雪型	Gr- - E	支柱間隔 2000, 3000, 4000	-0301	
	路側用ガードレール	耐雪型	Gr- -2B	支柱間隔 2000	-0401	
	ビーム補強金具		HK-	A種 B種 C種	-0501	
	根巻コンクリート	現場打ち	NC-	支柱間隔 2000, 3000, 4000	-0601	
	根巻コンクリート ブロック	プレキャスト	NC-	支柱間隔 2000, 3000, 4000	-0701	
	防止柵基礎	現場打ち	BK-	A型：横断防止柵 B型：転落防止柵	-0801	
	道路標識適用索引表			DH		-0101(1)
				DH		-0101(2)
道路標識支柱	単柱式	DHP-T	柱外径 60.5, 76.3, 89.1	-0201		
	複柱式	DHP-W	柱外径 60.5, 76.3	-0301		
	片持式・梁材 1本	DHP-KF1	標識板の縦寸法(A) 1500mm未満	-0401		
	片持式・梁材 2本	DHP-KF2	標識板の縦寸法(A) 1500mm以上	-0501		
道路標識基礎	単柱式	DHK-T	単柱式に適用	-0601		
	複柱式	DHK-W	複柱式に適用	-0701		
	片持式直接基礎 (無筋)	DHK-KF1	片持式 F K 型 直接基礎、無筋構造物 F型：平坦地盤, S型：法肩部	-0801		
	片持式直接基礎 (鉄筋)	DHK-KF2	片持式 K F 型 直接基礎、鉄筋構造物 F型：平坦地盤, S型：法肩部	-0901		
	片持式直接基礎 (鉄筋)	DHK-KF2		-1001		
	片持式杭基礎 (鉄筋)	DHK-KF3	片持式 K F 型 杭基礎、鉄筋構造物 平坦地盤を对象	-1101		
	片持式杭基礎 (鉄筋)	DHK-KF3		-1201		

青森県県土整備部 土木工事標準設計図集 取扱要領

(目的)

1. この標準設計図集は、青森県県土整備部において施工する土木工事の共通な構造物の標準化と規格化を図り、もって土木工事の設計、積算、契約、施工等の業務の簡素化並びに構造物の精度の向上を図ることを目的とする。

(適用)

2. この標準設計図集は、施工条件による変化が少なく、かつ汎用性のある共通な構造物の標準的な設計条件及び適用条件において適用できるものであり、特別な設計条件、適用条件に係る構造物については別途考慮するものとする。

(取り扱い)

3. この標準設計図集によった場合は、設計図書に該当の工種、記号を明記し、当該工種の図面は原則としてその都度添付しなくてもよい。

(電子データ)

4. 電子納品の運用に伴い、C A D設計図面の作成に資するために、本標準設計図集の電子データをS X F (sfc)形式で提供することとする。

電子データ利用上の注意事項

1. 電子データの元本の著作に関する権利は青森県県土整備部に帰属する。
2. 電子データの利用及び二次加工データに関する責任は、利用者によるものとし、青森県県土整備部はその責任を負わない。

使用上の注意事項

1. 一般事項

- (1) この標準設計図集の使用にあたっては、設計条件、適用条件等の注意事項を熟読し、使用を誤らないように注意すること。

- (2) この標準設計図集の使用にあたっては、次の事に注意すること。

施工場所の位置、地形、地質、水位、完成後の全容を示す一般図などは別途作成する必要がある。

この標準設計図集は、基礎工（杭、置換など）の設計は行っていないので、現場の地盤条件によっては別途検討する必要がある。

設計にあたっては「土木構造物標準設計」、「労働安全衛生規則」、関連する諸基準・マニュアル等を参考に構造、掘削方法他を決定すること。

この設計図集に集録している2次製品を使用する場合は、適用条件、仕様等を満足する製品の中から選ぶものとし、JIS規格以外の製品については品質を確認すること。また、必要に応じ設計計算書も確認すること。

2. 適用示方書等

- (1) この標準設計図集の作成にあたって適用した基準等は、次のとおりである。

「土木構造物標準設計」「解説書及び手引き含む」（建設省）

「土木工事標準設計図集」（東北地方建設局）

「土木工事標準設計図集（道路標識編）」（東北地方建設局）

コンクリート標準示方書（土木学会）

土木製図基準（平成10年 土木学会）

JIS〔日本工業規格〕（日本規格協会）

道路橋示方書、同解説（平成14年3月 日本道路協会）

道路土工 のり面工、斜面安定工指針（平成11年3月 日本道路協会）

道路土工 カルバート工指針（平成11年3月 日本道路協会）

道路土工 擁壁工指針（平成11年3月 日本道路協会）

道路土工 排水工指針（昭和62年6月 日本道路協会）

防護柵の設置基準・同解説（平成10年11月 日本道路協会）

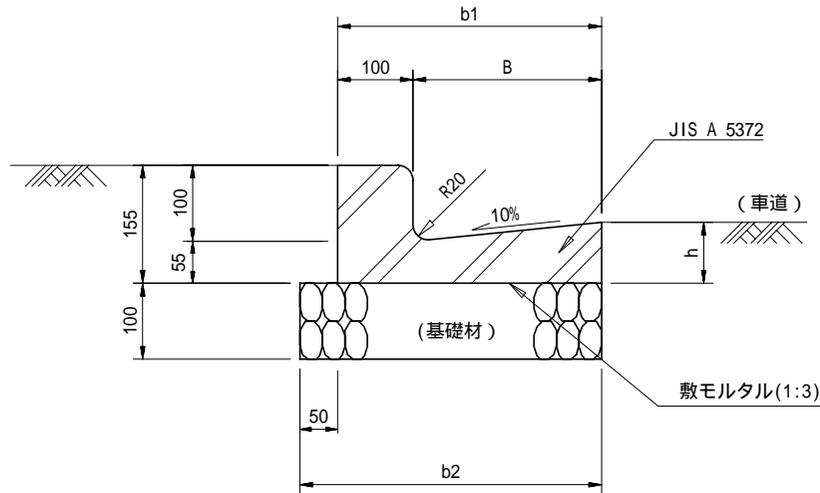
車両防護柵標準仕様書・同解説（平成11年3月 日本道路協会）

- (2) 寸法の単位

図示以外の単位は全てmm単位である。

側溝類

()



〔適用条件〕

軽車両（乗用車または2 t以下のトラック）の影響を考慮する路側に使用する。

〔仕様〕

基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

LS1-B250A-K()-L= m
 (幅) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

寸法表 及び 材料表

側溝 L=0.6m

記号	寸法表 (mm)					参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)		
	B	b1	b2	h	L		側溝個数 (個)	基礎材	
								(m3)	(m2)
LS1-B 250A	250	350	400	80	600	45	16.5	0.4	4

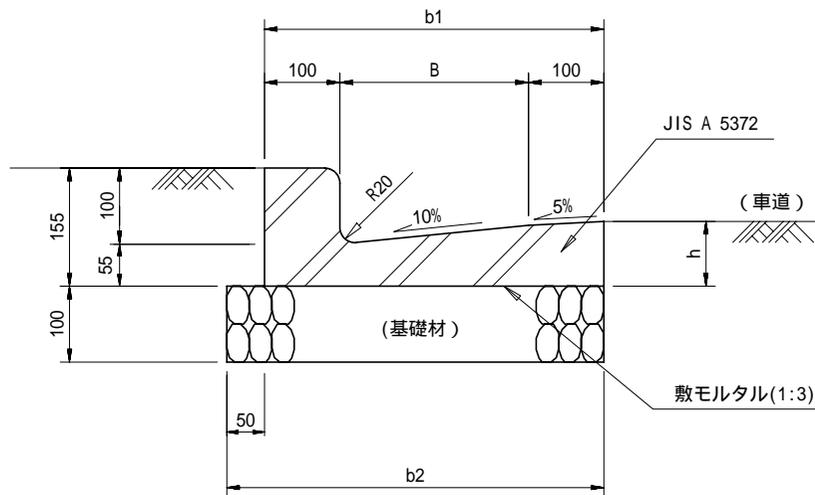
-0101

工種記号

(青森) LS1-B250A
(幅)

名称

L型側溝（プレキャスト鉄筋コンクリート）



〔適用条件〕

軽車両（乗用車または2t以下のトラック）の影響を考慮する路側に使用する。

〔仕様〕

基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

LS1-B () - K () - L = m
 (幅) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

寸法表 及び 材料表

側溝 L=0.6m

記号	寸法表 (mm)					参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)		
	B	b1	b2	h	L		側溝個数 (個)	基礎材	
								(m3)	(m2)
LS1-B 250B	250	450	500	85	600	59	16.5	0.5	5
LS1-B 300	300	500	550	90	600	65	16.5	0.6	6
LS1-B 350	350	550	600	95	600	72	16.5	0.6	6

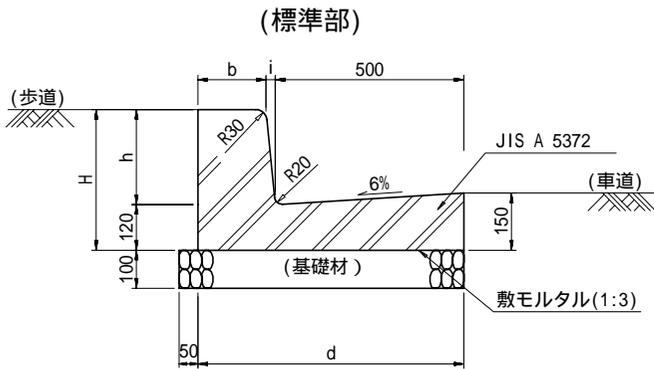
-0102

工種記号

(青森) LS1-B ()
 (幅)

名称

L型側溝（プレキャスト鉄筋コンクリート）



〔適用条件〕

一般車両（T-25相当）の影響を考慮する高盛土で不等沈下が予想される場合や将来移設が考えられる場合等の路側に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 設計基準強度 $c k = 24 \text{ N/mm}^2$
(車両乗り入り部、横断歩道部に適用)
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

LS2-h () - K () - L = m
(高さ) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

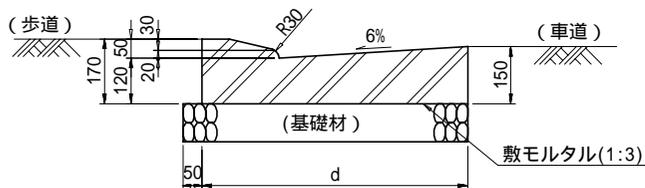
寸法表 及び 材料表

側溝L=2.0m

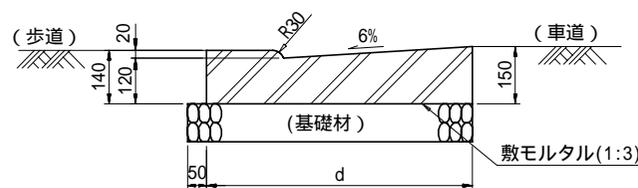
記号	寸法表 (mm)					参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)		
	H	b	d	h	i		側溝個数 (個)	基礎材	
								(m3)	(m2)
LS2-h 200	320	180	700	200	20	621 (186)	5 (16.5)	0.8	8
LS2-h 250	370	180	705	250	25	672 (202)	5 (16.5)	0.8	8

() は、L=0.6mの場合を示す。

(車両乗り入り部)



(横断歩道部)



-0201

工種記号

(青森) LS2-h (高さ)

名称

L型側溝（プレキャスト鉄筋コンクリート）

〔適用条件〕

一般車両（T-2.5相当）の影響を考慮する場合で、歩道部がマウンドアップタイプにはM型、フラットタイプ及びセミフラットタイプにはF型を使用する。

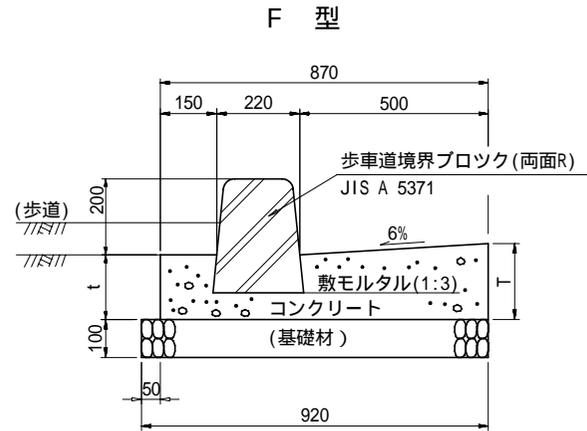
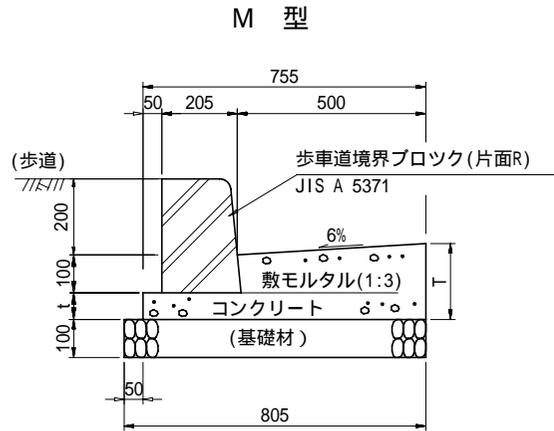
〔仕様〕

1. 歩車道境界ブロックは、片面R・両面R共 L=2,000mmを標準とする。
2. コンクリート 呼び強度 c k = 18N/mm²
3. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。
4. 伸縮目地間隔は1.0m以内とする。

〔設計表示方法〕

LS3-()-T()-K()-L= m
(型) (エプロン厚) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）
K3	基礎材なし



M 型

記号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)					
	T	t	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	ブロック数量 (個)	基礎材		伸縮目地 (m ²)
						(m ³)	(m ²)	
LS3-M-T 180	180	50	0.9	2	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 190	190	60	1.0	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 200	200	70	1.1	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 210	210	80	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 220	220	90	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 260	260	130	1.5	4	5(16.5)	0.8	8	0.2
LS3-M-T 270	270	140	1.6	4	5(16.5)	0.8	8	0.2

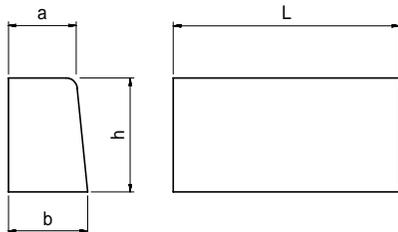
F 型

記号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)					
	T	t	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	ブロック数量 (個)	基礎材		伸縮目地 (m ²)
						(m ³)	(m ²)	
LS3-F-T 180	180	150	1.2	3	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 190	190	160	1.2	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 200	200	170	1.3	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 210	210	180	1.4	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 220	220	190	1.5	4	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 260	260	230	1.8	5	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 270	270	240	1.9	5	5(16.5)	0.9	9	0.2

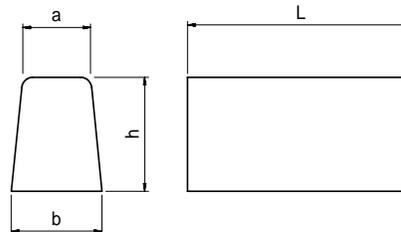
寸法Tは、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。
ブロック個数()内は、ブロック長L=60cmの数量である。

寸法Tは、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。
ブロック個数()内は、ブロック長L=60cmの数量である。

歩車道境界ブロック(片面R)



歩車道境界ブロック(両面R)



歩車道境界ブロック C種(JIS A 5371)

歩車道境界	寸法表 (mm)				参考重量 (kg/個)
	a	b	h	L	
片面R	180	210	300	2,000	270
両面R	180	240	300	2,000	296

-0301

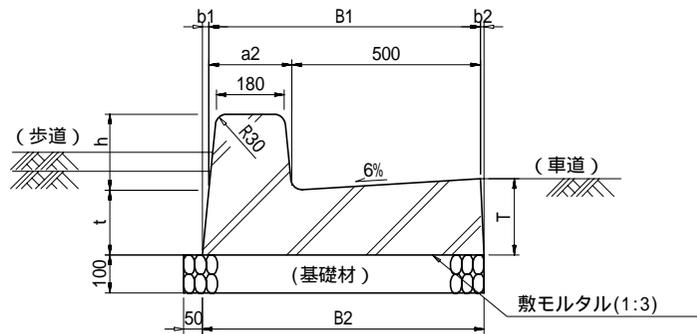
工種記号

(青森) LS3-()-T()
(型) (エプロン厚)

名称

L型側溝(組合せ)

(標準部)



〔適用条件〕

一般車両（T-25相当）の影響を考慮する高盛土で不等沈下が予想される場合や将来移設が考えられる場合等の路側に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 設計基準強度 $c k = 24 N/mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

LS3-1-h () -T () -K () -L = m
 (高さ) (エプロン厚) (基礎材種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

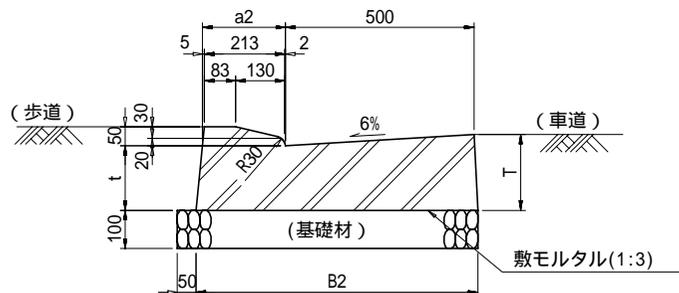
寸法表 及び 材料表

側溝L=2.0m

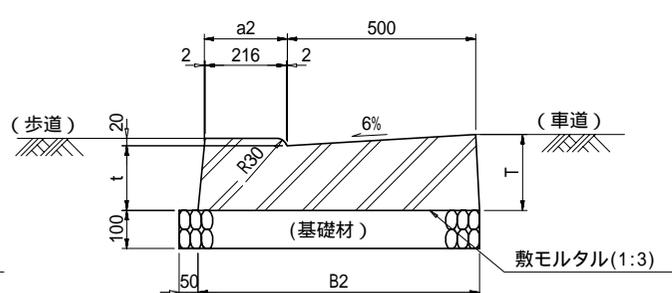
記号	寸法表 (mm)								参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)			
	h	T	t	B1	B2	a2	b1	b2		側溝個数 (個)	基礎材		
											(m3)	(m2)	
LS3-1-h 200-T 200	200	200	170	720	747	220	17	10	790	5	0.8	8	
LS3-1-h 200-T 250	200	250	220	720	755	220	22	13	960	5	0.8	8	

参考質量は、標準部を示す。

(車両乗入部)



(横断歩道部)



-0401

工種記号

(青森) LS3-1-h 200-T ()
 (エプロン厚)

名称

L型側溝（プレキャスト鉄筋コンクリート）

〔適用条件〕

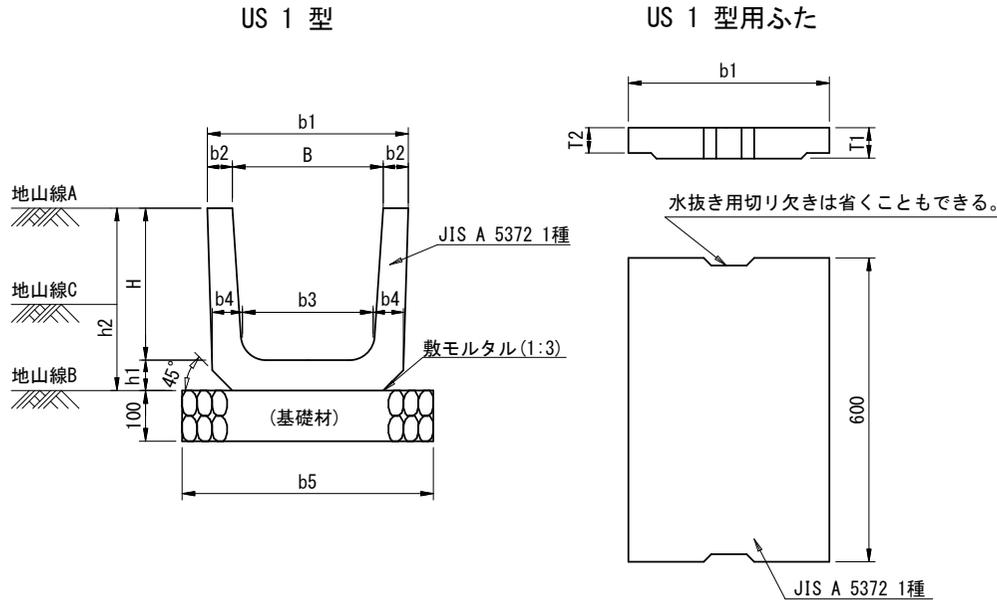
法面の集排水等で、機械施工が困難な場所の「ふたなし」「かぶせふた」に使用する。

〔仕様〕

基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。

〔設計表示方法〕

US1-A-B () -K () -F () -L=〇〇m
 (基礎材の種類) (蓋の有無) (延長)



記号	基礎材の種類	記号	蓋の有無
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）	F 1	あり
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）	F 2	なし
K 3	基礎材なし		

FC1-A型（ふた：JIS A 5372 1種）

記号	寸法表 (mm)			参考重量 (kg/枚)
	b1	T1	T2	
FC1-A-B 240	330	45	40	20
FC1-A-B 300	400	60	50	32
FC1-A-B 360	450	65	55	41
FC1-A-B 450	560	70	60	54
FC1-A-B 600	740	75	65	77

寸法表 及び 材料表

側溝 L=0.6m

記号	寸法表 (mm)									参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)									
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	h1	h2		側溝個数 (個)	ふた枚数 (枚)	基礎材		床掘 (m3)			埋戻し (m3)		
													(m3)	(m2)	A	B	C	A	B	C
US1-A-B 240	240	240	330	45	220	50	440	50	290	55	16.5	16.5	0.4	4	5.1	0.4	3.2	3.8	-	2.3
US1-A-B 300A	300	240	400	50	260	60	500	60	300	70	16.5	16.5	0.5	5	5.5	0.5	3.5	3.9	-	2.4
US1-A-B 300B	300	300	400	50	260	60	500	60	360	79	16.5	16.5	0.5	5	6.3	0.5	3.9	4.5	-	2.7
US1-A-B 300C	300	360	400	50	260	60	500	65	425	92	16.5	16.5	0.5	5	7.2	0.5	4.3	5.1	-	3.0
US1-A-B 360A	360	300	460	50	310	65	560	65	365	90	16.5	16.5	0.6	6	6.7	0.6	4.1	4.5	-	2.7
US1-A-B 360B	360	360	460	50	310	65	560	65	425	99	16.5	16.5	0.6	6	7.6	0.6	4.5	5.1	-	3.0
US1-A-B 450	450	450	560	55	400	70	630	70	520	134	16.5	16.5	0.6	6	9.5	0.6	5.5	6.1	-	3.5
US1-A-B 600	600	600	740	70	540	80	800	80	680	209	16.5	16.5	0.8	8	13.3	0.8	7.5	7.7	-	4.3

※① 設計図及び現地状況から地山線A・B・Cを選択する。

※② 土工数量は、単独構造で算出している。路側及び構造物に接している場合等については別途算出すること。

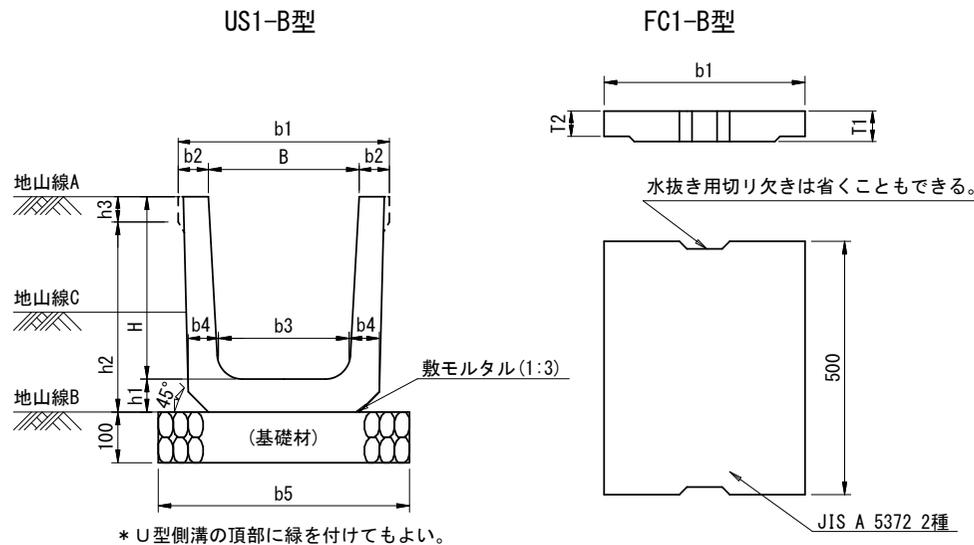
I-1001

工種記号

(青森) US1-A-B ()
 (型) (幅)

名称

U型側溝 (プレキャスト)



* U型側溝の頂部に緑を付けてもよい。

〔適用条件〕

路側に設置され、輪荷重の影響または載荷重が考えられる場合に使用する（T-14相当）。

〔仕様〕

1. コンクリート設計強度 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径 40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
なお、地下排水工の上に設置する場合は基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

US1-B-B () -L () -K () -F () -L=〇〇m
(長さ) (基礎材の種類) (蓋の有無) (延長)

記号	基礎材の種類	記号	蓋の有無
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）	F 1	あり
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）	F 2	なし
K 3	基礎材なし		

FC1-B型（US1-B型用ふた）

記号	寸法表 (mm)			参考重量 (kg/枚)
	b1	T1	T2	
FC1-B-B 240	350	100	85	40
FC1-B-B 300	430	100	85	48
FC1-B-B 360	490	100	85	55
FC1-B-B 450	600	120	100	76
FC1-B-B 600	780	150	130	131

寸法表 及び 材料表

側溝 L=1.0m、L=2.0m

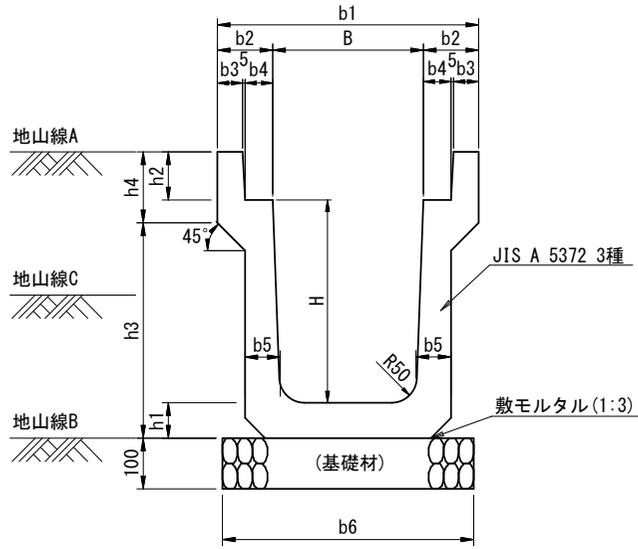
記号	寸法表 (mm)										参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)											
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	h1	h2	h3		L	側溝個数ふた枚数		基礎材			床掘			埋戻し		
													(個)	(枚)	(m3)	(m2)	A	B	C	A	B	C	
US1-B-B 240	240	240	350	55	220	50	440	50	255	35	1,000	92	10	20	0.4	4	4.7	0.4	3.0	3.4	-	2.2	
											2,000	180	5										
US1-B-B 300A	300	240	430	65	260	60	500	60	300	40	1,000	118	10	20	0.5	5	5.5	0.5	3.5	3.9	-	2.4	
											2,000	236	5										
US1-B-B 300B	300	300	430	65	260	60	500	60	310	50	1,000	134	10	20	0.5	5	5.7	0.5	3.5	4.0	-	2.4	
											2,000	268	5										
US1-B-B 300C	300	360	430	65	260	60	500	65	375	50	1,000	153	10	20	0.5	5	6.6	0.5	4.0	4.6	-	2.8	
											2,000	306	5										
US1-B-B 360A	360	300	490	65	310	65	560	65	315	50	1,000	151	10	20	0.6	6	6.0	0.6	3.7	4.0	-	2.5	
											2,000	302	5										
US1-B-B 360B	360	360	490	65	310	65	560	65	370	55	1,000	168	10	20	0.6	6	6.8	0.6	4.1	4.6	-	2.7	
											2,000	336	5										
US1-B-B 450	450	450	600	75	400	70	650	70	460	60	1,000	227	10	20	0.7	7	8.6	0.7	5.1	5.5	-	3.2	
											2,000	454	5										
US1-B-B 600	600	600	780	90	540	80	800	80	610	70	1,000	343	10	20	0.8	8	12.1	0.8	6.9	7.0	-	4.0	
											2,000	686	5										

※① 設計図及び現地の状況から地山線A・B・Cを選択する。

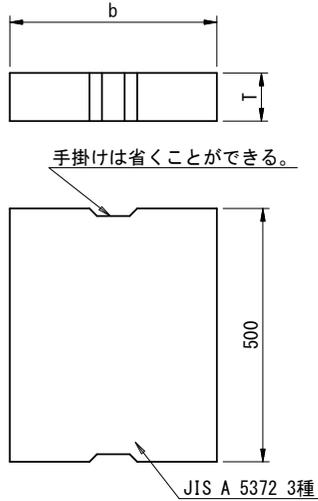
※② 土工数量は、単独構造で算出している。路側及び構造物に接している場合等については別途算出すること。

I-1101	工種記号	(青森) US1-B-B () (型) (幅)	名称	U型側溝（プレキャスト）
--------	------	--------------------------	----	--------------

US3-型



FC3-型



〔適用条件〕

路側または歩道に設置され、輪荷重の影響または載荷重が考えられる場合に使用する（T25相当）。

〔仕様〕

1. 道路用鉄筋コンクリート側溝 JIS A5372 3種（ふた；3種）
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
なお、地下排水工の上に設置する場合は基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

US3-B () -L () -K () -F () -L=〇〇m
 (幅) (長さ) (基礎材の種類) (蓋の有無) (延長)

FC3型（ふた；JIS A5372 3種）

記号	寸法表 (mm)		参考重量 (kg/枚)
	b	T	
FC3-B 300	412	95	46
FC3-B 400	512	110	66
FC3-B 500	622	125	92

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）
K3	基礎材なし

寸法表 及び 材料表

側溝 L=1.0m、L=2.0m

記号	寸法表 (mm)												参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)											
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	b6	h1	h2	h3	h4		L	側溝個数 (個)	ふた枚数 (枚)	基礎材 (m ³)			床掘 (m ³)			埋戻し (m ³)		
																	(m ³)	(m ²)	A	B	C	A	B	C	
US3-B 300A	300	300	520	110	50	55	70	500	70	95	325	140	1,000	209	10	20	0.5	5	8	0.6	2.6	6.6	-	2.4	
													2,000	419	5										
US3-B 300B	300	400	520	110	50	55	70	500	70	95	425	140	1,000	235	10	20	0.5	5	9.4	0.5	3.3	7.7	-	2.9	
													2,000	471	5										
US3-B 300C	300	500	520	110	50	55	80	500	80	95	535	140	1,000	292	10	20	0.5	5	11	0.5	4.1	8.8	-	3.5	
													2,000	585	5										
US3-B 400A	400	400	630	115	55	55	70	600	70	110	440	140	1,000	258	10	20	0.6	6	10.3	0.6	3.6	7.8	-	3	
													2,000	516	5										
US3-B 400B	400	500	630	115	55	55	80	600	80	110	550	140	1,000	317	10	20	0.6	6	12	0.6	4.5	8.9	-	3.5	
													2,000	634	5										
US3-B 500A	500	500	750	125	60	60	80	700	80	125	550	155	1,000	350	10	20	0.7	7	13.1	0.7	4.9	9.1	-	3.6	
													2,000	700	5										
US3-B 500B	500	600	750	125	60	60	90	700	90	125	640	175	1,000	424	10	20	0.7	7	14.9	0.8	5.8	10.4	-	4.2	
													2,000	849	5										

※① 設計図及び現地の状況から地山線A・B・Cを選択する。

※② 土工数量は、単独構造で算出している。路側及び構造物に接している場合等については別途算出すること。

I-1201

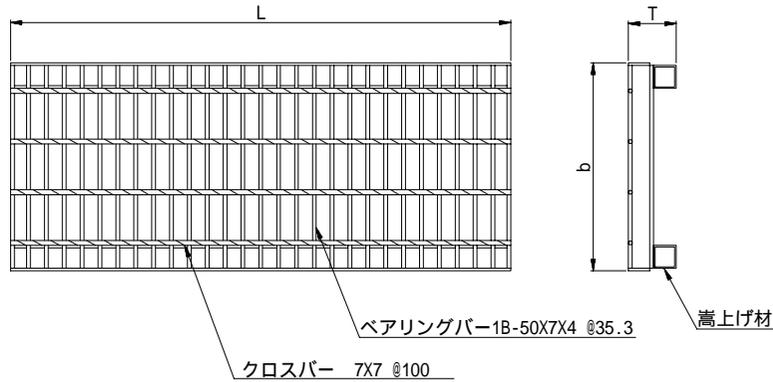
工種記号

(青森) US3-B () (幅)

名称

U型側溝（プレキャスト）

FG3-B1型



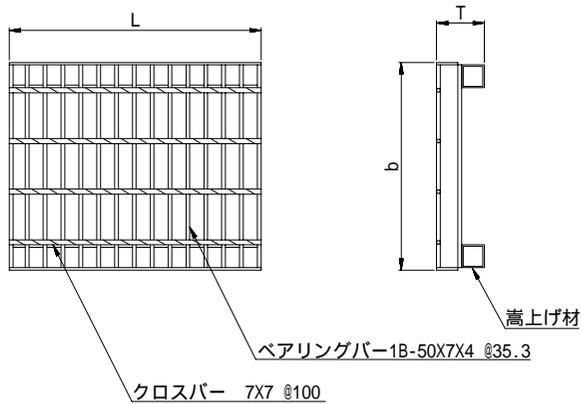
〔適用条件〕

US3型側溝用ふたとして使用する。(T25相当)

〔設計表示方法〕

FG3-B()-B()-N= 枚
(型) (幅)

FG3-B2型



FG3-B型(ふた; グレーチング)

記号	寸法表 (mm)			参考重量 (kg/枚)
	b	T	L	
FG3-B1-B300	410	95	995	36
FG3-B1-B400	510	110	995	51
FG3-B1-B500	620	125	995	79
FG3-B2-B300	410	95	501	18
FG3-B2-B400	510	110	501	27
FG3-B2-B500	620	125	501	40

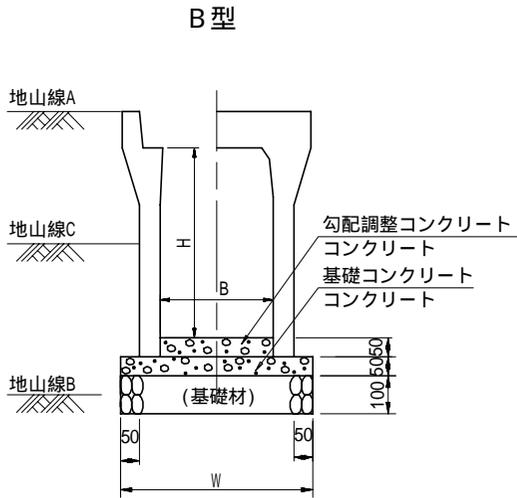
-1202

工種記号

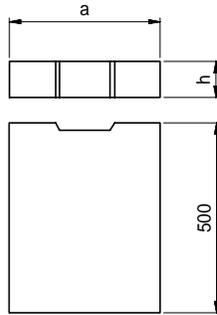
(青森) FG3-B()-B()
(型) (幅)

名称

U型側溝用グレーチング蓋



B型用ふた
FC9-B2(車道用)



記号	寸法表 (mm)		参考重量 (kg/枚)
	a	h	
FC9-B2-B-300	400	95	42
FC9-B2-B-400	500	110	61

〔適用条件〕

主として車道（T-25相当）に平行して用い、動水勾配を確保する必要がある場合（自由勾配）や深溝を必要とする場合に使用する。

〔仕様〕

- コンクリート設計基準強度 c k=30N/mm²
 コンクリート許容曲げ圧縮応力度 c a=10N/mm²
 鉄筋の許容引張応力度（SD295） s a=180N/mm²
 鉄筋の許容引張応力度（SWM-B相当） s a=140N/mm²
- コンクリート呼び強度
 勾配調整コンクリート c k=18N/mm²
 基礎コンクリート c k=18N/mm²
- 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
- 蓋の種類については、コンクリート製（FC9）、グレーチング製（FG9）または、覆工版型（FH9）とし、現地の状況に合わせて選択し、別途計上すること。

〔設計表示方法〕

US9-B-B()-H()-K()-L= m
 (型) (幅) (高さ) (基礎材の種類) (延長)

側溝 L=2.0m

寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)			参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)											備考		
	B	H	W		側溝 個数 (個)	勾配調整 コンクリート (m ³)	基礎 コンクリート (m ³)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 t=10cm		床掘 (m ³)			埋戻し (m ³)			
										(m ³)	(m ²)	A	B	C	A		B	C
US9-B-B300-H 300	300	300	500	326	5	0.30	0.25	0.6	1	0.5	5	8.3	0.5	4.9	5.7	-	3.3	
US9-B-B300-H 400	300	400	510	403	5	0.30	0.26	0.6	1	0.5	5	9.8	0.5	5.6	6.6	-	3.8	
US9-B-B300-H 500	300	500	510	455	5	0.30	0.26	0.6	1	0.5	5	11.2	0.5	6.3	7.6	-	4.3	
US9-B-B300-H 600	300	600	530	560	5	0.30	0.27	0.6	1	0.5	5	12.8	0.5	7.1	8.7	-	4.8	
US9-B-B300-H 700	300	700	530	625	5	0.30	0.27	0.6	1	0.5	5	14.2	0.5	7.8	9.7	-	5.3	
US9-B-B300-H 800	300	800	550	760	5	0.30	0.28	0.6	1	0.6	6	21.9	0.6	8.7	16.7	-	5.8	
US9-B-B300-H 900	300	900	550	830	5	0.30	0.28	0.6	1	0.6	6	24.5	0.6	9.4	18.9	-	6.3	
US9-B-B300-H1000	300	1,000	570	995	5	0.30	0.29	0.6	1	0.6	6	27.4	0.6	10.3	21.1	-	6.8	
US9-B-B300-H1100	300	1,100	570	1,070	5	0.30	0.29	0.6	1	0.6	6	30.2	0.6	11.0	23.5	-	7.3	
US9-B-B400-H 400	400	400	610	459	5	0.40	0.31	0.7	1	0.6	6	10.7	0.6	6.1	6.8	-	3.9	
US9-B-B400-H 500	400	500	620	535	5	0.40	0.31	0.7	1	0.6	6	12.3	0.6	6.9	7.8	-	4.4	
US9-B-B400-H 600	400	600	620	590	5	0.40	0.31	0.7	1	0.6	6	13.8	0.6	7.7	8.8	-	4.9	
US9-B-B400-H 700	400	700	640	715	5	0.40	0.32	0.7	1	0.6	6	20.7	0.6	8.5	14.9	-	5.4	
US9-B-B400-H 800	400	800	640	780	5	0.40	0.32	0.7	1	0.6	6	23.3	0.6	9.3	17.0	-	5.9	
US9-B-B400-H 900	400	900	660	930	5	0.40	0.33	0.7	1	0.7	7	26.2	0.7	10.2	19.2	-	6.4	
US9-B-B400-H1000	400	1,000	660	1,000	5	0.40	0.33	0.7	1	0.7	7	29.0	0.7	11.0	21.4	-	6.9	
US9-B-B400-H1100	400	1,100	680	1,180	5	0.40	0.34	0.7	1	0.7	7	32.2	0.7	11.9	23.8	-	7.4	
US9-B-B400-H1200	400	1,200	680	1,270	5	0.40	0.34	0.7	1	0.7	7	35.3	0.7	12.7	26.3	-	7.9	

設計図および現地の状況から地山線A・B・Cを選択する。
 勾配調整コンクリートの最小厚を5cmとし、数量は10cm等厚として算出している。
 施工にあたっては、勾配調整により変わるので注意すること。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

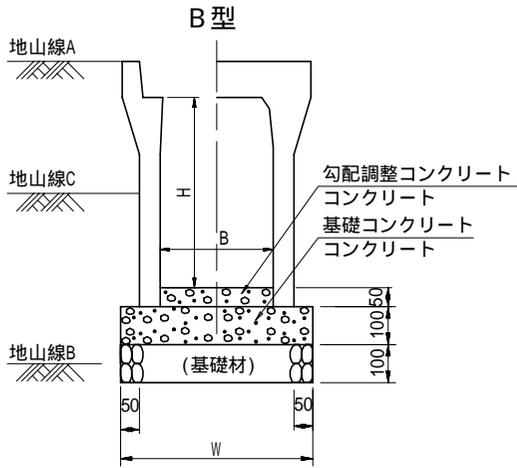
-1301(1)

工種記号

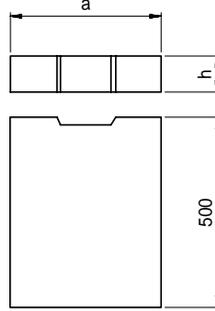
(青森) US9-B-B()-H()

名称

自由勾配側溝（プレキャスト）



B型用ふた
FC9-B2(車道用)



〔適用条件〕

主として車道（T-25相当）に平行して用い、動水勾配を確保する必要がある場合（自由勾配）や深溝を必要とする場合に使用する。

〔仕様〕

- コンクリート設計基準強度 $c k=30N/mm^2$
 コンクリート許容曲げ圧縮応力度 $c a=10N/mm^2$
 鉄筋の許容引張応力度（SD295） $s a=180N/mm^2$
 鉄筋の許容引張応力度（SWM-B相当） $s a=140N/mm^2$
- コンクリート呼び強度 $c k=18N/mm^2$
 勾配調整コンクリート $c k=18N/mm^2$
 基礎コンクリート $c k=18N/mm^2$
- 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
- 蓋の種類については、コンクリート製（FC9）、グレーチング製（FG9）または、覆工板型（FH9）とし、現地の状況に合わせて選択し、別途計上すること。

〔設計表示方法〕

$$US9-B-B()-H()-K()-L= m$$

(型) (幅) (高さ) (基礎材の種類) (延長)

側溝 L=2.0m

寸法表及び材料表

記号	寸法表 (mm)		参考重量 (kg/枚)
	a	h	
FC9-B2-B-500	600	125	84
FC9-B2-B-600	700	140	111

記号	寸法表 (mm)			参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)											備考		
	B	H	W		側溝個数 (個)	勾配調整コンクリート (m3)	基礎コンクリート (m3)	コンクリート計 (m3)	型枠 (m2)	基礎材 t=10cm		床掘 (m3)			埋戻し (m3)			
										(m3)	(m2)	A	B	C	A		B	C
US9-B-B500-H 400	500	400	720	545	5	0.50	0.72	1.2	2	0.7	7	12.6	0.7	7.1	7.4	-	4.2	
US9-B-B500-H 500	500	500	720	600	5	0.50	0.72	1.2	2	0.7	7	14.2	0.7	7.9	8.4	-	4.7	
US9-B-B500-H 600	500	600	740	715	5	0.50	0.74	1.2	2	0.7	7	16.0	0.7	8.8	9.4	-	5.2	
US9-B-B500-H 700	500	700	740	780	5	0.50	0.74	1.2	2	0.7	7	17.6	0.7	9.6	10.4	-	5.7	
US9-B-B500-H 800	500	800	740	845	5	0.50	0.74	1.2	2	0.7	7	19.3	0.7	10.5	11.4	-	6.2	
US9-B-B500-H 900	500	900	770	1,040	5	0.50	0.77	1.3	2	0.8	8	29.4	0.8	11.5	20.6	-	6.7	
US9-B-B500-H1000	500	1,000	770	1,120	5	0.50	0.77	1.3	2	0.8	8	32.4	0.8	12.3	22.9	-	7.2	
US9-B-B500-H1100	500	1,100	770	1,200	5	0.50	0.77	1.3	2	0.8	8	35.5	0.8	13.2	25.3	-	7.7	
US9-B-B500-H1200	500	1,200	790	1,390	5	0.50	0.79	1.3	2	0.8	8	39.0	0.8	14.2	28.0	-	8.2	
US9-B-B500-H1300	500	1,300	790	1,480	5	0.50	0.79	1.3	2	0.8	8	42.3	0.8	15.0	30.6	-	8.7	
US9-B-B500-H1400	500	1,400	790	1,570	5	0.50	0.79	1.3	2	0.8	8	45.8	0.8	15.8	33.3	-	9.2	
US9-B-B600-H 400	600	400	830	640	5	0.60	0.83	1.4	2	0.8	8	13.7	0.8	7.7	7.5	-	4.3	
US9-B-B600-H 500	600	500	830	700	5	0.60	0.83	1.4	2	0.8	8	15.4	0.8	8.6	8.5	-	4.8	
US9-B-B600-H 600	600	600	830	760	5	0.60	0.83	1.4	2	0.8	8	17.1	0.8	9.4	9.5	-	5.3	
US9-B-B600-H 700	600	700	850	890	5	0.60	0.85	1.5	2	0.9	9	25.0	0.9	10.4	16.5	-	5.8	
US9-B-B600-H 800	600	800	850	960	5	0.60	0.85	1.5	2	0.9	9	27.9	0.9	11.3	18.6	-	6.3	
US9-B-B600-H 900	600	900	850	1,030	5	0.60	0.85	1.5	2	0.9	9	30.9	0.9	12.2	20.8	-	6.8	
US9-B-B600-H1000	600	1,000	880	1,240	5	0.60	0.88	1.5	2	0.9	9	34.4	0.9	13.3	23.3	-	7.3	
US9-B-B600-H1100	600	1,100	880	1,320	5	0.60	0.88	1.5	2	0.9	9	37.6	0.9	14.2	25.7	-	7.8	
US9-B-B600-H1200	600	1,200	880	1,410	5	0.60	0.88	1.5	2	0.9	9	40.9	0.9	15.0	28.2	-	8.3	
US9-B-B600-H1300	600	1,300	900	1,620	5	0.60	0.90	1.5	2	0.9	9	44.7	0.9	16.1	31.0	-	8.8	
US9-B-B600-H1400	600	1,400	900	1,710	5	0.60	0.90	1.5	2	0.9	9	48.2	0.9	17.0	33.7	-	9.3	
US9-B-B600-H1500	600	1,500	900	1,800	5	0.60	0.90	1.5	2	0.9	9	51.9	0.9	17.9	36.6	-	9.8	

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

設計図および現地の状況から地山線A・B・Cを選択する。
 勾配調整コンクリートの最小厚を5cmとし、数量は10cm等厚として算出している。
 施工にあたっては、勾配調整により変わるので注意すること。

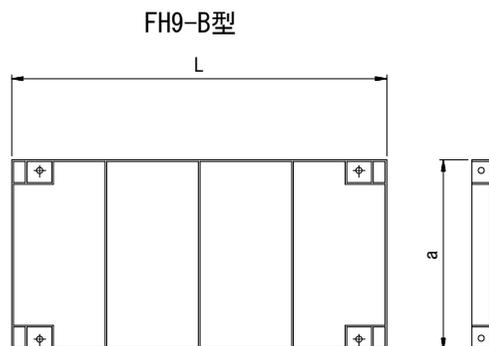
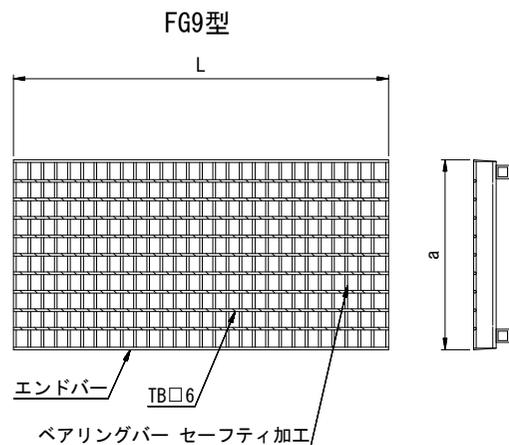
-1301(2)

工種記号

(青森) US9-B-B(型)-H(高さ)

名称

自由勾配側溝（プレキャスト）



〔適用条件〕

自由勾配側溝（US9）用ふたとして使用する。（T-25相当）

〔仕様〕

1. 蓋の種類については、コンクリート製（FC9）、グレーチング蓋（FG9）、または覆工版型（FH9）とし、現地の状況に合わせて選択すること。

〔設計表示方法〕

FC9-B2-B () -N=〇〇枚
(型) (幅)

FG9-A,B (1,2) -B () -N=〇〇枚

FH9-B-B () -N=〇〇枚

FG9-A1、A2型（車道用 T-25相当）

記号	寸法表 (mm)		参考重量 (kg/枚)	10m当り蓋枚数 (枚)
	a	L		
FG9-A1-B300	400	995	23	5
FG9-A1-B400	500	995	36	5
FG9-A1-B500	600	995	51	5
FG9-A1-B600	700	995	70	5

FH9-B型（覆工版型 T-25相当）

記号	寸法表 (mm)		参考重量 (kg/枚)	10m当り蓋枚数 (枚)
	a	L		
FH9-B300	400	995	67	5
FH9-B400	500	995	94	5
FH9-B500	600	995	121	5
FH9-B600	700	995	159	5

FG9-B型（横断用 T-25相当）

記号	寸法表 (mm)		参考重量 (kg/枚)	10m当り蓋枚数 (枚)
	a	L		
FG9-B-B300	400	995	30	5
FG9-B-B400	500	995	43	5
FG9-B-B500	600	995	54	5
FG9-B-B600	700	995	70	5

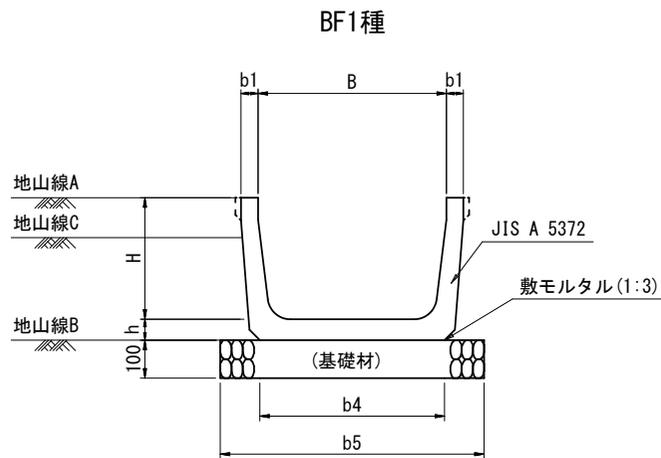
I-1401

工種記号

(青森) FC9 (FG9, FH9) - () -B ()
(型) (幅)

名称

自由勾配側溝（プレキャスト）



* ベンチフリュームの頂部に緑を付けてもよい。

〔適用条件〕

輪荷重の影響または載荷重を受けない法尻等や、法面の集排水等に使用する。

〔仕様〕

1. 基礎材は、再生砕石（最大粒径 40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。なお、法面排水溝として設置する場合は、基礎材は不要である。
2. 継ぎ手方法には、BF1種（突き合せ方式）、BF2種（ソケット方式）があり現地の状況に合わせて選択する。

〔設計表示方法〕

BF1-B () -L () -K () -L=〇〇m
 (幅) (長さ) (基礎材の種類) (延長)

寸法表及び材料表

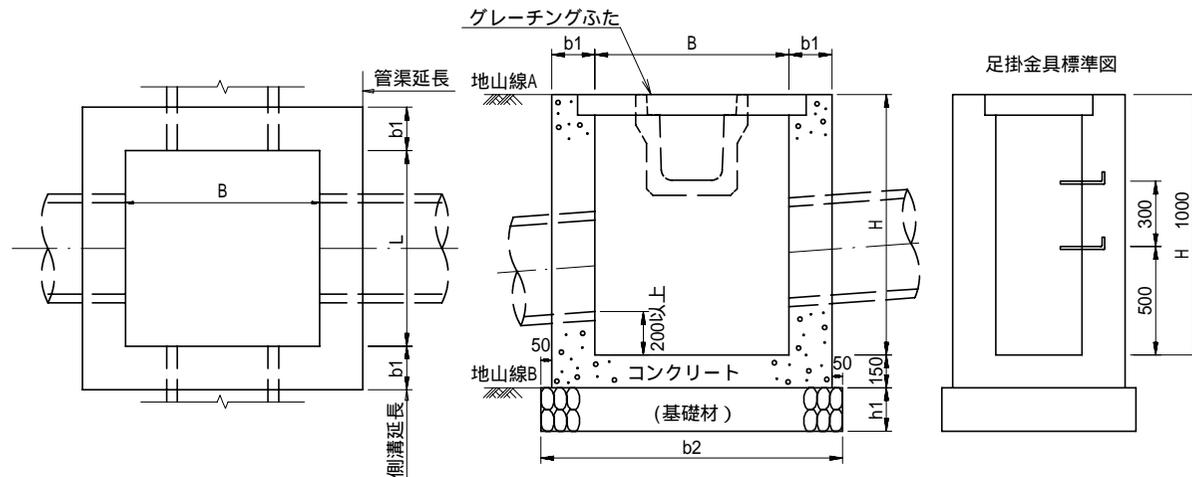
側溝 L=1.0m、L=2.0m

記号	寸法表 (mm)							参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)									
	B	H	b1	b4	b5	h	L		側溝個数 (個)	基礎材		均し型枠 (m ²)	床掘 (m ³)			埋戻し (m ³)		
										(m ³)	(m ²)		A	B	C	A	B	C
BF1-B 200	200	150	30	205	405	35	1,000	45	10	0.4	4	2	3.5	0.4	2.4	2.7	-	1.7
							2,000	90	5									
BF1-B 250	250	175	30	250	450	35	1,000	53	10	0.5	5	2	4.0	0.5	2.6	2.9	-	1.9
							2,000	106	5									
BF1-B 300	300	200	30	300	500	40	1,000	68	10	0.5	5	2	4.6	0.5	2.9	3.2	-	2.0
							2,000	136	5									
BF1-B 350	350	235	35	345	545	45	1,000	90	10	0.5	6	2	5.3	0.5	3.3	3.6	-	2.2
							2,000	180	5									
BF1-B 400	400	260	40	395	595	50	1,000	114	10	0.6	6	2	5.9	0.6	3.7	3.9	-	2.3
							2,000	227	5									
BF1-B 450	450	295	40	440	640	50	1,000	127	10	0.6	6	2	6.6	0.6	4.1	4.2	-	2.5
							2,000	253	5									
BF1-B 500	500	320	45	490	690	55	1,000	154	10	0.7	7	2	7.3	0.7	4.4	4.5	-	2.6
							2,000	308	5									
BF1-B 550	550	355	45	535	735	60	1,000	176	10	0.7	7	2	8.2	0.0	4.9	4.9	-	2.8
BF1-B 600	600	380	45	580	780	60	1,000	189	10	0.8	8	2	8.9	0.7	5.2	5.2	-	3.0
BF1-B 650	650	415	45	630	830	65	1,000	219	10	0.8	8	2	9.8	0.8	5.8	5.6	-	3.2
BF1-B 700	700	440	50	680	880	70	1,000	254	10	0.9	9	2	10.7	0.8	6.2	5.8	-	3.3
BF1-B 800	800	490	50	770	970	75	1,000	299	10	1.0	10	2	12.3	0.9	7.1	6.4	-	3.6
BF1-B 900	900	550	55	870	1070	85	1,000	379	10	1.1	11	2	14.4	1.0	8.2	7.1	-	3.9
BF1-B1000	1000	600	55	965	1165	90	1,000	435	10	1.2	12	2	16.2	1.1	9.1	7.6	-	4.2

※① 設計図及び現地の状況から地山線A・B・Cを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

I-1501	工種記号	(青森) BF1-B (幅)	名称	ベンチフリューム (プレキャスト)
--------	------	----------------	----	-------------------



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない場所に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18N/mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. まず本体は無筋コンクリートとしているが、必要に応じて足掛金具設置箇所にも補強鉄筋を考慮すること。

〔設計表示方法〕

SM-B () - H ()
(幅) (高さ)

寸法表及び材料表

記号	寸法表 (mm)				参考数量表 (10箇所当り)								足掛金具 (10箇所当り)		
	H	b1	b2	h1	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材 (m3)		床堀 (m3)		埋戻し (m3)		一本当り質量 (kg)	本数	参考質量 (kg)
SM-B 500-L 500-H 700	700	150	900	150	3.7	44	1.2	8	55.6	1.2	49.0	-	-	-	-
SM-B 500-L 500-H 800	800	150	900	150	4.1	49	1.2	8	63.3	1.2	56.0	-	-	-	-
SM-B 500-L 500-H 900	900	150	900	150	4.5	55	1.2	8	71.7	1.2	63.8	-	-	-	-
SM-B 500-L 500-H1000	1,000	150	900	150	4.9	60	1.2	8	80.7	1.2	72.1	-	-	-	-
SM-B 600-L 600-H 800	800	150	1,000	150	4.8	57	1.5	10	70.7	1.5	61.5	-	-	-	-
SM-B 600-L 600-H 900	900	150	1,000	150	5.3	63	1.5	10	79.6	1.5	69.6	-	-	-	-
SM-B 600-L 600-H1000	1,000	150	1,000	150	5.7	69	1.5	10	89.2	1.5	78.4	-	-	-	-
SM-B 600-L 600-H1200	1,200	200	1,100	200	9.2	86	2.4	12	126.8	2.4	110.9	-	-	-	-
SM-B 700-L 700-H1000	1,000	150	1,100	150	6.6	78	1.8	12	98.1	1.8	84.8	-	-	-	-
SM-B 700-L 700-H1200	1,200	200	1,200	200	10.5	97	2.9	14	139.1	2.9	119.9	-	-	-	-
SM-B 700-L 700-H1400	1,400	200	1,200	200	11.9	112	2.9	14	166.4	2.9	144.7	-	-	-	-
SM-B 700-L 700-H1600	1,600	200	1,200	200	13.3	126	2.9	14	197.3	2.9	173.2	-	-	-	-
SM-B 800-L 800-H1000	1,000	150	1,200	150	7.5	87	2.2	14	108.1	2.2	92.0	-	0.7	20	14.0
SM-B 800-L 800-H1200	1,200	200	1,300	200	11.8	108	3.4	17	151.7	3.4	128.9	-	0.7	30	21.0
SM-B 800-L 800-H1400	1,400	200	1,300	200	13.4	124	3.4	17	180.5	3.4	154.8	-	0.7	30	21.0
SM-B 800-L 800-H1600	1,600	200	1,300	200	15.0	140	3.4	17	212.9	3.4	184.3	-	0.7	40	28.0
SM-B 900-L 900-H1200	1,200	200	1,400	200	13.1	119	3.9	20	164.6	3.9	137.9	-	0.7	30	21.0
SM-B 900-L 900-H1400	1,400	200	1,400	200	14.9	136	3.9	20	194.9	3.9	164.8	-	0.7	30	21.0
SM-B 900-L 900-H1600	1,600	200	1,400	200	16.6	154	3.9	20	228.8	3.9	195.3	-	0.7	40	28.0
SM-B 900-L 900-H1800	1,800	200	1,400	200	18.4	172	3.9	20	266.7	3.9	229.8	-	0.7	50	35.0

設計図および現地の状況から地山線A, Bを選択する。
 コンクリート量は側溝類、パイプ類による減少量は考慮していないため必要に応じて数量算出要領等により補正すること。
 型枠面積は側壁を先行し底版を後施工する方法を考えて計上している。

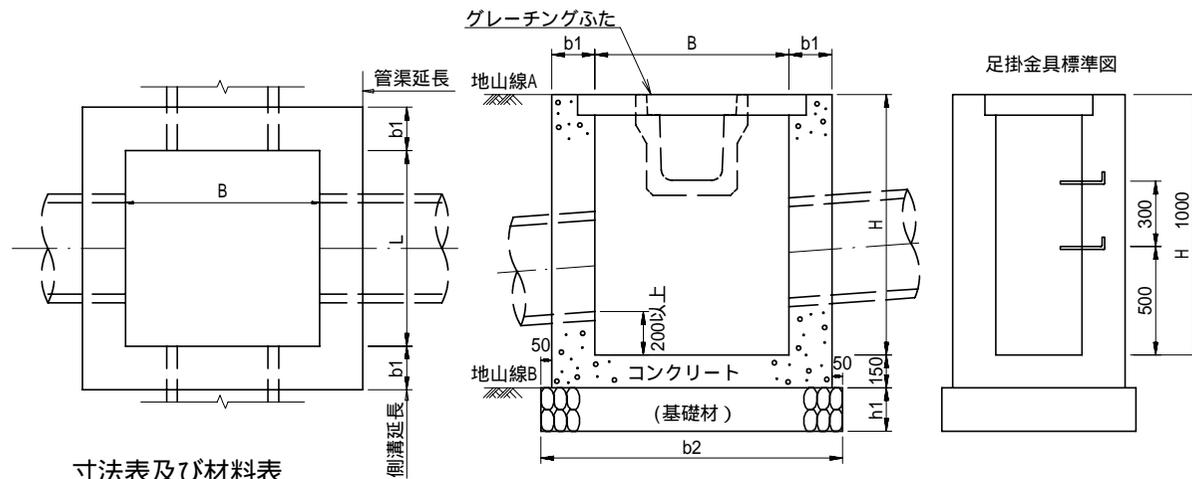
I-2101(1)

工種記号

(青森) SM-B (幅) - H (高さ)

名称

集水ます (場所打ち)



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない場所に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18N/mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. まず本体は無筋コンクリートとしているが、必要に応じて足掛金具設置箇所に補強鉄筋を考慮すること。

〔設計表示方法〕

SM-B () - H ()
(幅) (高さ)

寸法表及び材料表

記号	寸法表 (mm)				参考数量表 (10箇所当り)								足掛金具 (10箇所当り)		
	H	b1	b2	h1	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材		床掘 (m3)		埋戻し (m3)		一本当り質量 (kg)	本数	参考質量 (kg)
							(m3)	(m2)	A	B	A	B			
SM-B1000-L1000-H1200	1,200	200	1,500	200	14.5	130	4.5	23	178.8	4.5	147.8	-	0.7	30	21.0
SM-B1000-L1000-H1400	1,400	200	1,500	200	16.4	149	4.5	23	210.6	4.5	175.7	-	0.7	30	21.0
SM-B1000-L1000-H1600	1,600	200	1,500	200	18.3	168	4.5	23	246.1	4.5	207.3	-	0.7	40	28.0
SM-B1000-L1000-H1800	1,800	200	1,500	200	20.2	187	4.5	23	285.7	4.5	243.0	-	0.7	50	35.0
SM-B1000-L1000-H2000	2,000	200	1,500	200	22.1	206	4.5	23	329.5	4.5	282.9	-	0.7	50	35.0
SM-B1100-L1100-H1400	1,400	200	1,500	200	17.9	161	5.1	26	226.6	5.1	186.6	-	0.7	30	21.0
SM-B1100-L1100-H1600	1,600	200	1,500	200	20.0	182	5.1	26	263.7	5.1	219.2	-	0.7	40	28.0
SM-B1100-L1100-H1800	1,800	200	1,600	200	22.1	203	5.1	26	305.0	5.1	256.0	-	0.7	50	35.0
SM-B1100-L1100-H2000	2,000	200	1,600	200	24.2	224	5.1	26	350.6	5.1	297.1	-	0.7	50	35.0
SM-B1200-L1200-H1400	1,400	200	1,500	200	19.5	174	5.8	29	243.9	5.8	198.4	-	0.7	30	21.0
SM-B1200-L1200-H1600	1,600	200	1,500	200	21.8	196	5.8	29	282.7	5.8	232.1	-	0.7	40	28.0
SM-B1200-L1200-H1800	1,800	200	1,700	200	24.0	218	5.8	29	325.8	5.8	270.1	-	0.7	50	35.0
SM-B1200-L1200-H2000	2,000	200	1,700	200	26.2	241	5.8	29	373.2	5.8	312.4	-	0.7	50	35.0
SM-B1300-L1300-H1600	1,600	200	1,500	200	23.5	210	6.5	32	302.1	6.5	245.0	-	0.7	40	28.0
SM-B1300-L1300-H1800	1,800	200	1,800	200	25.9	234	6.5	32	346.9	6.5	284.0	-	0.7	50	35.0
SM-B1300-L1300-H2000	2,000	200	1,800	200	28.3	258	6.5	32	396.2	6.5	327.6	-	0.7	50	35.0
SM-B1400-L1400-H1600	1,600	200	1,500	200	25.3	224	7.2	36	321.7	7.2	257.8	-	0.7	40	28.0
SM-B1400-L1400-H1800	1,800	200	1,900	200	27.9	250	7.2	36	368.4	7.2	298.0	-	0.7	50	35.0
SM-B1400-L1400-H2000	2,000	200	1,900	200	30.5	275	7.2	36	419.7	7.2	342.8	-	0.7	50	35.0
SM-B1500-L1500-H1800	1,800	200	2,000	200	29.9	265	8.0	40	391.3	8.0	312.9	-	0.7	50	35.0
SM-B1500-L1500-H2000	2,000	200	2,000	200	32.6	292	8.0	40	444.6	8.0	359.0	-	0.7	50	35.0

設計図および現地の状況から地山線A, Bを選択する。
 コンクリート量は側溝類、パイプ類による減少量は考慮していないため必要に応じて数量算出要領等により補正すること。
 型枠面積は側壁を先行し底版を後施工する方法を考えて計上している。

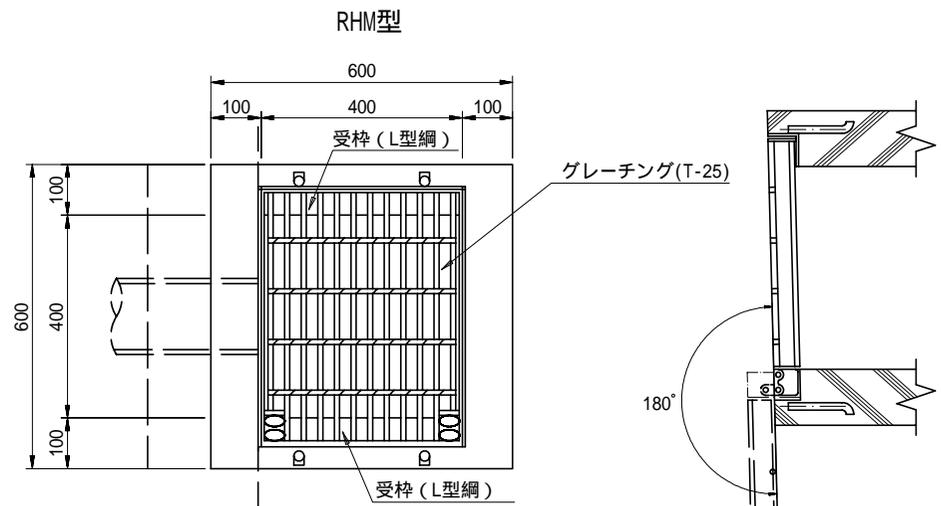
I-2101(2)

工種記号

(青森) SM-B (幅) - H (高さ)

名称

集水ます (場所打ち)



〔適用条件〕

1. 路肩（側）のL型側溝（LS2、LS3）に接続し、路面の排水柵として使用する。（T-25相当）
2. ますの設置間隔は、道路土工排水工指針（日本道路協会）によるものとし、最大間隔は30mとする。

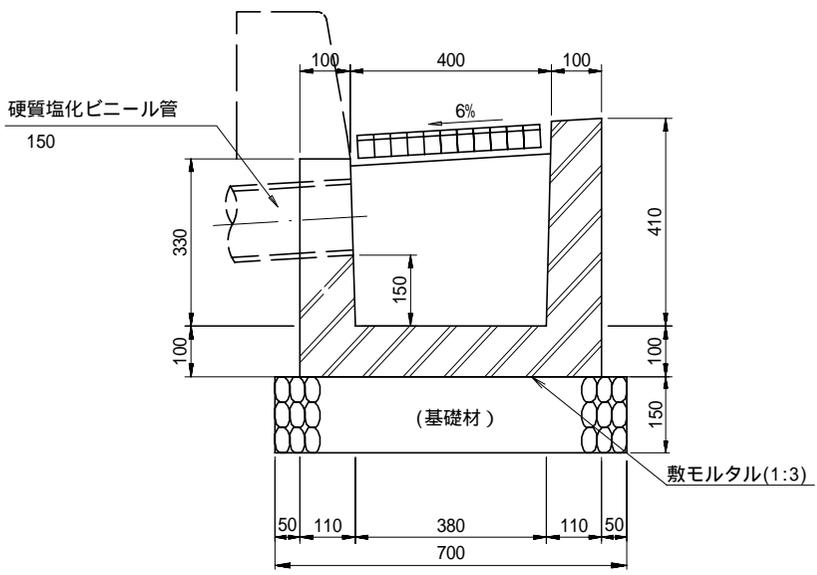
〔仕様〕

1. コンクリート設計基準強度 ck = 24N/mm²
鉄筋の許容引張応力度 (SD295) sa = 180N/mm²
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。

〔設計表示方法〕

RHM-
(数量)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）



参考数量表（10箇所当り）

参考質量 (kg/個)	基礎材	
	(m ³)	(m ²)
286	0.7	5

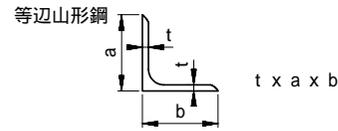
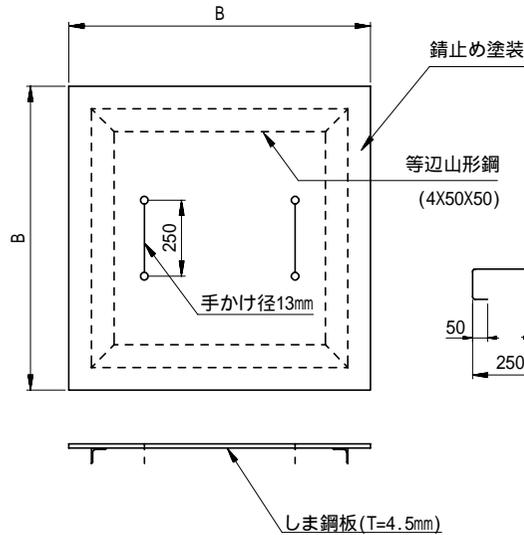
-2110	工種記号	(青森) RHM	名称	路面排水柵（プレキャストグレーチングふた付）
-------	------	----------	----	------------------------

〔仕様〕

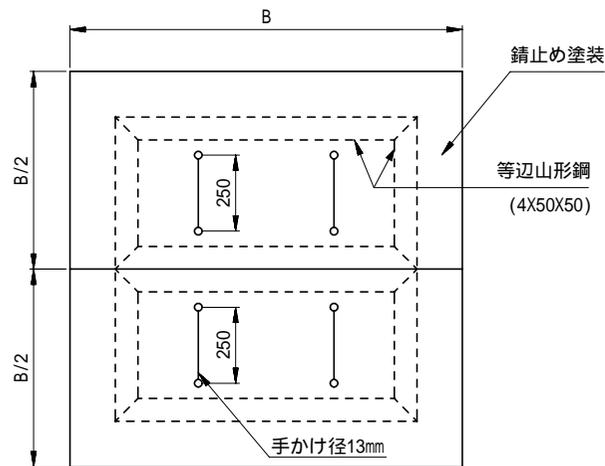
- SM-B 900～B1500は2枚掛とする。
- 錆止め塗装は2回塗りとする。

〔設計表示方法〕

FSM-B ()
(幅)



2枚掛の場合



寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)							参考数量表 (1箇所当り)				
	縞鋼板			等辺山形鋼			手かけ鉄筋	縞鋼板	等辺山形鋼	手かけ鉄筋	総重量 (kg)	塗装面積 (m ²)
	B	B	T	a	b	t		重量(kg)	重量(kg)	重量(kg)		
FSM-B 500	800	800	4.5	50	50	4	13	23.7	5.4	1.1	30.2	1.5
FSM-B 600	900	900	4.5	50	50	4	13	30.0	6.6	1.1	37.7	1.8
FSM-B 700	1,000	1,000	4.5	50	50	4	13	37.0	7.8	1.1	45.9	2.3
FSM-B 800	1,100	1,100	4.5	50	50	4	13	44.8	9.1	1.1	55.0	2.7
FSM-B 900	1,300	650	4.5	50	50	4	13	62.6	15.2	2.2	80.0	3.9
FSM-B1000	1,400	700	4.5	50	50	4	13	72.6	17.0	2.2	91.8	4.5
FSM-B1100	1,500	750	4.5	50	50	4	13	83.2	18.8	2.2	104.2	5.1
FSM-B1200	1,600	800	4.5	50	50	4	13	94.6	20.6	2.2	117.4	5.8
FSM-B1300	1,700	850	4.5	50	50	4	13	107.0	22.4	2.2	131.6	6.5
FSM-B1400	1,800	900	4.5	50	50	4	13	119.8	24.2	2.2	146.2	7.3
FSM-B1500	1,900	950	4.5	50	50	4	13	133.6	26.2	2.2	162.0	8.1

はB/2

- 2115

工種記号

(青森) FSM-B (幅)

名称

集水ますふた (縞鋼板)

〔適用条件〕

路側用U型側溝の枝道横断や、土被りの少ない小断面の横断暗渠などに使用する。(T-20相当)

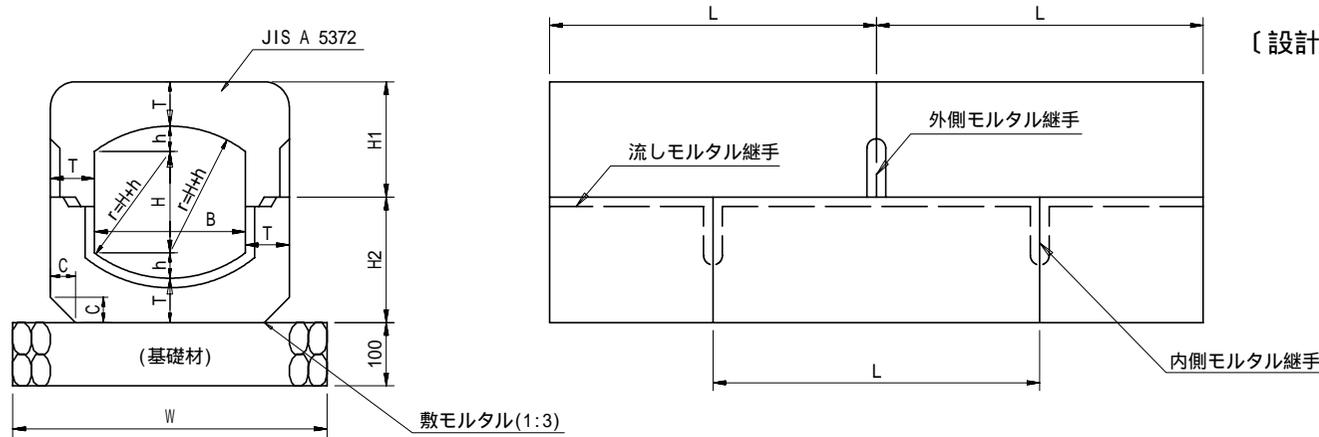
〔仕様〕

基礎材は、再生砕石(最大粒径40mm)または切込砕石(最大粒径80mm)とする。

〔設計表示方法〕

KA2-A-B()-K()-L= m
 (幅)(基礎材の種類) (延長)

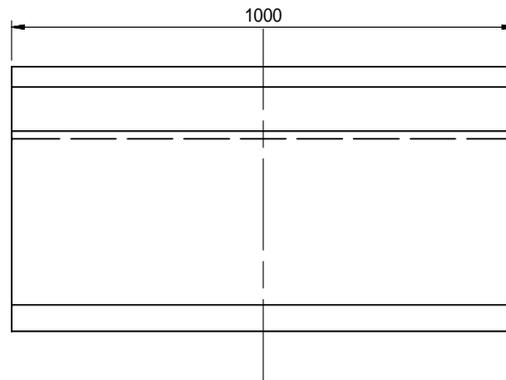
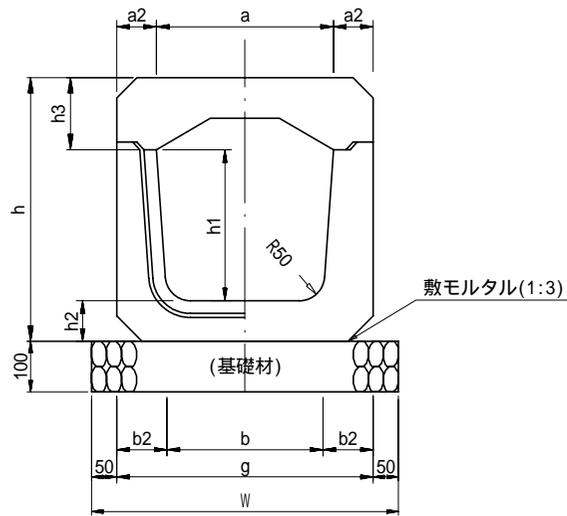
記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石(最大粒径40mm)
K 2	切込砕石(最大粒径80mm)



寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)										参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)		
	B	T	H	h	H1	H2	r	c	W	L		組数 (組)	基礎材	
													(m3)	(m2)
KA2-A-B 240	240	70	160	40	182	198	200	40	500	600	10	0.5	5	
KA2-A-B 300	300	70	200	50	212	228	250	50	540		10	0.5	5	
KA2-A-B 360	360	75	240	60	248	262	300	50	610		10	0.6	6	
KA2-A-B 450	450	90	300	75	305	325	375	60	710	500	10	0.7	7	
KA2-A-B 600	600	100	400	100	390	410	500	60	880		10	0.9	9	

-3101	工種記号	(青森) KA2-A-B (型) (幅)	名称	組合せ暗渠(プレキャストJISタイプ)
-------	------	----------------------	----	---------------------



〔適用条件〕

路側用U型側溝の枝道横断や、土被りの少ない小断面の横断暗渠などに使用する。(T-20相当)

〔仕様〕

基礎材は、再生砕石(最大粒径40mm)または切込砕石(最大粒径80mm)とする。

〔設計表示方法〕

KA3-A-B()-K()-L= m
(幅)(基礎材の種類)(延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石(最大粒径40mm)
K 2	切込砕石(最大粒径80mm)

寸法表 及び 材料表

側溝L=1.0m

記号	寸法表 (mm)										参考重量 (kg/個)			参考数量表 (10m当り)		
	内天幅	同左肉厚	内底幅	同左肉厚	底幅	内高	同左底厚	蓋総厚	全高	基礎幅	蓋	側溝	合計	組数 (組)	基礎材	
	a	a2	b	b2	g	h1	h2	h3	h	W					(m3)	(m2)
KA3-A-B 240	236	72	220	80	380	201	75	109	385	480	79	142	221	10	0.5	5
KA3-A-B 300	294	73	260	90	440	256	75	119	450	540	97	177	274	10	0.5	5
KA3-A-B 360	352	79	310	100	510	296	80	142	518	610	131	224	355	10	0.6	6
KA3-A-B 450	442	94	400	115	630	388	95	157	640	730	180	338	518	10	0.7	7
KA3-A-B 600	592	104	540	130	800	518	110	192	820	900	274	498	772	10	0.9	9

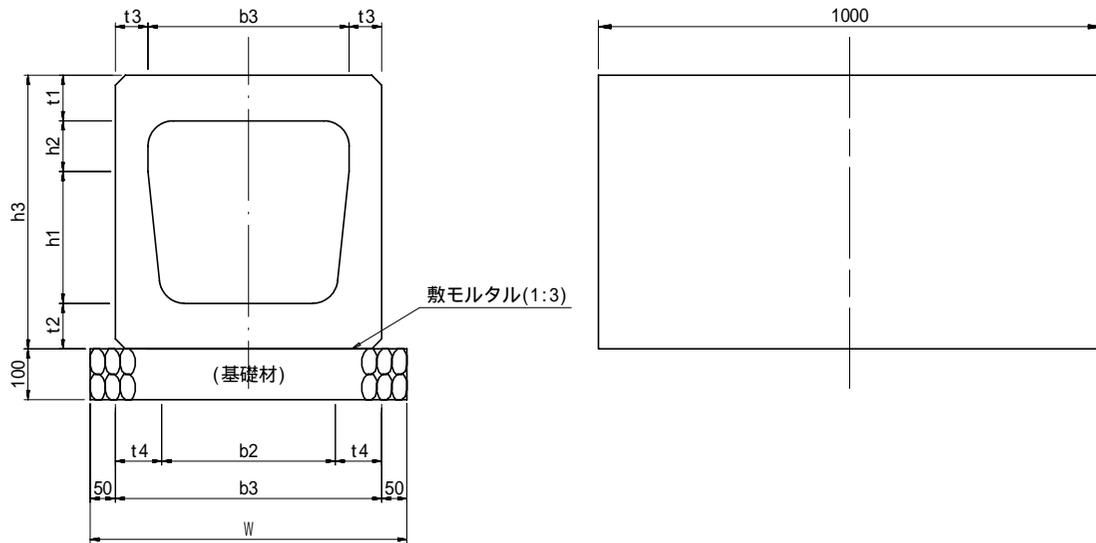
-3110

工種記号

(青森) KA3-A-B()
(型) (幅)

名称

組合せ暗渠(プレキャスト側溝タイプ)



〔適用条件〕

ベンチフリュームの枝道横断や、土被りの少ない小断面の横断暗渠などに使用する。(T-20相当)

〔仕様〕

基礎材は、再生砕石(最大粒径40mm)または切込砕石(最大粒径80mm)とする。

〔設計表示方法〕

$$BFB-B()-K()-L = m$$

(幅) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石(最大粒径40mm)
K 2	切込砕石(最大粒径80mm)

寸法表 及び 材料表

側溝L=1.0m

記号	寸法表 (mm)										参考重量 (kg/個)	参考数量表 (10m当り)		
	内天幅	同左肉厚	内底幅	同左肉厚	底幅	内高	同左底厚	頂版厚	全高	基礎幅		組数 (組)	基礎材	
	b1	t3	b2	t4	b3	h	t2	t1	h3	W			(m3)	(m2)
BFB-B 300	300	60	260	80	420	300	85	85	470	520	274	10	0.5	5
BFB-B 350	350	65	300	90	480	335	90	90	515	580	334	10	0.6	6
BFB-B 400	400	65	345	92	529	360	90	90	540	630	367	10	0.6	6
BFB-B 450	450	65	390	95	580	395	95	95	585	680	420	10	0.7	7
BFB-B 500	500	70	435	102	639	420	100	100	620	740	484	10	0.7	7
BFB-B 550	550	70	475	107	689	455	105	105	665	790	544	10	0.8	8
BFB-B 600	600	70	520	110	740	480	105	105	690	840	583	10	0.8	8
BFB-B 650	650	75	565	117	799	415	110	110	735	900	665	10	0.9	9
BFB-B 700	700	75	610	120	850	540	115	115	770	950	726	10	1.0	10
BFB-B 800	800	80	695	132	959	590	120	120	830	1,060	858	10	1.1	11
BFB-B 900	900	80	785	137	1,059	650	125	125	900	1,160	982	10	1.2	12
BFB-B1000	1,000	85	875	147	1,169	700	135	135	970	1,270	1,160	10	1.3	13

-3120

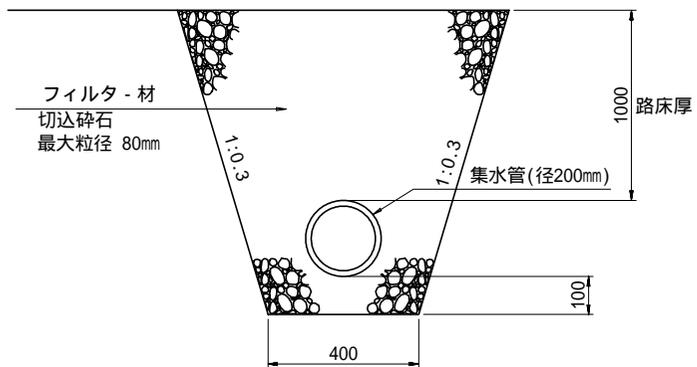
工種記号

(青森) BFB-B (幅)

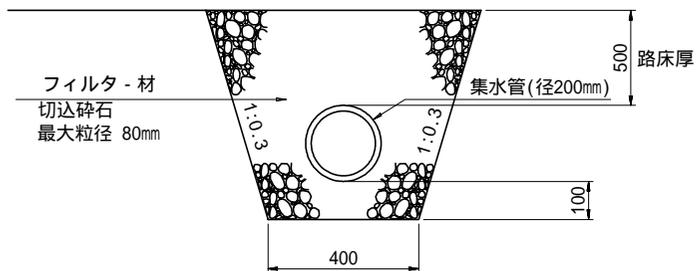
名称

ベンチフリュームボックス

A 土砂



B 岩



〔仕様〕

フィルター材は、切込砕石（最大粒径80mm）とする。

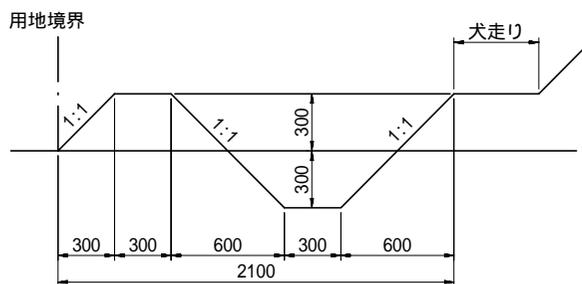
〔設計表示方法〕

地下排水 UD () - () - L = m
(種別) (管種) (延長)

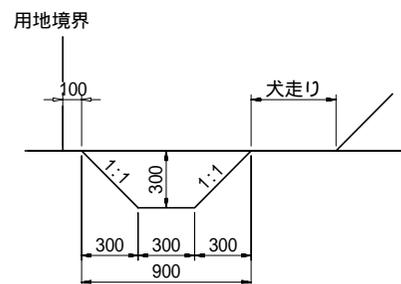
素掘側溝 SS () - L = m
(型) (延長)

素掘側溝

SS1(水田の場合)



SS2(畑地等の場合)



UD

種別	管種	参考数量表 (10m当り)		
		管本数	フィルター材 (m3)	床掘 (m3)
A	硬質ポリエチレンパイプ	2.5	10.0	10.3
	有孔ヒューム管	5		
B	硬質ポリエチレンパイプ	2.5	4.8	5.1
	有孔ヒューム管	5		

管厚は、無視する。

SS型

記号	参考数量表 (10m当り)	
	切土 (m3)	盛土 (m3)
SS1	1.8	1.8
SS2	1.8	-

-4101

工種記号

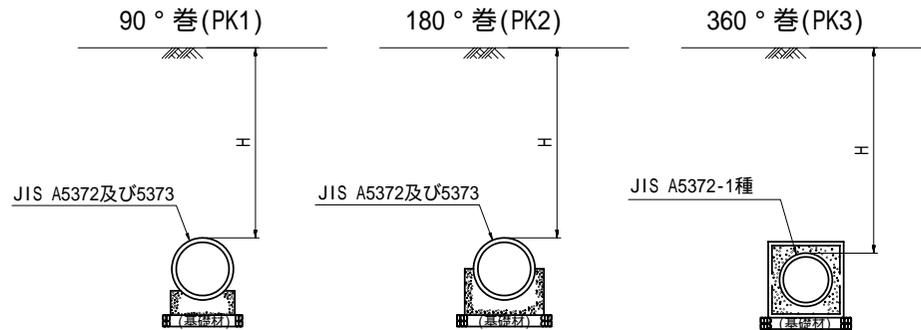
(青森) UD (A , B) - (、) 、 SS (1,2)

名称

地下排水、素掘側溝

管 渠 類

()



〔仕 様〕

1. 埋設条件、突出型、溝型の判定は、道路土工（カルバート指針）によるものとする。なお、本図集では、突出型について掲載している。
2. 基礎形式は、盛土の土質、活荷重の有無、盛土高（H）及び管径から下表により選択する。
3. 360°巻（PK3）の管種は、RC1種管を使用する。
4. 埋設条件、溝型及び特別の場合は、道路土工（カルバート指針）を参考とし別途設計すること。

盛土高（H）と基礎工形式

RC：水路用遠心力鉄筋コンクリート管（JIS A 5372）

1)砂質土（活荷重考慮の場合）〔道路土工-カルバート工指針：平成11年より〕

基礎工形式 管 径	1種管360°巻 (PK3)		2種管90°巻 (PK1-RC-2)		1種管90°巻 (PK1-RC)		2種管180°巻 (PK2-RC-2)		1種管180°巻 (PK2-RC)	
	0.20	H 10.5	0.5	H 3.7	0.7	H 1.9	0.5	H 5.3	0.5	H 3.1
600mm	0.20	H 10.5	0.5	H 3.7	0.7	H 1.9	0.5	H 5.3	0.5	H 3.1
900mm	0.25	H 12.4	0.5	H 3.4	0.8	H 1.8	0.5	H 4.8	0.5	H 2.9
1200mm			0.5	H 3.3	0.9	H 1.7	0.5	H 4.6	0.5	H 2.8

2)粘性土（活荷重考慮の場合）〔道路土工-カルバート工指針：平成11年より〕

基礎工形式 管 径	1種管360°巻 (PK3)		2種管90°巻 (PK1-RC-2)		1種管90°巻 (PK1-RC)		2種管180°巻 (PK2-RC-2)		1種管180°巻 (PK2-RC)	
	0.20	H 10.5	0.5	H 2.9	0.7	H 1.3	0.5	H 4.1	0.5	H 2.3
600mm	0.20	H 10.5	0.5	H 2.9	0.7	H 1.3	0.5	H 4.1	0.5	H 2.3
900mm	0.25	H 12.4	0.5	H 2.6	0.9	H 1.2	0.5	H 3.8	0.5	H 2.2
1200mm			0.5	H 2.5			0.5	H 3.6	0.5	H 2.1

PC：水路用プレストレストコンクリート管（JIS A 5373）

1)砂質土（活荷重考慮の場合）〔道路土工-カルバート工指針：平成11年より〕

基礎工形式 管 径	3種管90°巻 (PK1-PC-3)		2種管90°巻 (PK1-PC-2)		3種管180°巻 (PK2-PC-3)		1種管90°巻 (PK1-PC)		2種管180°巻 (PK2-PC-2)		1種管180°巻 (PK2-PC)	
	0.5	H 6.0	0.5	H 7.3	0.5	H 8.3	0.5	H 8.4	0.5	H 10.0	0.5	H 11.5
600mm	0.5	H 6.0	0.5	H 7.3	0.5	H 8.3	0.5	H 8.4	0.5	H 10.0	0.5	H 11.5
900mm	0.5	H 4.8	0.5	H 5.9	0.5	H 6.6	0.5	H 7.0	0.5	H 8.1	0.5	H 9.5
1200mm	0.5	H 4.5	0.5	H 5.4	0.5	H 6.2	0.5	H 6.3	0.5	H 7.4	0.5	H 8.6

2)粘性土（活荷重考慮の場合）〔道路土工-カルバート工指針：平成11年より〕

基礎工形式 管 径	3種管90°巻 (PK1-PC-3)		2種管90°巻 (PK1-PC-2)		3種管180°巻 (PK2-PC-3)		1種管90°巻 (PK1-PC)		2種管180°巻 (PK2-PC-2)		1種管180°巻 (PK2-PC)	
	0.5	H 4.7	0.5	H 5.7	0.5	H 6.5	0.5	H 6.6	0.5	H 7.9	0.5	H 9.1
600mm	0.5	H 4.7	0.5	H 5.7	0.5	H 6.5	0.5	H 6.6	0.5	H 7.9	0.5	H 9.1
900mm	0.5	H 3.7	0.5	H 4.7	0.5	H 5.2	0.5	H 5.5	0.5	H 6.4	0.5	H 7.5
1200mm	0.5	H 3.5	0.5	H 4.3	0.5	H 4.9	0.5	H 5.0	0.5	H 5.9	0.5	H 6.8

3)砂質土（活荷重無の場合）

基礎工形式 管 径	1種管90°巻 (PK1-RC)		2種管90°巻 (PK1-RC2)		2種管180°巻 (PK2-RC2)		1種管360°巻 (PK3)	
	0<H	2.6	2.6<H	4.0	4.0<H	5.4	5.4<H	
600mm	0<H	2.6	2.6<H	4.0	4.0<H	5.4	5.4<H	
900mm	0<H	2.5	2.5<H	3.8	3.8<H	5.0	5.0<H	
1200mm	0<H	2.5	2.5<H	3.6	3.6<H	4.8		

4)粘性土（活荷重無の場合）

基礎工形式 管 径	1種管90°巻 (PK1-RC)		2種管90°巻 (PK1-RC2)		2種管180°巻 (PK2-RC2)		1種管360°巻 (PK3)	
	0<H	2.1	2.1<H	3.2	3.2<H	4.3	4.3<H	
600mm	0<H	2.1	2.1<H	3.2	3.2<H	4.3	4.3<H	
900mm	0<H	2.0	2.0<H	3.0	3.0<H	4.0	4.0<H	
1200mm	0<H	2.0	2.0<H	2.9	2.9<H	3.8		

3)砂質土（活荷重無の場合）

基礎工形式 管 径	3種管90°巻 (PK1-PC-3)		2種管90°巻 (PK1-PC-2)		3種管180°巻 (PK2-PC-3)		1種管90°巻 (PK1-PC)		2種管180°巻 (PK2-PC-2)		1種管180°巻 (PK2-PC)	
	0<H	6.2	6.2<H	7.4	7.4<H	8.4	8.4<H	8.5	8.5<H	10.1	10.1<H	11.6
600mm	0<H	6.2	6.2<H	7.4	7.4<H	8.4	8.4<H	8.5	8.5<H	10.1	10.1<H	11.6
900mm	0<H	5.0	5.0<H	6.1	6.1<H	6.8	6.8<H	7.1	7.1<H	8.3	8.3<H	9.6
1200mm	0<H	4.8	4.8<H	5.7	5.7<H	6.4	6.4<H	6.5	6.5<H	7.6	7.6<H	8.8

4)粘性土（活荷重無の場合）

基礎工形式 管 径	3種管90°巻 (PK1-PC-3)		2種管90°巻 (PK1-PC-2)		3種管180°巻 (PK2-PC-3)		1種管90°巻 (PK1-PC)		2種管180°巻 (PK2-PC-2)		1種管180°巻 (PK2-PC)	
	0<H	4.9	4.9<H	5.9	5.9<H	6.7	5.9<H	6.7	6.7<H	8.0	8.0<H	9.2
600mm	0<H	4.9	4.9<H	5.9	5.9<H	6.7	5.9<H	6.7	6.7<H	8.0	8.0<H	9.2
900mm	0<H	4.0	4.0<H	4.9	4.9<H	5.4	5.4<H	5.7	5.7<H	6.6	6.6<H	7.7
1200mm	0<H	3.8	3.8<H	4.5	4.5<H	5.1	5.1<H	5.2	5.2<H	6.0	6.0<H	7.0

-0101

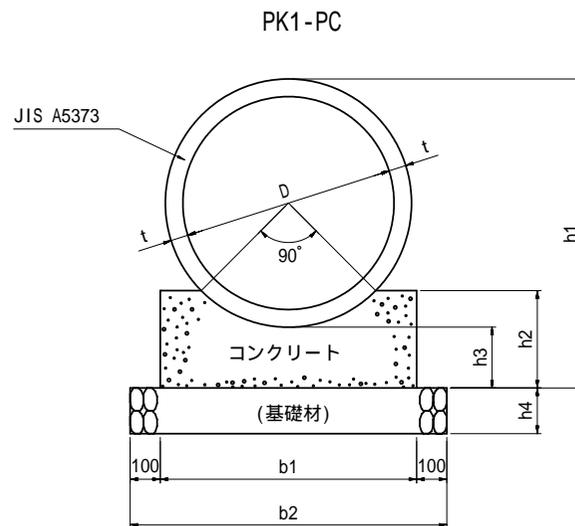
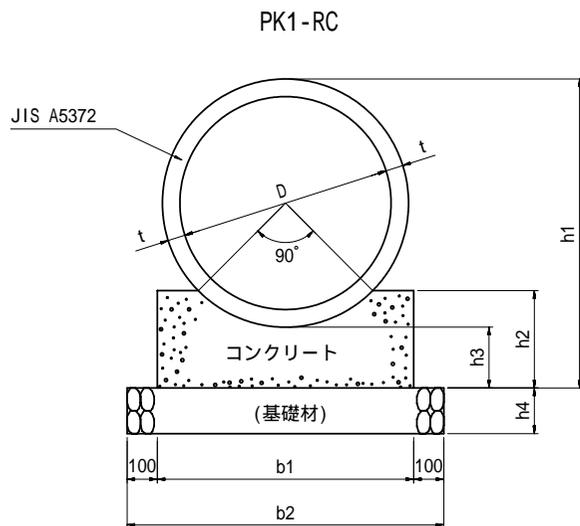
工種記号

(青森) PK

名

称

管渠適用索引表



〔仕 様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c_k=18N/mm^2$
2. 2種管及び3種管の場合には、RC-2、PC-2、PC-3と表示する。
3. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
また、基礎材に均しコンクリートを使用する場合は、コンクリート（呼び強度 $c_k=18N/mm^2$ ）とし厚さを一律100mmとする。
4. 継手形式は、B型管（ソケット継手）とする。

〔設計表示方法〕

PK1-()-D()-K()-L=○○m
 (基礎形式) (管種) (内径) (基礎材種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	均しコンクリート

PK1-RC（管 渠:90°固定基礎:水路用遠心力鉄筋コンクリート管）

記号	寸法表 (mm)								参考数量表 (10m当り)				
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	本数	コンクリート (m3)	型枠 (m3)	基礎材	
												(m3)	(m2)
PK1-RC-D 600	600	50	750	950	1,000	260	150	150	4.1	1.6	5.2	1.4	10
PK1-RC-D 900	900	75	1,050	1,250	1,400	360	200	150	4.1	3.0	7.2	1.9	13
PK1-RC-D 1200	1,200	95	1,400	1,600	1,840	460	250	200	4.1	5.1	9.2	3.2	16

型枠面積は基礎コンクリート両側面のみ計上し、端部型枠は計上していない。

PK1-PC（管 渠:90°固定基礎:水路用プレストレスコンクリート管）

記号	寸法表 (mm)								参考数量表 (10m当り)				
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	本数	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材	
												(m3)	(m2)
PK1-PC-D 600	600	69	750	950	1,038	260	150	150	2.5	1.6	5.2	1.4	10
PK1-PC-D 900	900	80	1,050	1,250	1,410	360	200	150	2.5	3.0	7.2	1.9	13
PK1-PC-D 1200	1,200	95	1,400	1,600	1,840	460	250	200	2.5	5.1	9.2	3.2	16

型枠面積は基礎コンクリート両側面のみ計上し、端部型枠は計上していない。

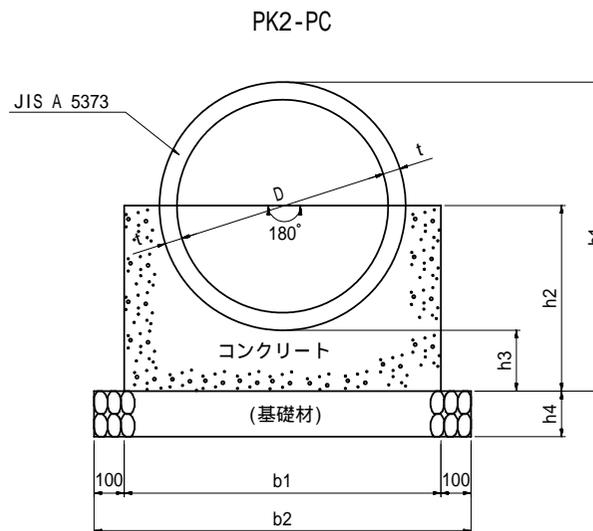
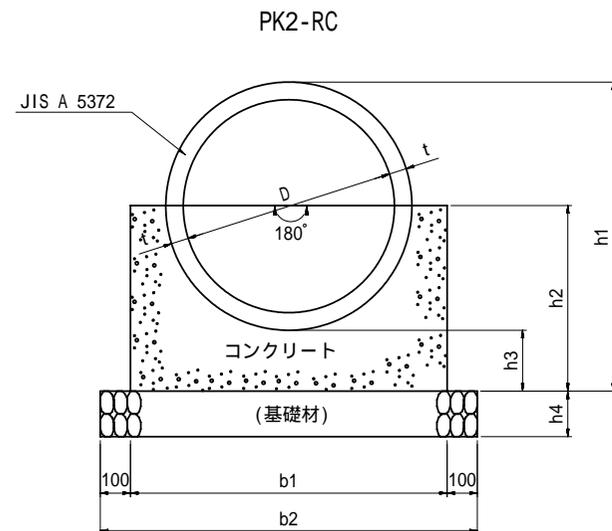
-0111

工種記号

(青森) PK1-(RC・PC)-D()
 (基礎形状) (管種) (内径)

名称

管 渠(90°巻)



〔仕 様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c_k=18N/mm^2$
2. 2種管及び3種管の場合には、RC-2、PC-2、PC-3と表示する。
3. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
また、基礎材に均しコンクリートを使用する場合は、コンクリート（呼び強度 $c_k=18N/mm^2$ ）とし厚さを一律100mmとする。
4. 継手形式は、B型管（ソケット継手）とする。

〔設計表示方法〕

PK2-()-D()-K()-L=〇〇m
 (基礎形式) (管種) (内径) (基礎材種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	均しコンクリート

PK2-RC（管 渠:180°固定基礎:水路用遠心力鉄筋コンクリート管）

記号	寸法表 (mm)								参考数量表 (10m当り)				
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	本数	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材	
												(m3)	(m2)
PK2-RC-D 600	600	50	900	1,100	1,000	500	150	150	4.1	2.6	10	1.7	11
PK2-RC-D 900	900	75	1,350	1,550	1,400	730	200	150	4.1	5.5	15	2.3	16
PK2-RC-D 1200	1,200	95	1,750	1,950	1,840	950	250	200	4.1	9.0	19	3.9	20

型枠面積は基礎コンクリート両側面のみ計上し、端部型枠は計上していない。

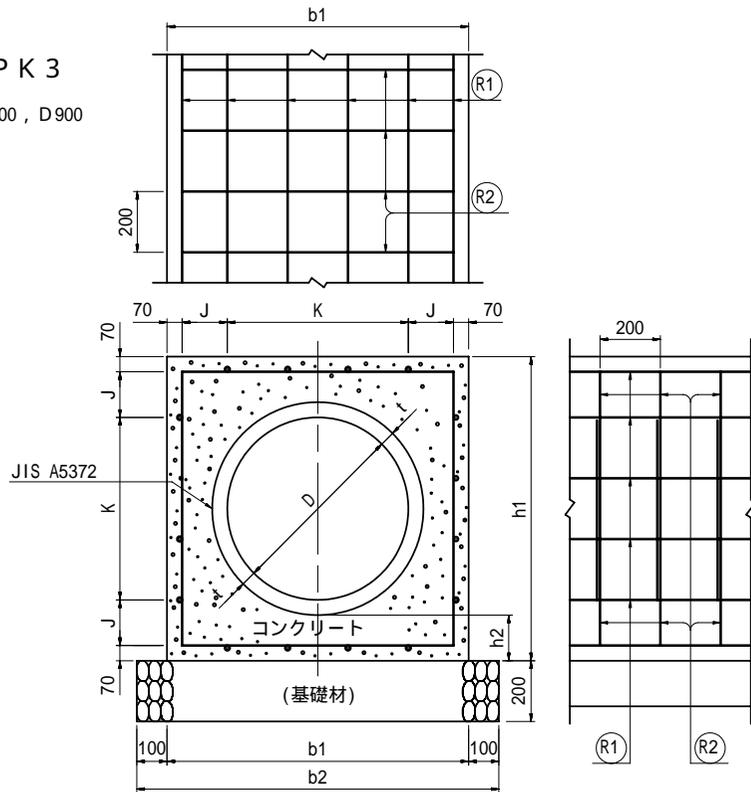
PK2-PC（管 渠:180°固定基礎:水路用プレストレスコンクリート管）

記号	寸法表 (mm)								参考数量表 (10m当り)				
	D	t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	本数	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材	
												(m3)	(m2)
PK2-PC-D 600	600	69	950	1,150	1,038	520	150	150	2.5	2.8	10	1.7	12
PK2-PC-D 900	900	80	1,350	1,550	1,410	730	200	150	2.5	5.4	15	2.3	16
PK2-PC-D 1200	1,200	95	1,750	1,950	1,840	950	250	200	2.5	9.0	19	3.9	20

型枠面積は基礎コンクリート両側面のみ計上し、端部型枠は計上していない。

-0121	工種記号	(青森) PK2-(RC・PC)-D() (基礎形式) (管種) (内径)	名称	管 渠(180°巻)
-------	------	---	----	------------

PK3
D600, D900



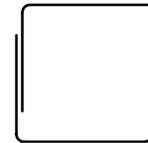
〔仕様〕

- 1種管を標準とする。
- コンクリート 呼び強度 $c_k=18N/mm^2$
- 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
また、基礎材に均しコンクリートを使用する場合は、コンクリート（呼び強度 $c_k=18N/mm^2$ ）とし厚さを一律100mmとする。
- 継手形式は、B型管（ソケット継手）とする。
- 呑口、吐口の構造は、十分検討すること。

〔設計表示方法〕

PK3-D()-K()-L=○○m
(基礎形式)(内径)(基礎材種類)(延長)

鉄筋組立図



記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）
K3	均しコンクリート

PK3(管渠:360°固定基礎:水路用遠心力鉄筋コンクリート管)

記号	寸法表 (mm)								参考数量表 (10m当り)				
	D	t	b1	b2	h1	h2	J	K	本数	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材	
												(m3)	(m2)
PK3-D600	600	50	1,000	1,200	1,000	150	130	600(=3×200)	4.1	6.2	20	2.4	12
PK3-D900	900	75	1,460	1,660	1,460	200	160	1000(=5×200)	4.1	12.7	29	3.3	17

型枠面積は基礎コンクリート両側面のみ計上し、端部型枠は計上していない。

記号	縦方向鉄筋 (R1) (1m当り)				横方向鉄筋 (R2) (1m当り)						鉄筋総質量 (kg)
	鉄筋径	本数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	鉄筋径	本数	一本当り長さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状	
PK3-D600	D13	20	0.995	19.900	D13	10	2,190	0.995	21.791	□	41.691
PK3-D900	D16	28	1.560	43.680	D13	10	3,110	0.995	30.945	□	74.625

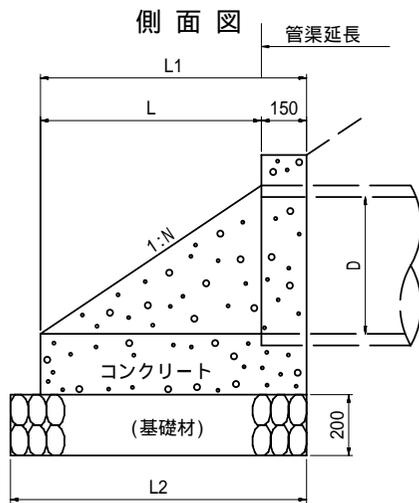
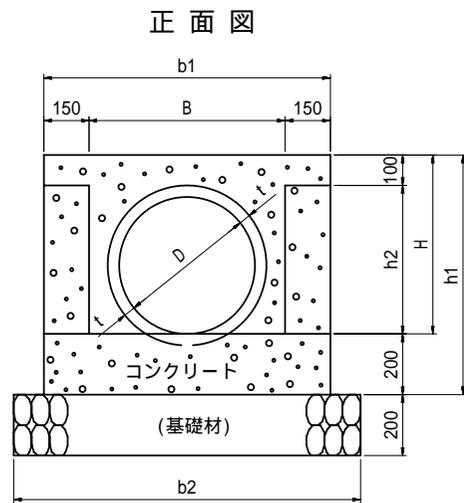
-0131

工種記号

(青森) PK3-D()
(内径)

名称

管渠(360°巻)



〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k=18N/mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
また、基礎材に均しコンクリートを使用する場合は、コンクリート（呼び強度 $ck=18N/mm^2$ ）とし厚さを一律100mmとする。

〔設計表示方法〕

NPK1-()-D()-N()
(管種) (内径) (のり勾配)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	均しコンクリート

NPK1(呑口)

記号	寸法表 (mm)											参考数量表 (10箇所当り)				
	N	D	t	B	H	b1	b2	h1	h2	L	L1	L2	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材	
															(m3)	(m2)
NPK1-D 600	1.5	600	50	800	750	1,100	1,300	950	650	975	1,125	1,225	4.1	31	3.2	16
			69		769			969	669	1,004	1,154	1,254	4.2	31	3.3	16
	1.8	600	50	800	750	1,100	1,300	950	650	1,170	1,320	1,420	4.7	34	3.7	18
			69		769			969	669	1,204	1,354	1,454	4.8	35	3.8	19
NPK1-D 900	1.5	900	75	1,100	1,075	1,400	1,600	1,275	975	1,463	1,613	1,713	7.6	54	5.5	27
			80		1,080			1,280	980	1,470	1,620	1,720	7.6	54	5.5	28
	1.8	900	75	1,100	1,075	1,400	1,600	1,275	975	1,755	1,905	2,005	8.9	61	6.4	32
			80		1,080			1,280	980	1,764	1,914	2,014	8.9	61	6.4	32
NPK1-D 1200	1.5	1,200	95	1,400	1,395	1,700	1,900	1,595	1,295	1,943	2,093	2,193	12.2	83	8.3	42
			95		1,395			1,595	1,295	1,943	2,093	2,193	12.2	83	8.3	42
	1.8	1,200	95	1,400	1,395	1,700	1,900	1,595	1,295	2,331	2,481	2,581	14.2	94	9.8	49
			95		1,395			1,595	1,295	2,331	2,481	2,581	14.2	94	9.8	49

上段はRC、下段はPC
斜角の場合は別途設計

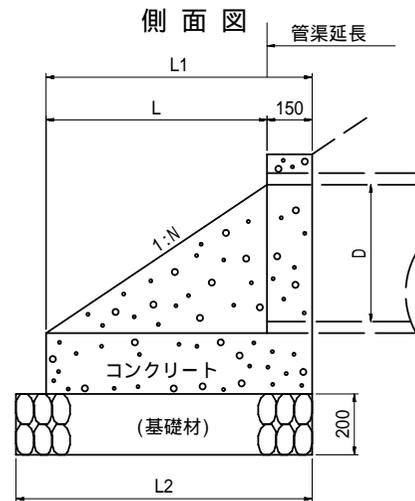
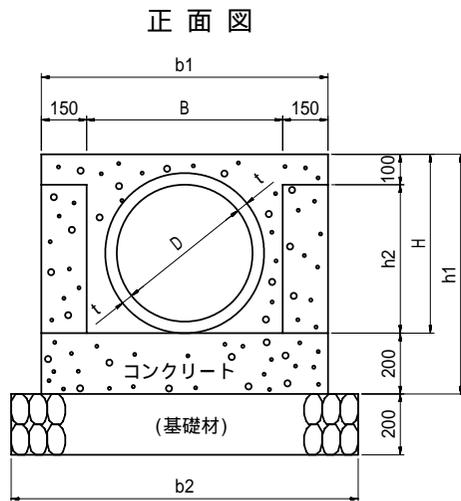
-0141

工種記号

(青森) NPK1-(RC,PC)-D()-N()
(管種) (内径) (のり勾配)

名称

管渠-呑口



〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k=18N/mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
また、基礎材に均しコンクリートを使用する場合は、コンクリート（呼び強度 $ck=18N/mm^2$ ）とし厚さを一律100mmとする。

〔設計表示方法〕

NPK2-()-D()-N()
(管種) (内径) (のり勾配)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	均しコンクリート

NPK2(吐口)

記号	寸法表 (mm)											参考数量表 (10箇所当り)				
	N	D	t	B	H	b1	b2	h1	h2	L	L1	L2	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材	
															(m3)	(m2)
NPK2-D 600	1.5	600	50	800	800	1,100	1,300	1,000	700	1,050	1,200	1,300	4.5	34	3.4	17
			69		838			1,038	738	1,107	1,257	1,357	4.7	36	3.5	18
	1.8	600	50	800	800	1,100	1,300	1,000	700	1,260	1,410	1,510	5.2	38	3.9	20
			69		838			1,038	738	1,328	1,478	1,578	5.5	40	4.1	21
NPK2-D 900	1.5	900	75	1,100	1,150	1,400	1,600	1,350	1,050	1,575	1,725	1,825	8.4	61	5.8	29
			80		1,160			1,360	1,060	1,590	1,740	1,840	8.5	61	5.9	29
	1.8	900	75	1,100	1,150	1,400	1,600	1,350	1,050	1,890	2,040	2,140	9.8	69	6.8	34
			80		1,160			1,360	1,060	1,908	2,058	2,158	9.9	69	6.9	35
NPK2-D1200	1.5	1,200	95	1,400	1,490	1,700	1,900	1,690	1,390	2,085	2,235	2,335	13.5	94	8.9	44
			95		1,490			1,690	1,390	2,085	2,235	2,335	13.5	94	8.9	44
	1.8	1,200	95	1,400	1,490	1,700	1,900	1,690	1,390	2,502	2,652	2,752	15.8	108	10.5	52
			95		1,490			1,690	1,390	2,502	2,652	2,752	15.8	108	10.5	52

上段はRC、下段はPC
斜角の場合は別途設計

-0151

工種記号

(青森) NPK2-(RC, PC)-D()-N()
(管種) (内径) (のり勾配)

名称

管渠一吐口

函 渠 類

()

[適用条件]

道路下 (T -25)、土破り0.5~3.0mに使用する。それ以外使用する場合は、別途検討とする。

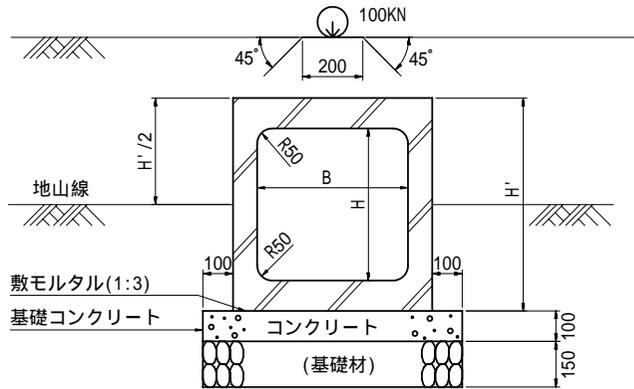
[仕様]

製品の使用にあたっては、次の設計条件を基本とし、設計計算書および設計図により確認すること。
 なお、下記条件と現場条件が異なる場合には、別途検討とする。

1. コンクリート設計基準強度 $c k=30N/mm^2$
 コンクリート許容曲げ圧縮応力度 $c a=10N/mm^2$
 鉄筋の許容引張応力度 (S D295) $s a=160N/mm^2$
2. コンクリート 呼び強度 $c k=18N/mm^2$
3. 基礎材は、再生砕石 (最大粒径40mm以下) または切込砕石 (最大粒径80mm以下) とする。
4. 土の性質
 単位重量: $s=18kN/m^3$
 土圧係数: $K a=0.5$

[設計表示方法]

RCB-B () - H () - K () - L = ○○ m
 (幅) (高さ) (基礎材種類) (延長)



記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K 2	切込砕石 (最大粒径80mm)

寸法表及び材料表

記号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)							
	B	H	個数	参考質量 (kg/個)	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材		床掘 (m3)	埋戻し (m3)
							(m3)	(m2)		
RCB-B300×H300	300	300	5	550	0.63	2.0	0.9	6	6.9	4.3
RCB-B400×H400	400	400	5	777	0.74	2.0	1.1	7	8.3	4.9
RCB-B500×H500	500	500	5	1,209	0.83	2.0	1.3	9	10.2	5.6

本体個数は、製品長さの標準を2.0mとしている。製品長さ1.0m・1.5mを使用の場合には、個数及び参考質量が異なるので注意する事。

-0101	工種記号	(青森) RCB-B (幅) - H (高さ)	名称	小型暗渠 (プレキャスト)
-------	------	-------------------------	----	---------------

[適用条件]

道路下 (T-25)、土盛り0.5~3.0mに使用する。それ以外使用する場合は、別途検討とする。

[仕様]

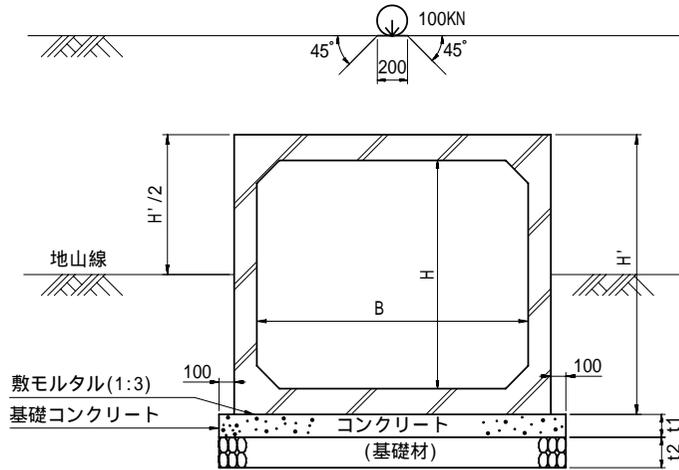
製品の使用にあたっては、次の設計条件を基本とし、設計計算書および設計図により確認すること。

なお、下記条件と現場条件が異なる場合には、別途検討とする。

1. コンクリート設計基準強度 $c k = 35 \text{ N/mm}^2$
 コンクリート許容曲げ圧縮応力度 $c a = 12 \text{ N/mm}^2$
 鉄筋の許容引張応力度 (S D295) $s a = 160 \text{ N/mm}^2$
2. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 \text{ N/mm}^2$
3. 基礎材は、再生砕石 (最大粒径40mm) または切込砕石 (最大粒径80mm) とする。
4. 土の性質
 単位重量: $s = 18 \text{ k N/m}^3$
 土圧係数: $K a = 0.5$

[設計表示方法]

R C B - B () - H () - K () - L = ○○m
 (幅) (高さ) (基礎材種類) (延長)



寸法表及び材料表

記号	寸法表 (mm)				参考数量表 (10m当り)								
	B	H	t1	t2	個数	参考質量 (kg/個)	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材		床掘 (m3)	埋戻し (m3)	
									(m3)	(m2)			
R C B - B 600 - H 600	600	600	100	150	5	2,000	1.0	2.0	1.5	10	10.7	4.9	
R C B - B 800 - H 800	800	800	100	150	5	2,520	1.2	2.0	1.8	12	14.0	5.9	
R C B - B 1000 - H 1000	1,000	1,000	100	150	5	3,160	1.4	2.0	2.1	14	18.2	7.1	
R C B - B 1200 - H 1000	1,200	1,000	150	200	5	3,420	2.5	3.0	3.3	17	22.5	7.5	
R C B - B 1200 - H 1200	1,200	1,200	150	200	5	3,680	2.5	3.0	3.3	17	28.8	12.4	
R C B - B 1400 - H 1400	1,400	1,400	150	200	5	4,540	2.8	3.0	3.7	19	35.3	14.7	
R C B - B 1500 - H 1000	1,500	1,000	150	200	5	4,470	3.0	3.0	4.0	20	29.8	11.1	
R C B - B 1500 - H 1200	1,500	1,200	150	200	5	4,750	3.0	3.0	4.0	20	33.4	12.9	
R C B - B 1500 - H 1500	1,500	1,500	150	200	5	5,170	3.0	3.0	4.0	20	39.0	15.9	
R C B - B 1800 - H 1500	1,800	1,500	150	200	5	6,050	3.5	3.0	4.6	23	43.5	16.1	
R C B - B 1800 - H 1800	1,800	1,800	150	200	5	6,500	3.5	3.0	4.6	23	49.9	19.3	
R C B - B 2000 - H 1500	2,000	1,500	150	200	5	6,980	3.8	3.0	5.0	25	46.7	16.3	
R C B - B 2000 - H 1800	2,000	1,800	150	200	5	7,460	3.8	3.0	5.0	25	53.4	19.6	
R C B - B 2000 - H 2000	2,000	2,000	150	200	5	7,780	3.8	3.0	5.0	25	58.0	21.8	

本体個数は、製品長さの標準を2.0mとしている。製品長さ1.0m・1.5mを使用の場合には、個数及び参考質量が異なるので注意する事。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K 2	切込砕石 (最大粒径80mm)

-0201

工種記号

(青森) R C B - B () - H ()
 (幅) (高さ)

名称

R C ボックスカルバート (プレキャスト)

[適用条件]

道路下 (T-25)、土盛り0.5~3.0mに使用する。それ以外使用する場合は、別途検討とする。

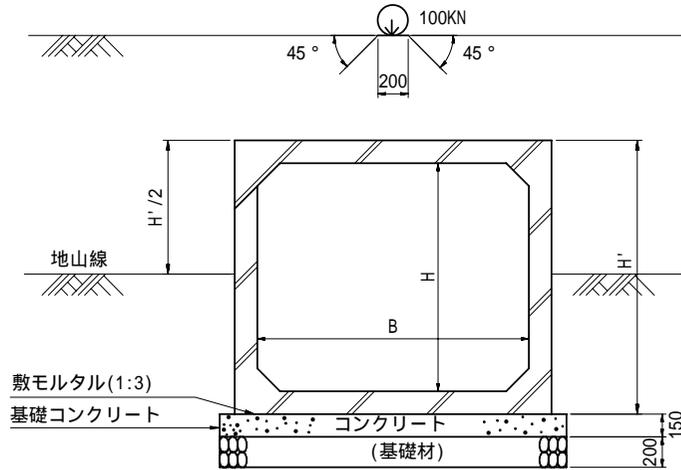
[仕様]

製品の使用にあたっては、次の設計条件を基本とし、設計計算書および設計図により確認すること。
 なお、下記条件と現場条件が異なる場合には、別途検討とする。

- コンクリート設計基準強度 $c k=40\text{N/mm}^2$
 プレストレス導入時強度 $p a=35\text{N/mm}^2$
 設計荷重作用時
 - 許容曲げ圧縮応力度 $c a=15\text{N/mm}^2$
 - 許容曲げ引張応力度 $b t=1.5\text{N/mm}^2$
 鉄筋の許容引張応力度 (S D295) $s a=160\text{N/mm}^2$
 P C 鋼棒 (JIS G 3109) S B P R 1080/1230
- コンクリート 呼び強度 $c k=18\text{N/mm}^2$
- 基礎材は、再生砕石 (最大粒径40mm) または切込砕石 (最大粒径80mm) とする。
- 土の性質
 単位重量: $s =18\text{k N/m}^3$
 土圧係数 : $K a =0.5$

[設計表示方法]

P C B - B () - H () - K () - L = ○○m
 (幅) (高さ) (基礎材種別) (延長)



寸法表及び材料表

記号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)							
	B	H	個数	参考質量 (kg/個)	コンクリート (m ²)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ²)	埋戻し (m ²)
							(m ³)	(m ²)		
P C B - B 1000 - H 1000	1,000	1,000	5	3,040	2.2	3.0	2.9	15	20.3	7.5
P C B - B 1200 - H 1200	1,200	1,200	5	3,540	2.5	3.0	3.3	17	28.6	16.1
P C B - B 1500 - H 1000	1,500	1,000	5	4,430	3.0	3.0	4.0	20	26.4	7.7
P C B - B 1500 - H 1500	1,500	1,500	5	5,180	3.0	3.0	4.0	20	38.9	21.2
P C B - B 1800 - H 1500	1,800	1,500	5	5,630	3.5	3.0	4.6	23	42.7	21.2
P C B - B 1800 - H 1800	1,800	1,800	5	6,080	3.5	3.0	4.6	23	49.0	26.1
P C B - B 2000 - H 1500	2,000	1,500	5	5,930	3.8	3.0	5.0	25	45.2	21.2
P C B - B 2000 - H 2000	2,000	2,000	5	6,680	3.8	3.0	5.0	25	56.4	29.6

本体個数は、製品長さの標準を2.0mとしている。製品長さ1.0m・1.5mを使用の場合には、個数及び参考質量が異なるので注意する事。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K 2	切込砕石 (最大粒径80mm)

-0301

工種記号

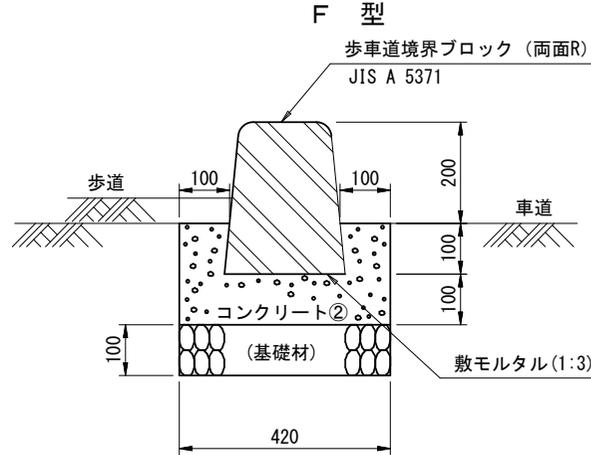
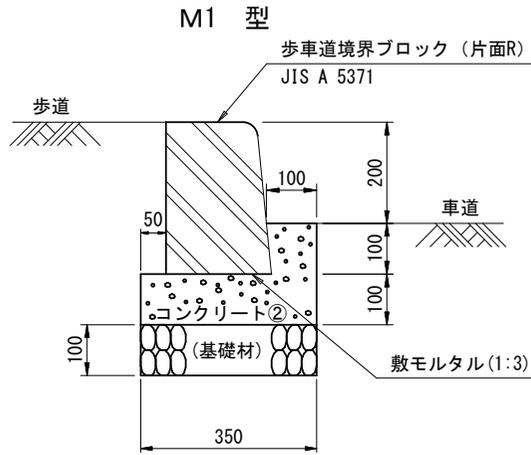
(青森) P C B - B (幅) - H (高さ)

名称

P C ボックスカルバート(プレキャスト)

縁石類

()



〔適用条件〕

歩道部がマウンドアップタイプにはM型、フラットタイプ及びセミフラットタイプにはF型を使用する。

〔仕様〕

1. 歩車道境界ブロックは、片面R・両面R共 L=2,000mmを標準とする。
2. コンクリート② 呼び強度 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$
3. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
4. 伸縮目地間隔は1.0m以内とする。

〔設計表示方法〕

HB- () -K () -L=〇〇m
 (型) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）

M 型

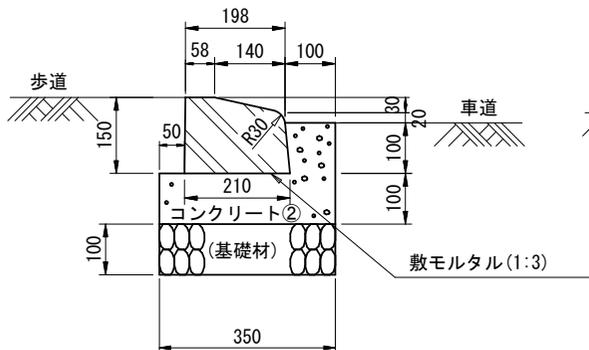
記号	設計数量表 (100m当り)					
	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)		伸縮目地 (m2)
HB-M1-3	4.5	30	50	3.5	35	0.4

F 型

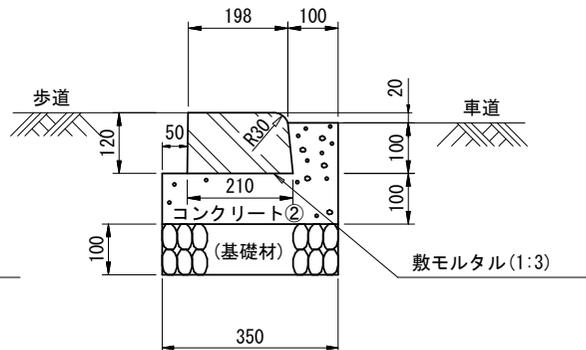
記号	設計数量表 (100m当り)					
	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)		伸縮目地 (m2)
HB-F	6.1	41	50	4.2	42	0.6

切下げ

M2 型 (車両乗入部)

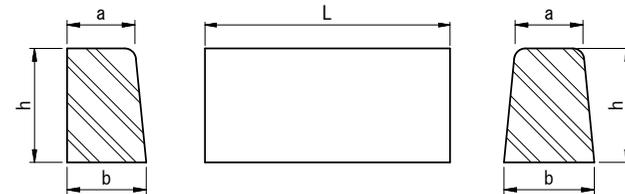


M3 型 (横断歩道部)



歩車道境界ブロックC種 (片面R)

(両面R)



歩車道境界ブロック C種 (JIS A 5371)

歩車道境界ブロック	寸法表 (mm)				参考重量 (kg/個)
	a	b	h	L	
片面R	180	210	300	2,000	270
両面R	180	240	300	2,000	296

IV-0101

工種記号

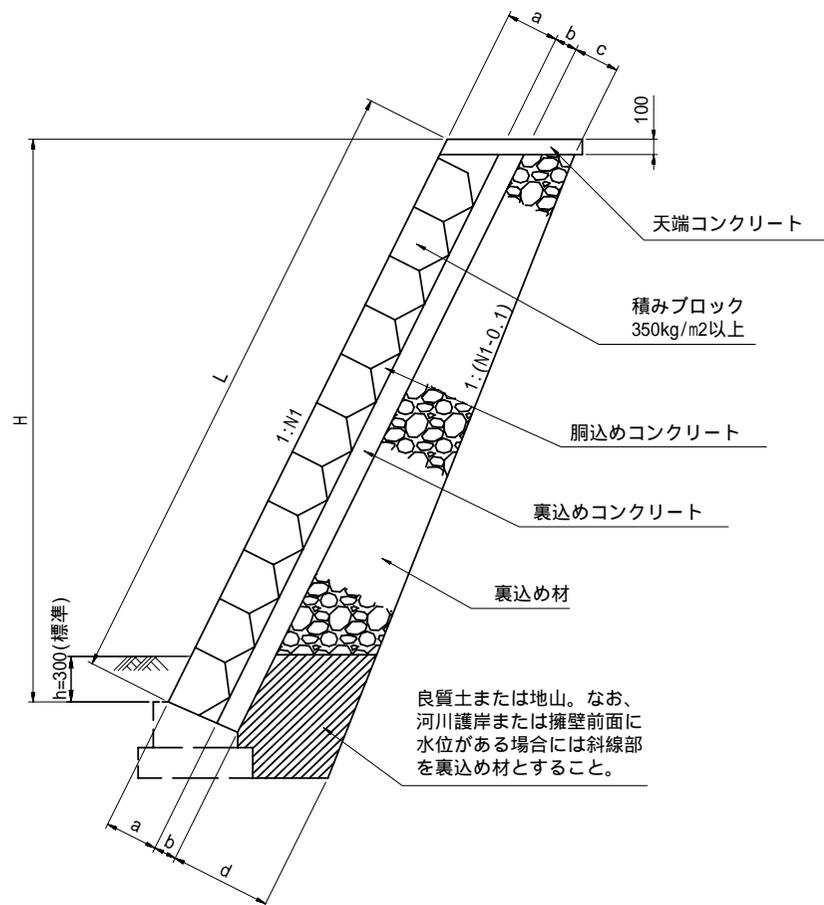
(青森) HB- () (型)

名称

歩車道境界工

擁壁類

()



[仕 様]

1. 積ブロック J I S A 5371 -2006 (質量区分 A)
2. コンクリート 呼び強度
裏込めコンクリート $c k = 18N/mm^2$
胴込めコンクリート $c k = 18N/mm^2$
3. 裏込め材は、再生砕石 (最大粒径40mm) または切込砕石 (最大粒径80mm) とする。
4. 天端コンクリート及び基礎工については、別途計上すること。
5. 伸縮目地間隔は、10m以下とし排水工は現場の状況に応じて 50mm程度の水抜孔を 2.0～3.0m²に1箇所設けること。
ただし、擁壁前面に水位がある場合は、前面水位以下に水抜孔を設けないこと。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用する。
7. 設計にあたっては、「労働安全衛生規則」等を考慮し、掘削方法や構造を決定すること。

[設計表示方法]

BW-H()-U()-N1()-K()-A=○○m²
 (直高) (裏込め土の種類) (前面勾配) (裏込め材の種類) (面積)

記 号	裏込め材の種類
K 1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K 2	切込砕石 (最大粒径80mm)

- 0102(1)

工種記号

(青森) BW-H()-U()-N1()
 (直高) (裏込め土の種類) (前面勾配)

名 称

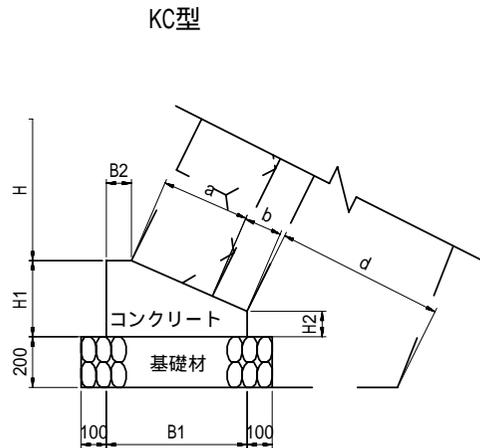
ブロック積擁壁 (裏込めコンクリート有)

寸法表

H (直高) (m)	L (法長) (m)			控長 (mm)	裏込 コンクリ ート厚 (mm)	基礎 H1 (mm)	裏込め材厚さ (mm)									参考数量表 (10m当り)									H (直高) (m)				
							N1(前面勾配)			U1 (裏込め土が良好)			U2 (裏込め土が普通)			裏込め材 (m3)						裏込めコンクリート (m3)				端部型枠 伸縮目地 (10箇所当り) (m2)			
	1:0.3	1:0.4	1:0.5				a	b	a	c			d			U1 (裏込め土が良好)			U2 (裏込め土が普通)			裏込めコンクリート (m3)				端部型枠 伸縮目地 (10箇所当り) (m2)			
	1:0.3	1:0.4	1:0.5				a	b	a	c	1:0.3	1:0.4	1:0.5	c	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3		1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4
1.00	1.044	1.077	1.118	350	100	300	200	340	330	330	300	440	430	430	1.4	1.5	1.5	2.1	2.1	2.2	0.9	1.0	1.0	5	5	5	1.00		
1.10	1.148	1.185	1.230	350	100	300	200	350	340	340	300	450	440	440	1.7	1.8	1.8	2.4	2.5	2.6	1.0	1.1	1.1	5	5	6	1.10		
1.20	1.253	1.292	1.342	350	100	300	200	360	350	350	300	460	450	450	2.0	2.0	2.1	2.8	2.9	3.0	1.1	1.2	1.2	6	6	6	1.20		
1.30	1.357	1.400	1.453	350	100	300	200	370	360	360	300	470	460	460	2.3	2.4	2.4	3.2	3.3	3.4	1.3	1.3	1.3	6	6	7	1.30		
1.40	1.462	1.508	1.565	350	100	300	200	380	370	370	300	480	470	470	2.6	2.7	2.8	3.7	3.7	3.9	1.4	1.4	1.5	7	7	7	1.40		
1.50	1.566	1.616	1.677	350	100	300	200	390	380	370	300	490	480	470	2.9	3.0	3.1	4.1	4.2	4.3	1.5	1.5	1.6	7	7	8	1.50		
1.60	-	1.723	1.789	350	100	300	200	-	390	380	300	-	490	480	-	3.3	3.4	-	4.6	4.7	-	1.6	1.7	-	8	8	8	1.60	
1.70	-	1.831	1.901	350	100	300	200	-	400	390	300	-	500	490	-	3.7	3.8	-	5.1	5.2	-	1.7	1.8	-	8	9	9	1.70	
1.80	-	1.939	2.012	350	100	300	200	-	410	400	300	-	510	500	-	4.0	4.1	-	5.5	5.7	-	1.8	1.9	-	9	9	10	1.80	
1.90	-	2.046	2.124	350	100	300	200	-	420	410	300	-	520	510	-	4.4	4.5	-	6.0	6.2	-	1.9	2.0	-	9	10	10	1.90	
2.00	-	2.154	2.236	350	100	300	200	-	430	420	300	-	530	520	-	4.8	4.9	-	6.5	6.7	-	2.0	2.1	-	10	10	11	2.00	
2.10	-	2.262	2.348	350	100	300	200	-	440	430	300	-	540	530	-	5.2	5.3	-	7.0	7.2	-	2.2	2.2	-	10	11	11	2.10	
2.20	-	2.369	2.460	350	100	300	200	-	450	440	300	-	550	540	-	5.6	5.7	-	7.5	7.7	-	2.3	2.3	-	11	11	12	2.20	
2.30	-	2.477	2.571	350	100	300	200	-	460	450	300	-	560	550	-	6.0	6.1	-	8.0	8.2	-	2.4	2.5	-	11	12	12	2.30	
2.40	-	2.585	2.683	350	100	300	200	-	460	460	300	-	560	560	-	6.3	6.6	-	8.5	8.8	-	2.5	2.6	-	12	12	13	2.40	
2.50	-	2.693	2.795	350	100	300	200	-	470	460	300	-	570	560	-	6.7	6.9	-	9.0	9.3	-	2.6	2.7	-	12	13	14	2.50	
2.60	-	2.800	2.907	350	100	300	200	-	480	470	300	-	580	570	-	7.2	7.4	-	9.5	9.8	-	2.7	2.8	-	13	13	14	2.60	
2.70	-	2.908	3.019	350	100	300	200	-	490	480	300	-	590	580	-	7.6	7.8	-	10.1	10.4	-	2.8	2.9	-	13	14	15	2.70	
2.80	-	3.016	3.130	350	100	300	200	-	500	490	300	-	600	590	-	8.1	8.3	-	10.7	11.0	-	2.9	3.0	-	14	14	15	2.80	
2.90	-	3.123	3.242	350	100	300	200	-	510	500	300	-	610	600	-	8.5	8.8	-	11.2	11.6	-	3.0	3.1	-	14	15	16	2.90	
3.00	-	3.231	3.354	350	100	300	200	-	520	510	300	-	620	610	-	9.0	9.3	-	11.8	12.2	-	3.1	3.2	-	15	15	16	3.00	
3.10	-	-	3.466	350	100	300	200	-	-	520	300	-	-	620	-	-	9.8	-	-	12.8	-	-	3.4	-	-	16	16	17	3.10
3.20	-	-	3.578	350	100	300	200	-	-	530	300	-	-	630	-	-	10.3	-	-	13.4	-	-	3.5	-	-	16	17	18	3.20
3.30	-	-	3.690	350	100	300	200	-	-	540	300	-	-	640	-	-	10.8	-	-	14.1	-	-	3.6	-	-	17	17	18	3.30
3.40	-	-	3.801	350	100	300	200	-	-	540	300	-	-	640	-	-	11.2	-	-	14.6	-	-	3.7	-	-	17	18	19	3.40
3.50	-	-	3.913	350	150	350	200	-	-	560	300	-	-	660	-	-	11.8	-	-	15.3	-	-	5.7	-	-	20	20	21	3.50
3.60	-	-	4.025	350	150	350	200	-	-	570	300	-	-	670	-	-	12.4	-	-	16.0	-	-	5.9	-	-	20	21	22	3.60
3.70	-	-	4.137	350	150	350	200	-	-	580	300	-	-	680	-	-	13.0	-	-	16.7	-	-	6.0	-	-	21	21	22	3.70
3.80	-	-	4.249	350	150	350	200	-	-	590	300	-	-	690	-	-	13.5	-	-	17.3	-	-	6.2	-	-	21	22	23	3.80
3.90	-	-	4.360	350	150	350	200	-	-	590	300	-	-	690	-	-	14.0	-	-	17.9	-	-	6.4	-	-	22	22	23	3.90
4.00	-	-	4.472	350	150	350	200	-	-	600	300	-	-	700	-	-	14.6	-	-	18.6	-	-	6.5	-	-	22	23	24	4.00
4.10	-	-	4.584	350	150	350	200	-	-	610	300	-	-	710	-	-	15.2	-	-	19.3	-	-	6.7	-	-	23	23	24	4.10
4.20	-	-	4.696	350	150	350	200	-	-	620	300	-	-	720	-	-	15.8	-	-	20.1	-	-	6.9	-	-	24	24	25	4.20
4.30	-	-	4.808	350	150	350	200	-	-	630	300	-	-	730	-	-	16.4	-	-	20.8	-	-	7.0	-	-	24	25	26	4.30
4.40	-	-	4.919	350	150	350	200	-	-	640	300	-	-	740	-	-	17.1	-	-	21.5	-	-	7.2	-	-	25	25	26	4.40
4.50	-	-	5.031	350	150	350	200	-	-	650	300	-	-	750	-	-	17.7	-	-	22.3	-	-	7.4	-	-	25	26	27	4.50
4.60	-	-	5.143	350	150	350	200	-	-	660	300	-	-	760	-	-	18.4	-	-	23.1	-	-	7.5	-	-	26	26	27	4.60
4.70	-	-	5.255	350	150	350	200	-	-	670	300	-	-	770	-	-	19.1	-	-	23.9	-	-	7.7	-	-	26	27	28	4.70
4.80	-	-	5.367	350	150	350	200	-	-	670	300	-	-	770	-	-	19.5	-	-	24.4	-	-	7.9	-	-	27	27	28	4.80
4.90	-	-	5.478	350	150	350	200	-	-	680	300	-	-	780	-	-	20.2	-	-	25.3	-	-	8.0	-	-	27	28	29	4.90
5.00	-	-	5.590	350	150	350	200	-	-	690	300	-	-	790	-	-	20.9	-	-	26.1	-	-	8.2	-	-	28	28	29	5.00

参考数量表 (10m2当り) の数値は、直高 (H) から天端コンクリート厚10cmを控除した、積ブロックの実面積当りの数値である。

- 0102(2)	工種記号	(青森) BW-H () - U () - N1 () (直高) (裏込め土の種類) (前面勾配)	名 称	ブロック積擁壁 (裏込めコンクリート有)
-----------	------	---	-----	----------------------



[適用条件]

ブロック積擁壁（BW）用基礎工として使用する。

[仕様]

1. コンクリート 呼び強度
基礎コンクリート $c k = 18N/mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は、10m以下とする。

[設計表示方法]

KC - b () - K () - L = ○○m
(裏コン厚さ) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

記号	寸法表 (mm)						参考数量表 (10m当り)				端部型枠 及び伸縮目地 10箇所当り(m ²)
	a	b	B1	B2	H1	H2	コンクリート	型枠	基礎材		
							(m ³)	(m ²)	(m ³)	(m ²)	
KC-b100	350	100	520	100	300	100	1.1	4	1.4	7	1.1
KC-b150	350	150	550	100	350	100	1.4	5	1.5	8	1.4

- 0103

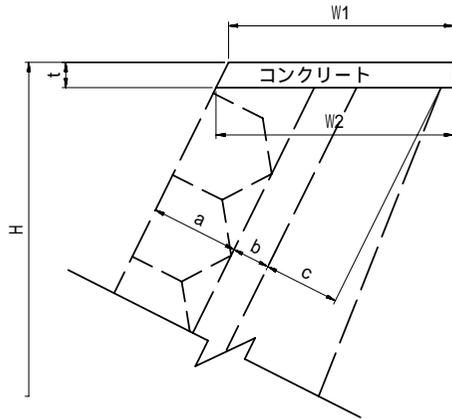
工種記号

(青森) KC - b ()
(裏コン厚さ)

名称

基礎工（ブロック積擁壁用）

TC型



[適用条件]

ブロック積擁壁 (BW) 用天端工として使用する。

[仕様]

1. コンクリート 呼び強度
天端コンクリート $c k = 18 \text{N/mm}^2$
2. 伸縮目地間隔は、10m以下とし、設置箇所については、ブロック積擁壁の伸縮目地位置に合わせるものとする。

[設計表示方法]

TC - b () - K () - L = ○○m
(裏コン厚さ) (基礎材の種類) (延長)

記号	寸法表 (mm)						参考数量表 (10m当り)		端部型枠 及び伸縮目地 10箇所当り(m2)
	a	b	c	W1	W2	t	コンクリート	型枠	
							(m3)	(m2)	
TC-b 100-U1	350	100	200	730	780	100	0.8	2	0.8
TC-b 100-U2	350	100	300	840	890	100	0.9	2	0.9
TC-b 150-U1	350	150	200	790	840	100	0.8	2	0.8
TC-b 150-U2	350	150	300	900	950	100	0.9	2	0.9

- 0104

工種記号

(青森) TC - b () - U ()
(裏コン厚さ) (裏込土種類)

名称

天端工 (ブロック積擁壁用)

BWK型

H (直高) (m)	U1 (裏込土が良好)						U2 (裏込土が普通)						
	寸法表 (m)				参考数量表(10箇所当り)		寸法表 (m)				参考数量表(10箇所当り)		
	H1	L	B	W	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	H1	L	B	W	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	
1.00	1.500	1.677	0.880	0.300	4.0	31	1.00	1.500	1.677	0.990	0.300	4.5	35
1.10	1.600	1.789	0.890	0.300	4.3	34	1.10	1.600	1.789	1.000	0.300	4.8	37
1.20	1.700	1.901	0.900	0.300	4.6	36	1.20	1.700	1.901	1.010	0.300	5.2	40
1.30	1.800	2.012	0.910	0.300	4.9	39	1.30	1.800	2.012	1.020	0.300	5.5	43
1.40	1.900	2.124	0.920	0.300	5.2	41	1.40	1.900	2.124	1.030	0.300	5.9	46
1.50	2.000	2.236	0.920	0.300	5.5	44	1.50	2.000	2.236	1.030	0.300	6.2	48
1.60	2.100	2.348	0.930	0.300	5.9	46	1.60	2.100	2.348	1.040	0.300	6.6	51
1.70	2.200	2.460	0.940	0.300	6.2	49	1.70	2.200	2.460	1.060	0.300	7.0	54
1.80	2.300	2.571	0.960	0.300	6.6	52	1.80	2.300	2.571	1.070	0.300	7.4	57
1.90	2.400	2.683	0.970	0.300	7.0	55	1.90	2.400	2.683	1.080	0.300	7.8	60
2.00	2.500	2.795	0.980	0.300	7.4	57	2.00	2.500	2.795	1.090	0.300	8.2	63
2.10	2.600	2.907	0.990	0.300	7.7	60	2.10	2.600	2.907	1.100	0.300	8.6	66
2.20	2.700	3.019	1.000	0.300	8.1	63	2.20	2.700	3.019	1.110	0.300	9.0	69
2.30	2.800	3.130	1.010	0.300	8.5	66	2.30	2.800	3.130	1.120	0.300	9.4	72
2.40	2.900	3.242	1.020	0.300	8.9	69	2.40	2.900	3.242	1.130	0.300	9.8	75
2.50	3.000	3.354	1.020	0.300	9.2	71	2.50	3.000	3.354	1.130	0.300	10.2	78
2.60	3.100	3.466	1.030	0.300	9.6	74	2.60	3.100	3.466	1.150	0.300	10.7	82
2.70	3.200	3.578	1.040	0.300	10.0	77	2.70	3.200	3.578	1.160	0.300	11.1	85
2.80	3.300	3.689	1.060	0.300	10.5	81	2.80	3.300	3.689	1.170	0.300	11.6	88
2.90	3.400	3.801	1.070	0.300	10.9	84	2.90	3.400	3.801	1.180	0.300	12.0	92
3.00	3.500	3.913	1.080	0.300	11.3	87	3.00	3.500	3.913	1.190	0.300	12.5	95
3.10	3.600	4.025	1.090	0.300	11.8	91	3.10	3.600	4.025	1.200	0.300	13.0	99
3.20	3.700	4.137	1.100	0.300	12.2	94	3.20	3.700	4.137	1.210	0.300	13.4	102
3.30	3.800	4.248	1.110	0.300	12.7	97	3.30	3.800	4.248	1.220	0.300	13.9	106
3.40	3.900	4.360	1.110	0.300	13.0	100	3.40	3.900	4.360	1.220	0.300	14.3	108
3.50	4.050	4.528	1.190	0.300	14.5	110	3.50	4.050	4.528	1.300	0.300	15.8	119
3.60	4.150	4.640	1.200	0.300	14.9	114	3.60	4.150	4.640	1.310	0.300	16.3	123
3.70	4.250	4.752	1.210	0.300	15.4	117	3.70	4.250	4.752	1.320	0.300	16.8	127
3.80	4.350	4.863	1.220	0.300	15.9	121	3.80	4.350	4.863	1.340	0.300	17.5	131
3.90	4.450	4.975	1.220	0.300	16.3	124	3.90	4.450	4.975	1.340	0.300	17.9	134
4.00	4.550	5.087	1.230	0.300	16.8	127	4.00	4.550	5.087	1.350	0.300	18.4	138
4.10	4.650	5.199	1.250	0.300	17.4	132	4.10	4.650	5.199	1.360	0.300	19.0	142
4.20	4.750	5.311	1.260	0.300	18.0	136	4.20	4.750	5.311	1.370	0.300	19.5	146
4.30	4.850	5.422	1.270	0.300	18.5	140	4.30	4.850	5.422	1.380	0.300	20.1	150
4.40	4.950	5.534	1.280	0.300	19.0	143	4.40	4.950	5.534	1.390	0.300	20.6	154
4.50	5.050	5.646	1.290	0.300	19.5	147	4.50	5.050	5.646	1.400	0.300	21.2	158
4.60	5.150	5.758	1.300	0.300	20.1	151	4.60	5.150	5.758	1.410	0.300	21.8	163
4.70	5.250	5.870	1.310	0.300	20.6	155	4.70	5.250	5.870	1.420	0.300	22.4	167
4.80	5.350	5.981	1.310	0.300	21.0	158	4.80	5.350	5.981	1.420	0.300	22.8	170
4.90	5.450	6.093	1.320	0.300	21.6	162	4.90	5.450	6.093	1.440	0.300	23.5	175
5.00	5.550	6.205	1.340	0.300	22.3	167	5.00	5.550	6.205	1.450	0.300	24.1	180

型枠面積には、背面部の地山に接する部分の面積は、含まれていない。

[適用条件]

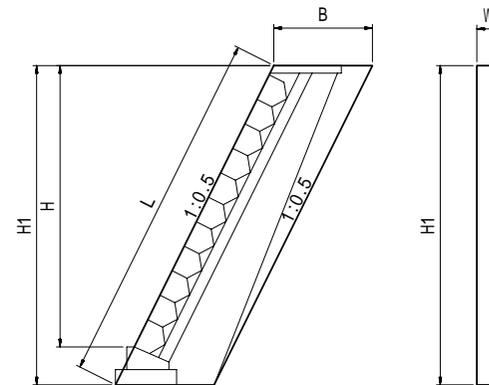
ブロック積擁壁 (BW) 用小口止工として用いる場合で、背面土の土の種類がU1またはU2の場合で、かつブロック積の前面勾配が1:0.5の場合に使用するものとする。

[仕様]

1. コンクリート 呼び強度 c k = 18N/mm³

[設計表示方法]

BWK-H()-U()-N0.5
(直高)(裏込土種類)



-0105

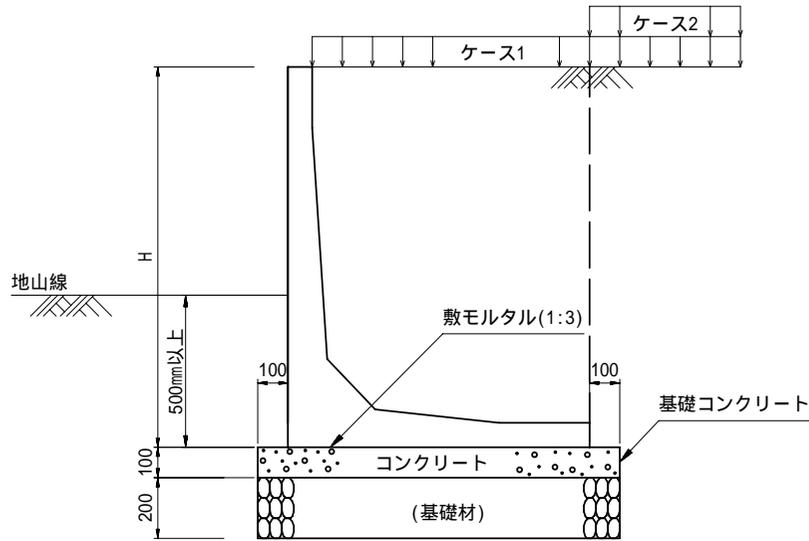
工種記号

(青森) BWK-H()
(直高)

名称

小口止工 (ブロック積擁壁用)

載荷重 W=10 k N / m²



L=2.0m

記号	参考数量表 (10m当り)							
	個数	参考質量 (kg/個)	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床堀 (m ³)	埋戻し (m ³)
					(m ³)	(m ²)		
H-1000	5	728	1.1	2.0	2.1	11	13.2	8.8
H-1250	5	991	1.2	2.0	2.4	12	14.4	9.1
H-1500	5	1,165	1.4	2.0	2.7	14	15.6	9.7
H-1750	5	1,649	1.5	2.0	3.0	15	16.8	9.8
H-2000	5	1,835	1.7	2.0	3.3	17	18.0	10.3
H-2250	5	2,531	1.8	2.0	3.6	18	19.2	10.4
H-2500	5	2,683	2.0	2.0	3.9	20	20.4	11.0
H-2750	5	3,662	2.1	2.0	4.2	21	21.6	10.8
H-3000	5	3,906	2.3	2.0	4.5	23	22.8	11.3

床堀・埋戻し量は、地山線を擁壁底版より500mm上りを標準として算出している。

[仕様]

製品の使用にあたっては、次の設計条件を基本とし、設計計算書および設計図により確認すること。なお、下記条件と現場条件が異なる場合には、別途検討とする。

1. 土圧計算は試行くさび法

裏め土の種類	単位体積重量	内部摩擦角
礫質土 (C1)	20 k N / m ³	35 °
砂質土 (C2)	19 k N / m ³	30 °

2. 載荷重 W=10 k N / m²

ケース1、ケース2の両方について安全であることを確認する。

3. 地震の影響は考慮しない。

4. 滑動に対する安全率 F_s 1.5 (前面受動土圧は考慮しない)

5. 転倒に対する安全 e B/6 (底版幅の1/3以内の偏心)

6. 支持力度に対する安定 q q_a (q_aは、基礎底面地盤の許容鉛直支持力度)

コンクリート設計基準強度 c k=30 N / mm²

7. コンクリート許容曲げ圧縮応力度 c a=10 N / mm²

鉄筋の許容引張応力度 (S D295) s a=160 N / mm²

8. コンクリート 呼び強度 c k=18 N / mm²

9. 基礎材は、再生砕石 (最大粒径40mm) または切込砕石 (最大粒径80mm) とする。

[設計表示方法]

PW - H () - K () - L=○○m
(高さ) (基礎材種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K 2	切込砕石 (最大粒径80mm)

- 0201

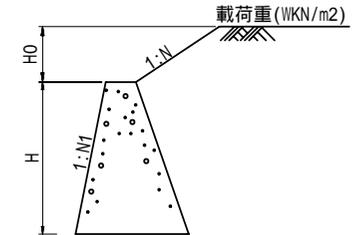
工種記号

(青森) PW-H (高さ)

名称

L型擁壁 (プレキャスト)

H	N1	図番	μ	$\mu = 0.6$								$\mu = 0.5$					
				C 1				C 2				C 1				C 2	
				水平	1:2.0	1:1.8	1:1.5	水平	1:2.0	1:1.8	水平	1:2.0	1:1.8	水平	0.00		
				0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	3.50		
W	0.00	3.50	3.50	3.50	0.00	3.50	3.50	3.50	0.00	3.50	3.50	3.50	0.00	3.50			
0.5	0.00	-0302	SGW1	SGW2			SGW2		SGW3		SGW1	SGW2		SGW3	SGW2	SGW3	
	0.20		SGW4			SGW6	SGW4	SGW5	SGW6	SGW8	SGW4	SGW6		SGW7	SGW4	SGW8	
	0.30		SGW9				SGW9		SGW10	SGW11	SGW9				SGW9	SGW11	
	0.40		SGW12				SGW12			SGW13	SGW12				SGW12	SGW14	
	0.50		SGW15				SGW15				SGW15				SGW15		
1.0	0.00	-0303	SGW16			SGW17	SGW17		SGW18	SGW19	SGW16		SGW18	SGW19	SGW17		
	0.20		SGW20	SGW21	SGW23	SGW24	SGW20	SGW22	SGW25	SGW26	SGW20	SGW22	SGW24	SGW26	SGW21	SGW24	
	0.30		SGW27			SGW29	SGW27		SGW30	SGW32	SGW27		SGW28	SGW31	SGW27	SGW28	
	0.40		SGW33			SGW34	SGW33		SGW35	SGW37	SGW33			SGW36	SGW33	SGW34	
	0.50		SGW38				SGW38			SGW39	SGW38				SGW38		
1.5	0.00	-0305 -0306	SGW40	SGW41			SGW42		SGW43	SGW44	SGW40		SGW43	SGW45	SGW42		
	0.20		SGW46	SGW48	SGW49	SGW51	SGW46	SGW47	SGW52	SGW53	SGW46	SGW47	SGW52	SGW54	SGW47	SGW50	
	0.30		SGW55			SGW58	SGW55		SGW59	SGW60	SGW55		SGW57	SGW60	SGW55	SGW56	
	0.40		SGW61			SGW62	SGW61		SGW63	SGW65	SGW61			SGW64	SGW61		
	0.50		SGW66				SGW66			SGW67	SGW66				SGW66		
2.0	0.00	-0307 -0308	SGW68		SGW69			SGW69		SGW70	SGW71	SGW68		SGW70	SGW71	SGW69	
	0.20		SGW72	SGW73	SGW76	SGW77	SGW78	SGW74	SGW75	SGW79	SGW80	SGW73	SGW75	SGW79	SGW81	SGW75	SGW77
	0.30		SGW82		SGW83	SGW84	SGW85	SGW82		SGW86	SGW87	SGW82		SGW85	SGW87	SGW83	SGW84
	0.40		SGW88				SGW91	SGW88		SGW92	SGW93	SGW88		SGW90	SGW93	SGW88	SGW89
	0.50		SGW94			SGW95	SGW94		SGW96	SGW98	SGW94			SGW97	SGW94		



記号	裏込め土の種類	土のせん断抵抗角	単位体積重量 (kN/m ²)
C 1	礫質土	= 35°	20
C 2	砂質土	= 30°	19

H: 擁壁高 (m) (注) ・ 滑動摩擦係数 (μ)、裏込め土の種類 (C)、盛土勾配 (N)、高さ比 (H0/H)、載荷重 (W)、擁壁高 (H)、前面勾配 (N1)より断面 (断面記号番号) を決定する。
N1: 前面勾配
W: 載荷重 (KN/m²)
H0/H: 高さ比
N: 盛土勾配
C: 裏込め土の種類
 μ : 滑動摩擦係数

・ SGW 内の番号は断面記号番号を表す。
・ 高さが変化する場合の取り扱いについては、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

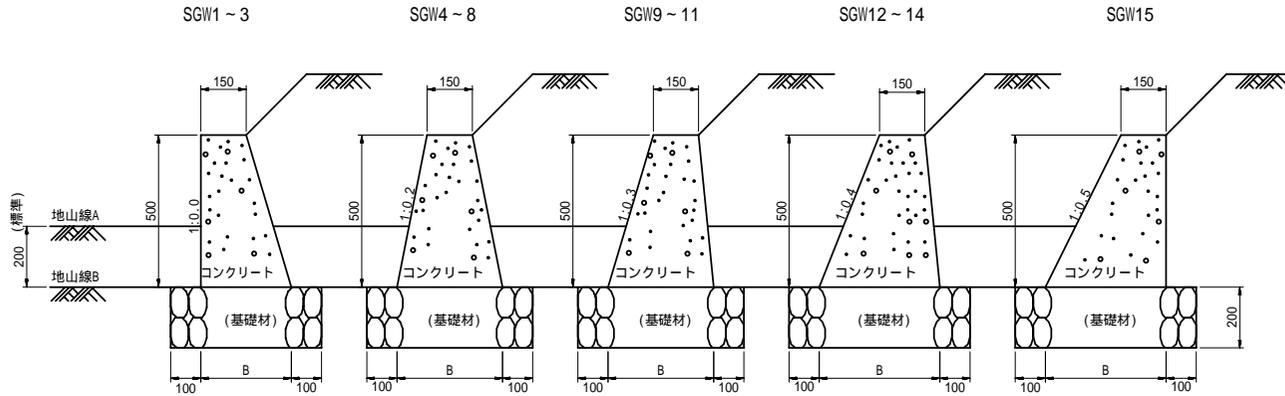
- 0301

工種記号 (青森) S G W

名 称

小型重力式擁壁適用索引表

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない歩道部やのり尻、及び境界壁に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
SGW1	0.00	300	1.1	10	1.0	5	5.2	1.0	3.7	-	1.1
SGW2		350	1.3	10	1.1	6	5.4	1.1	3.7	-	1.3
SGW3		400	1.4	11	1.2	6	5.6	1.2	3.7	-	1.4
SGW4	0.20	250	1.0	10	0.9	5	5.0	0.9	3.6	-	1.0
SGW5		300	1.1	10	1.0	5	5.2	1.0	3.7	-	1.1
SGW6		350	1.3	10	1.1	6	5.4	1.1	3.7	-	1.3
SGW7		400	1.4	10	1.2	6	5.6	1.2	3.7	-	1.4
SGW8		450	1.5	10	1.3	7	5.8	1.3	3.7	-	1.5
SGW9	0.30	300	1.1	10	1.0	5	5.2	1.0	3.7	-	1.1
SGW10		350	1.3	10	1.1	6	5.4	1.1	3.7	-	1.3
SGW11		450	1.5	10	1.3	7	5.8	1.3	3.7	-	1.5
SGW12	0.40	350	1.3	10	1.1	6	5.4	1.1	3.7	-	1.3
SGW13		400	1.4	10	1.2	6	5.6	1.2	3.7	-	1.4
SGW14		450	1.5	10	1.3	7	5.8	1.3	3.7	-	1.5
SGW15	0.50	400	1.4	11	1.2	6	5.6	1.2	3.7	-	1.4

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

〔設計表示方法〕

$$S G W () - K () - L = \quad m$$

(断面記号番号 基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K 2	切込砕石 (最大粒径80mm)

-0302

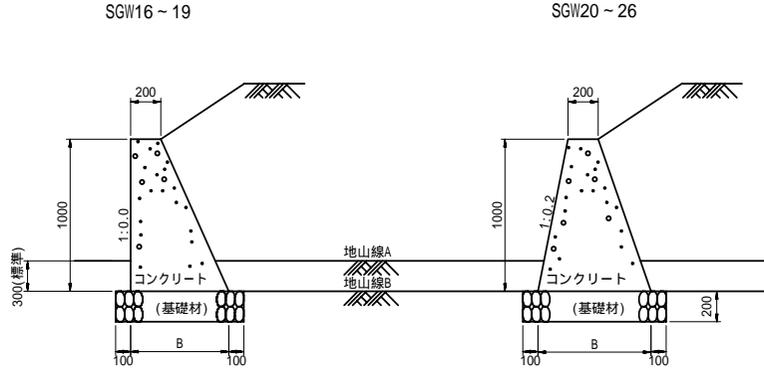
工種記号

(青森) S G W ()
 (断面記号番号)

名称

小型重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない歩道部やのり尻、及び境界壁に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて 5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$S G W () - K () - L = \quad m$$

（断面記号番号 基礎材の種類） （延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)								10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A	B	
S GW16	0.00	650	4.3	21	1.7	9	8.3	1.7	4.8	-	4.3
S GW17		700	4.5	21	1.8	9	8.5	1.8	4.8	-	4.5
S GW18		750	4.8	21	1.9	10	8.8	1.9	4.8	-	4.8
S GW19		800	5.0	22	2.0	10	9.0	2.0	4.8	-	5.0
S GW20	0.20	400	3.0	20	1.2	6	7.0	1.2	4.7	-	3.0
S GW21		450	3.3	20	1.3	7	7.3	1.3	4.7	-	3.3
S GW22		550	3.8	20	1.5	8	7.8	1.5	4.8	-	3.8
S GW23		600	4.0	20	1.6	8	8.0	1.6	4.7	-	4.0
S GW24		750	4.8	21	1.9	10	8.8	1.9	4.8	-	4.8
S GW25		800	5.0	21	2.0	10	9.0	2.0	4.8	-	5.0
S GW26		850	5.3	21	2.1	11	9.3	2.1	4.8	-	5.3

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0303

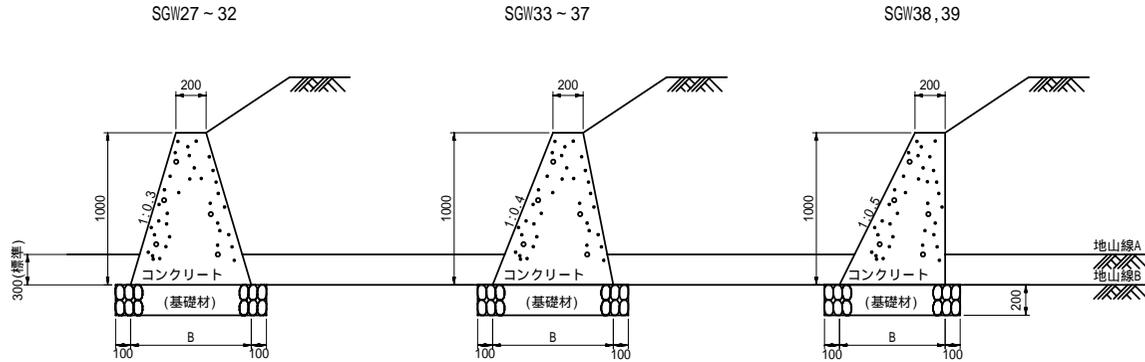
工種記号

(青森) S G W ()
 (断面記号番号)

名称

小型重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない歩道部やのり尻、及び境界壁に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$S G W () - K () - L = m$$

（断面記号番号×基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)								10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A	B	
S GW27	0.30	500	3.5	20	1.4	7	7.5	1.4	4.7	-	3.5
S GW28		700	4.5	21	1.8	9	8.5	1.8	4.8	-	4.5
S GW29		750	4.8	21	1.9	10	8.8	1.9	4.8	-	4.8
S GW30		800	5.0	21	2.0	10	9.0	2.0	4.9	-	5.0
S GW31		850	5.3	21	2.1	11	9.3	2.1	4.9	-	5.3
S GW32		900	5.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.9	-	5.5
S GW33	0.40	600	4.0	21	1.6	8	8.0	1.6	4.8	-	4.0
S GW34		700	4.5	21	1.8	9	8.5	1.8	4.8	-	4.5
S GW35		750	4.8	21	1.9	10	8.8	1.9	4.8	-	4.8
S GW36		800	5.0	21	2.0	10	9.0	2.0	4.9	-	5.0
S GW37		900	5.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.9	-	5.5
S GW38	0.50	700	4.5	21	1.8	9	8.5	1.8	4.8	-	4.5
S GW39		900	5.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.9	-	5.5

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0304

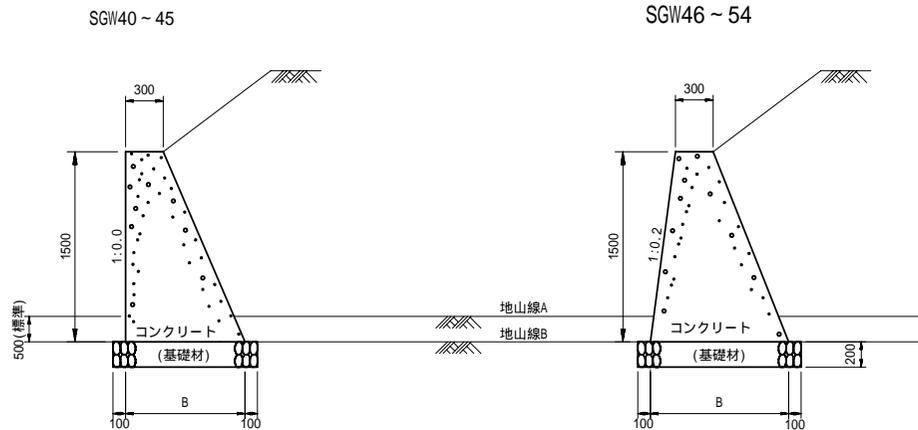
工種記号

(青森) S G W ()
 (断面記号番号)

名称

小型重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない歩道部やのり尻、及び境界壁に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて 5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$S G W () - K () - L = \quad m$$

（断面記号番号 基礎材の種類） （延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
S GW40	0.00	950	9.4	31	2.3	12	13.7	2.3	7.2	-	9.4
S GW41		1,000	9.8	32	2.4	12	14.0	2.4	7.2	-	9.8
S GW42		1,050	10.1	32	2.5	13	14.4	2.5	7.3	-	10.1
S GW43		1,100	10.5	32	2.6	13	14.7	2.6	7.3	-	10.5
S GW44		1,150	10.9	32	2.7	14	15.1	2.7	7.4	-	10.9
S GW45		1,200	11.3	32	2.8	14	15.4	2.8	7.4	-	11.3
S GW46	0.20	600	6.8	30	1.6	8	11.2	1.6	6.9	-	6.8
S GW47		650	7.1	30	1.7	9	11.6	1.7	6.9	-	7.1
S GW48		700	7.5	30	1.8	9	11.9	1.8	6.9	-	7.5
S GW49		850	8.6	31	2.1	11	13.0	2.1	7.1	-	8.6
S GW50		950	9.4	31	2.3	12	13.7	2.3	7.2	-	9.4
S GW51		1,100	10.5	31	2.6	13	14.7	2.6	7.3	-	10.5
S GW52		1,150	10.9	31	2.7	14	15.1	2.7	7.4	-	10.9
S GW53		1,250	11.6	32	2.9	15	15.8	2.9	7.4	-	11.6
S GW54		1,300	12.0	32	3.0	15	16.1	3.0	7.4	-	12.0

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0305

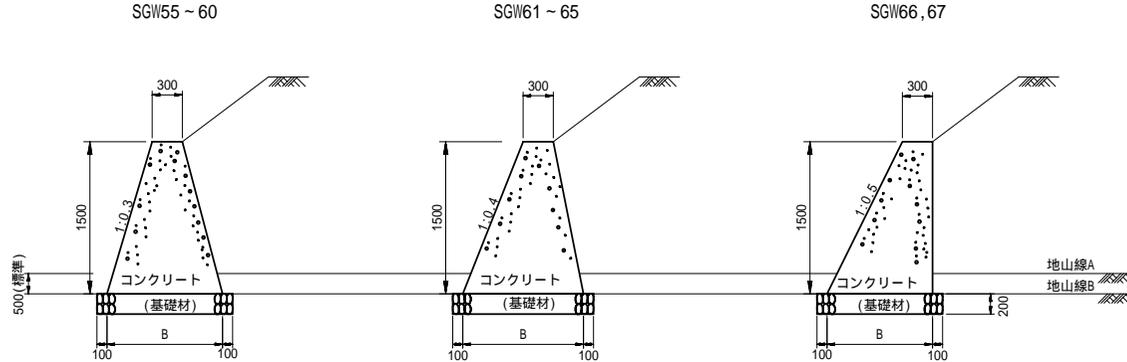
工種記号

(青森) S G W ()
 (断面記号番号)

名称

小型重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない歩道部やのり尻、及び境界壁に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$S G W () - K () - L = m$$

(断面記号番号と基礎材の種類) (延長)

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
S GW55	0.30	750	7.9	31	1.9	10	12.3	1.9	7.0	-	7.9
S GW56		900	9.0	31	2.2	11	13.3	2.2	7.1	-	9.0
S GW57		1,050	10.1	31	2.5	13	14.4	2.5	7.2	-	10.1
S GW58		1,100	10.5	31	2.6	13	14.7	2.6	7.3	-	10.5
S GW59		1,150	10.9	31	2.7	14	15.1	2.7	7.3	-	10.9
S GW60		1,300	12.0	32	3.0	15	16.1	3.0	7.4	-	12.0
S GW61	0.40	900	9.0	31	2.2	11	13.3	2.2	7.1	-	9.0
S GW62		1,000	9.8	31	2.4	12	14.0	2.4	7.2	-	9.8
S GW63		1,150	10.9	31	2.7	14	15.1	2.7	7.3	-	10.9
S GW64		1,200	11.3	31	2.8	14	15.4	2.8	7.4	-	11.3
S GW65		1,300	12.0	32	3.0	15	16.1	3.0	7.4	-	12.0
S GW66	0.50	1,050	10.1	32	2.5	13	14.4	2.5	7.2	-	10.1
S GW67		1,250	11.6	32	2.9	15	15.8	2.9	7.4	-	11.6

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K 2	切込砕石 (最大粒径80mm)

-0306

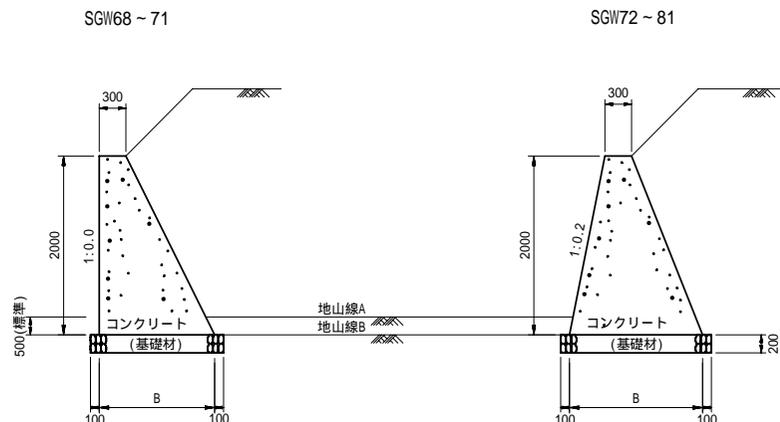
工種記号

(青森) S G W ()
 (断面記号番号)

名称

小型重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない歩道部やのり尻、及び境界壁に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

S G W () - K () - L = m
 （断面記号番号 × 基礎材の種類） （延長）

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

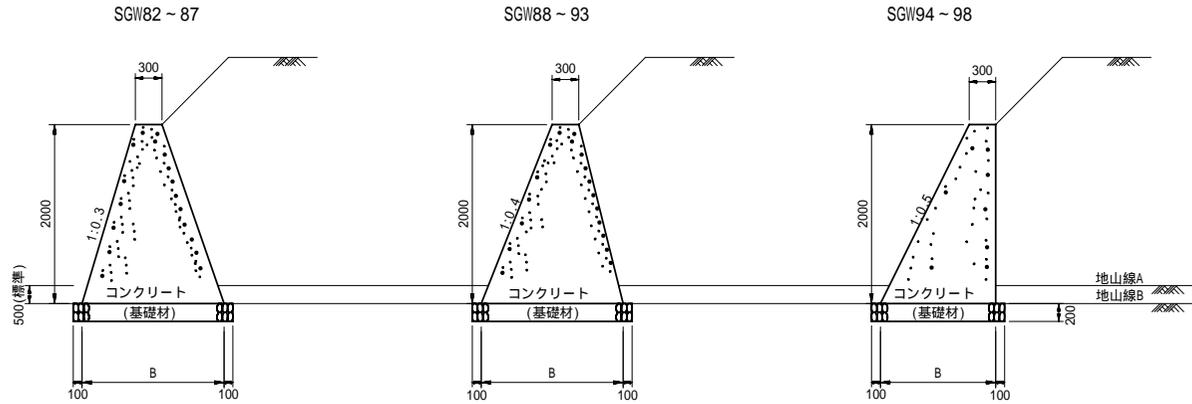
寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
S G W 68	0.00	1,300	16.0	42	3.0	15	16.1	3.0	7.2	-	16.0
S G W 69		1,400	17.0	43	3.2	16	16.8	3.2	7.3	-	17.0
S G W 70		1,500	18.0	43	3.4	17	17.5	3.4	7.4	-	18.0
S G W 71		1,600	19.0	44	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	19.0
S G W 72	0.20	700	10.0	40	1.8	9	11.9	1.8	6.9	-	10.0
S G W 73		800	11.0	40	2.0	10	12.6	2.0	6.9	-	11.0
S G W 74		900	12.0	40	2.2	11	13.3	2.2	7.0	-	12.0
S G W 75		1,000	13.0	41	2.4	12	14.0	2.4	7.0	-	13.0
S G W 76		1,200	15.0	41	2.8	14	15.4	2.8	7.2	-	15.0
S G W 77		1,300	16.0	41	3.0	15	16.1	3.0	7.2	-	16.0
S G W 78		1,500	18.0	42	3.4	17	17.5	3.4	7.4	-	18.0
S G W 79		1,600	19.0	42	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	19.0
S G W 80		1,700	20.0	43	3.8	19	18.9	3.8	7.5	-	20.0
S G W 81		1,800	21.0	43	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	21.0

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

-0307	工種記号	(青森) S G W () (断面記号番号)	名 称	小型重力式擁壁
-------	------	----------------------------	-----	---------

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受けない歩道部やのり尻、及び境界壁に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
SGW82	0.30	900	12.0	41	2.2	11	13.3	2.2	7.0	-	12.0
SGW83		1,000	13.0	41	2.4	12	14.0	2.4	7.0	-	13.0
SGW84		1,300	16.0	41	3.0	15	16.1	3.0	7.2	-	16.0
SGW85		1,600	19.0	42	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	19.0
SGW86		1,700	20.0	42	3.8	19	18.9	3.8	7.5	-	20.0
SGW87		1,800	21.0	43	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	21.0
SGW88		0.40	1,100	14.0	42	2.6	13	14.7	2.6	7.1	-
SGW89	1,200		15.0	42	2.8	14	15.4	2.8	7.2	-	15.0
SGW90	1,500		18.0	42	3.4	17	17.5	3.4	7.4	-	18.0
SGW91	1,600		19.0	42	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	19.0
SGW92	1,700		20.0	42	3.8	19	18.9	3.8	7.5	-	20.0
SGW93	1,800		21.0	43	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	21.0
SGW94	0.50		1,300	16.0	42	3.0	15	16.1	3.0	7.2	-
SGW95		1,400	17.0	42	3.2	16	16.8	3.2	7.3	-	17.0
SGW96		1,600	19.0	43	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	19.0
SGW97		1,700	20.0	43	3.8	19	18.9	3.8	7.5	-	20.0
SGW98		1,800	21.0	43	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	21.0

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

〔設計表示方法〕

$$SGW() - K() - L = m$$

(断面記号番号 基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石 (最大粒径40mm)
K2	切込砕石 (最大粒径80mm)

-0308

工種記号

(青森) SGW()
 (断面記号番号)

名称

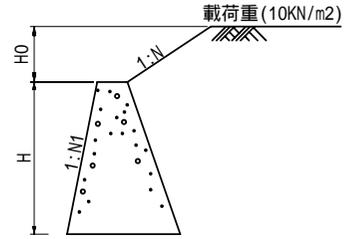
小型重力式擁壁

H	N1	図番	H0/H	μ	C	N	μ = 0.6																											
							C 1														C 2										C 3			
							水平		1 : 2.0				1 : 1.8				1 : 1.5				水平		1 : 2.0				1 : 1.8				水平		1 : 2.0	
0.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.00	0.25	0.50	0.75	1.00				
1.0	-0402	0.00	GW1				GW2				GW2				GW3				GW4															
		0.20	GW5				GW6				GW7				GW8																			
		0.30	GW9				GW9				GW11																							
		0.40	GW12				GW12				GW13																							
		0.50	GW14				GW14				GW14																							
2.0	-0403 -0404	0.00	GW15				GW15				SGW16		GW15		GW16		GW16				GW17													
		0.20	GW18	GW19				GW20	SGW21	GW19	GW20	GW21				GW22	GW22																	
		0.30	GW23				GW24				GW25	SGW26	GW24	GW25	GW26				GW27	GW27														
		0.40	GW28				GW29				SGW30	GW28	GW29	GW30		GW29	GW30	GW31	GW30	GW31														
		0.50	GW32				GW32				GW32				GW33	GW34	GW33	GW34																
3.0	-0405 -0406	0.00	GW35				GW36				GW36				GW37				GW37		GW38													
		0.20	GW39	GW40				GW41				GW40	GW42	GW43	GW40	GW42	GW43	GW44	GW42	GW44														
		0.30	GW45	GW46	GW47				GW48				GW47	GW49	GW50	GW47	GW49	GW50	GW51	GW49	GW51													
		0.40	GW52				GW53				GW52	GW54	GW56		GW52	GW55	GW56	GW57	GW55	GW57														
		0.50	GW58				GW59				GW60	GW58	GW58	GW60	GW61	GW59	GW61		GW59															
4.0	-0407 -0408	0.20	GW62	GW63	GW64				GW65				GW64	GW65	GW66	GW67	GW63	GW65	GW67		GW66	GW67	GW68		GW65	GW67								
		0.30	GW69	GW70	GW71				GW72				GW73	GW71	GW73	GW74		GW70	GW73	GW74	GW75	GW73	GW74	GW75	GW72	GW75								
		0.40	GW76	GW77				GW78	GW79	GW77	GW80	GW81	GW82	GW77	GW80	GW81	GW82	GW77	GW80	GW81	GW82	GW80	GW82		GW79	GW82								
		0.50	GW83				GW84				GW85	GW87	GW83	GW85	GW86	GW87	GW85	GW87		GW84	GW87													
5.0	-0409 -0410	0.20	GW88	GW90	GW91				GW90	GW91	GW92	GW90	GW92	GW93	GW94	GW89	GW92	GW94		GW95	GW92	GW94	GW95	GW96	GW91	GW94	GW96							
		0.30	GW97	GW99	GW100				GW99	GW101	GW102	GW99	GW101	GW103	GW104	GW98	GW102	GW103	GW104		GW102	GW104	GW105		GW101	GW104								
		0.40	GW106	GW107	GW108	GW109				GW108	GW109	GW110		GW108	GW111	GW112	GW113	GW107	GW111	GW112	GW113	GW114	GW111	GW113	GW114	GW110	GW113							
		0.50	GW115				GW116				GW115	GW117	GW119	GW120	GW115	GW117	GW120	GW121		GW118	GW120		GW117	GW121										

H: 擁壁高 (m)
N1: 前面勾配
H0/H: 高さ比
N: 盛土勾配
C: 裏込め土の種類
μ: 滑动摩擦係数

(注) ・ 滑动摩擦係数 (μ)、裏込め土の種類 (C)、盛土勾配 (N)、高さ比 (H0/H)、
 載荷重 (W)、擁壁高 (H)、前面勾配 (N1)より断面 (断面記号番号) を決定する。
 ・  内の番号は断面記号番号を表す。
 ・  標準設計の適用範囲外であることを表す。
 ・ 高さが変化する場合の取り扱いについては、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

記号	裏込め土の種類	土のせん断抵抗角	単位体積重量 (KN/m3)
C 1	礫質土	=35°	20
C 2	砂質土	=30°	19
C 3	シルト・粘性土	=25°	18



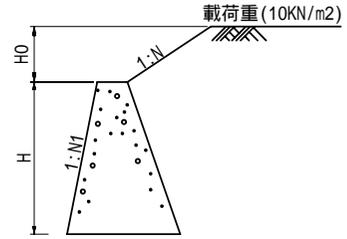
H	N1	図番	HO/H	μ	$\mu = 0.5$																																															
					水平	C 1										C 2																																				
						1 : 2.0					1 : 1.8					1 : 1.5					1 : 2.0					1 : 1.8																										
		0.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.00	0.25	0.50	0.75	1.00	0.25	0.50																															
1.0	-0402	0.00	GW3										GW4					GW4																																		
		0.20	GW6										GW7					GW8																																		
		0.30	GW9										GW10					GW11																																		
		0.40	GW12																																																	
		0.50	GW14															GW14																																		
2.0	-0403 -0404	0.00	GW15					GW16										GW17					GW16					GW17					GW17																			
		0.20	GW20					GW21					GW22					GW21					GW22					GW21					GW27																			
		0.30	GW25					GW26					GW27					GW26					GW27					GW27					GW31																			
		0.40	GW28					GW29					GW30					GW31					GW30					GW34					GW33																			
		0.50	GW32										GW34					GW33																																		
3.0	-0405 -0406	0.00	GW35					GW36					GW37					GW36					GW37					GW38					GW36					GW37					GW38									
		0.20	GW41					GW43					GW44					GW43					GW44					GW43					GW43					GW43														
		0.30	GW47					GW50					GW51					GW50					GW51					GW50					GW50					GW50														
		0.40	GW53					GW55					GW56					GW57					GW56					GW56					GW56					GW56														
		0.50	GW58					GW59					GW61					GW60					GW59					GW59					GW59																			
4.0	-0407 -0408	0.20	GW64					GW66					GW67					GW68					GW66					GW68					GW68																			
		0.30	GW71					GW74					GW75					GW74					GW75					GW74					GW73																			
		0.40	GW77					GW80					GW82					GW81					GW82					GW81					GW80					GW80														
		0.50	GW83					GW85					GW86					GW85					GW87					GW86					GW85					GW85														
5.0	-0409 -0410	0.20	GW90					GW93					GW94					GW95					GW93					GW95					GW96					GW96														
		0.30	GW99					GW103					GW104					GW105					GW103					GW105					GW103					GW105					GW102					GW105				
		0.40	GW108					GW112					GW113					GW114					GW112					GW114					GW112					GW111					GW111									
		0.50	GW115					GW118					GW120					GW119					GW121					GW119					GW117					GW117														

H: 擁壁高 (m)
 N1: 前面勾配
 HO/H: 高さ比
 N: 盛土勾配
 C: 裏込め土の種類
 μ : 滑動摩擦係数

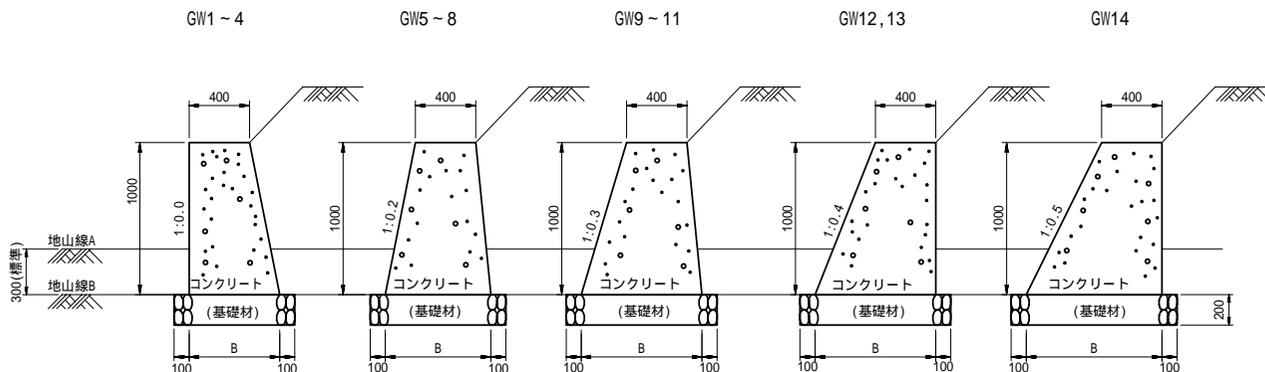
(注)・ 滑動摩擦係数 (μ)、裏込め土の種類 (C)、盛土勾配 (N)、高さ比 (HO/H)、
 載荷重 (W)、擁壁高 (H)、前面勾配 (N1)より断面 (断面記号番号)を決定する。

- GW 内の番号は断面記号番号を表す。
- 標準設計の適用範囲外であることを表す。
- 高さが変化する場合の取り扱いについては、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

記号	裏込め土の種類	土のせん断抵抗角	単位体積重量 (KN/m ³)
C 1	礫質土	=35°	20
C 2	砂質土	=30°	19



断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合は国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
GW 1	0.00	600	5.0	20	1.6	8	8.0	1.6	4.7	-	5.0
GW 2		700	5.5	20	1.8	9	8.5	1.8	4.7	-	5.5
GW 3		800	6.0	21	2.0	10	9.0	2.0	4.8	-	6.0
GW 4		900	6.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.8	-	6.5
GW 5	0.20	600	5.0	20	1.6	8	8.0	1.6	4.7	-	5.0
GW 6		700	5.5	20	1.8	9	8.5	1.8	4.7	-	5.5
GW 7		800	6.0	20	2.0	10	9.0	2.0	4.8	-	6.0
GW 8		900	6.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.8	-	6.5
GW 9	0.30	700	5.5	20	1.8	9	8.5	1.8	4.7	-	5.5
GW 10		800	6.0	20	2.0	10	9.0	2.0	4.8	-	6.0
GW 11		900	6.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.8	-	6.5
GW 12	0.40	800	6.0	21	2.0	10	9.0	2.0	4.8	-	6.0
GW 13		900	6.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.8	-	6.5
GW 14		900	6.5	21	2.2	11	9.5	2.2	4.8	-	6.5

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0402

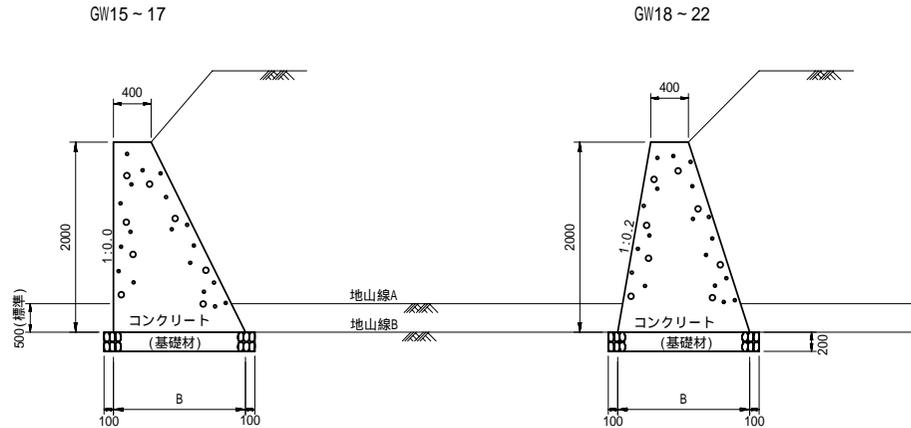
工種記号

(青森) GW()
 (断面記号番号)

名称

重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて 5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)								10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A	B	
GW15	0.00	1,400	18.0	42	3.2	16	16.8	3.2	7.2	-	18
GW16		1,600	20.0	43	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	20
GW17		1,800	22.0	44	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	22
GW18	0.20	1,000	14.0	40	2.4	12	14.0	2.4	7.0	-	14
GW19		1,200	16.0	41	2.8	14	15.4	2.8	7.1	-	16
GW20		1,400	18.0	41	3.2	16	16.8	3.2	7.2	-	18
GW21		1,600	20.0	42	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	20
GW22		1,800	22.0	43	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	22

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0403

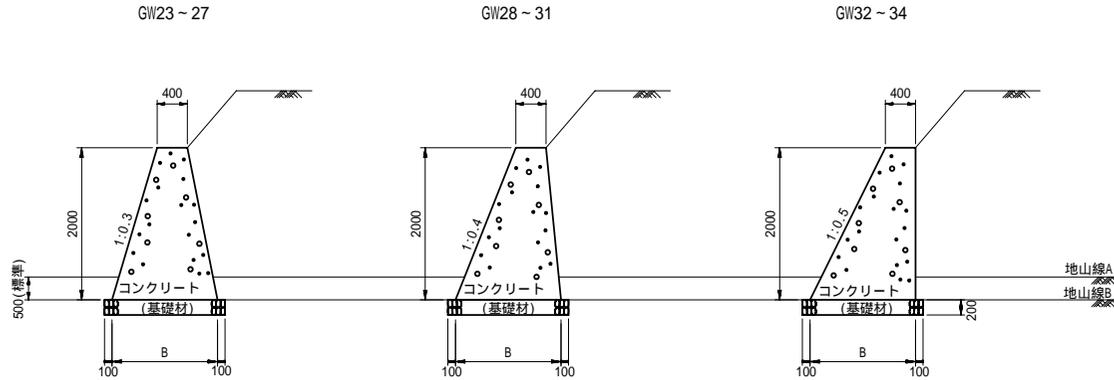
工種記号

(青森) GW()
 (断面記号番号)

名称

重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)								10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A	B	
GW23	0.30	1,000	14.0	41	2.4	12	14.0	2.4	7.0	-	14
GW24		1,200	16.0	41	2.8	14	15.4	2.8	7.1	-	16
GW25		1,400	18.0	41	3.2	16	16.8	3.2	7.2	-	18
GW26		1,600	20.0	42	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	20
GW27		1,800	22.0	42	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	22
GW28	0.40	1,200	16.0	42	2.8	14	15.4	2.8	7.1	-	16
GW29		1,400	18.0	42	3.2	16	16.8	3.2	7.2	-	18
GW30		1,600	20.0	42	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	20
GW31		1,800	22.0	42	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	22
GW32	0.50	1,400	18.0	42	3.2	16	16.8	3.2	7.2	-	18
GW33		1,600	20.0	42	3.6	18	18.2	3.6	7.4	-	20
GW34		1,800	22.0	43	4.0	20	19.6	4.0	7.5	-	22

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0404

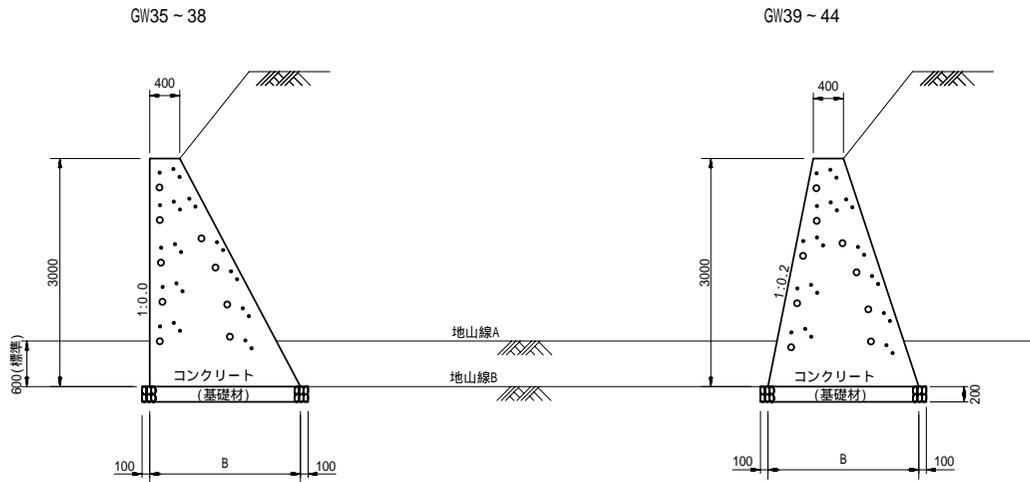
工種記号

(青森) GW()
 (断面記号番号)

名称

重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて 5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)								10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A	B	
GW35	0.00	2,000	36.0	64	4.4	22	24.0	4.4	8.6	-	36
GW36		2,200	39.0	65	4.8	24	25.6	4.8	8.7	-	39
GW37		2,400	42.0	66	5.2	26	27.2	5.2	8.8	-	42
GW38		2,600	45.0	67	5.6	28	28.8	5.6	8.9	-	45
GW39	0.20	1,400	27.0	61	3.2	16	19.2	3.2	8.2	-	27
GW40		1,800	33.0	62	4.0	20	22.4	4.0	8.4	-	33
GW41		2,000	36.0	62	4.4	22	24.0	4.4	8.6	-	36
GW42		2,200	39.0	63	4.8	24	25.6	4.8	8.7	-	39
GW43		2,400	42.0	64	5.2	26	27.2	5.2	8.8	-	42
GW44		2,600	45.0	65	5.6	28	28.8	5.6	8.9	-	45

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0405

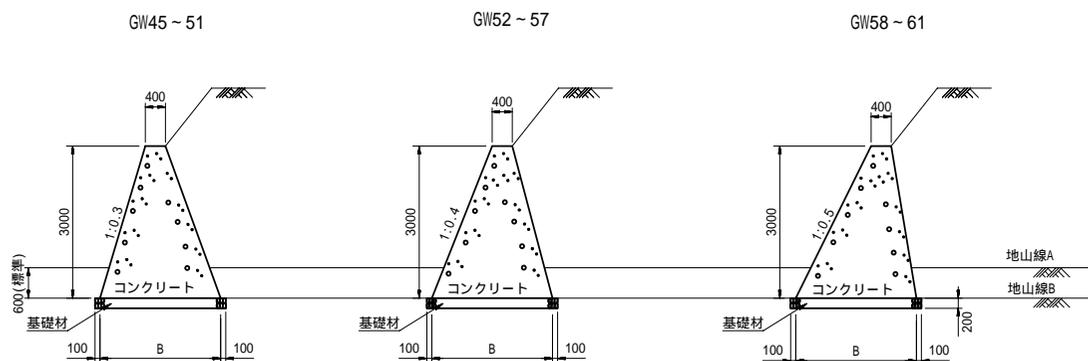
工種記号

(青森) GW()
 (断面記号番号)

名称

重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合は国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
GW45	0.30	1,400	27.0	61	3.2	16	19.2	3.2	8.2	-	27
GW46		1,600	30.0	61	3.6	18	20.8	3.6	8.3	-	30
GW47		1,800	33.0	62	4.0	20	22.4	4.0	8.4	-	33
GW48		2,000	36.0	62	4.4	22	24.0	4.4	8.6	-	36
GW49		2,200	39.0	63	4.8	24	25.6	4.8	8.7	-	39
GW50		2,400	42.0	63	5.2	26	27.2	5.2	8.8	-	42
GW51		2,600	45.0	64	5.6	28	28.8	5.6	8.9	-	45
GW52		0.40	1,600	30.0	62	3.6	18	20.8	3.6	8.3	-
GW53	1,800		33.0	62	4.0	20	22.4	4.0	8.4	-	33
GW54	2,000		36.0	63	4.4	22	24.0	4.4	8.6	-	36
GW55	2,200		39.0	63	4.8	24	25.6	4.8	8.7	-	39
GW56	2,400		42.0	63	5.2	26	27.2	5.2	8.8	-	42
GW57	2,600		45.0	64	5.6	28	28.8	5.6	8.9	-	45
GW58	0.50	2,000	36.0	68	4.4	22	24.0	4.4	8.6	-	36
GW59		2,200	39.0	69	4.8	24	25.6	4.8	8.7	-	39
GW60		2,400	42.0	70	5.2	26	27.2	5.2	8.8	-	42
GW61		2,600	45.0	71	5.6	28	28.8	5.6	8.9	-	45

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

-0406

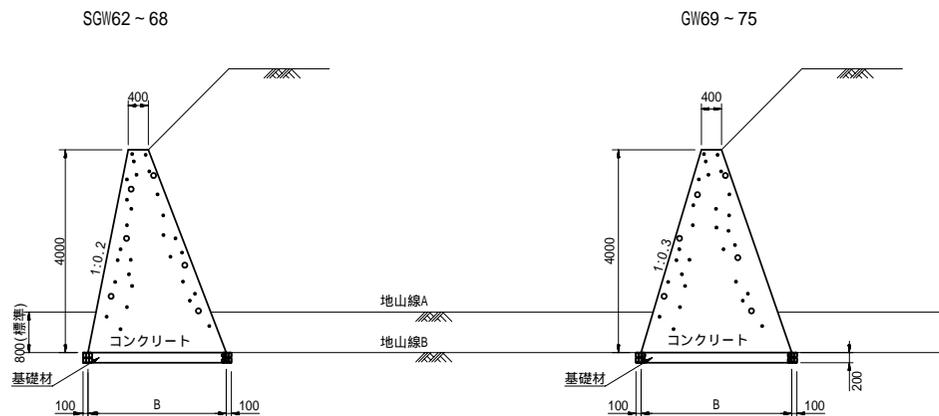
工種記号

(青森) GW()
 (断面記号番号)

名称

重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合に国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
GW62	0.20	2,000	48.0	82	4.4	22	35.0	4.4	15.9	-	48
GW63		2,250	53.0	82	4.9	25	37.5	4.9	16.1	-	53
GW64		2,500	58.0	83	5.4	27	40.0	5.4	16.3	-	58
GW65		2,750	63.0	84	5.9	30	42.5	5.9	16.5	-	63
GW66		3,000	68.0	85	6.4	32	45.0	6.4	16.7	-	68
GW67		3,250	73.0	86	6.9	35	47.5	6.9	16.9	-	73
GW68		3,500	78.0	87	7.4	37	50.0	7.4	17.1	-	78
GW69		0.30	1,750	43.0	82	3.9	20	32.5	3.9	15.7	-
GW70	2,250		53.0	82	4.9	25	37.5	4.9	16.1	-	53
GW71	2,500		58.0	83	5.4	27	40.0	5.4	16.3	-	58
GW72	2,750		63.0	83	5.9	30	42.5	5.9	16.5	-	63
GW73	3,000		68.0	84	6.4	32	45.0	6.4	16.7	-	68
GW74	3,250		73.0	85	6.9	35	47.5	6.9	16.9	-	73
GW75	3,500		78.0	86	7.4	37	50.0	7.4	17.1	-	78

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

-0407

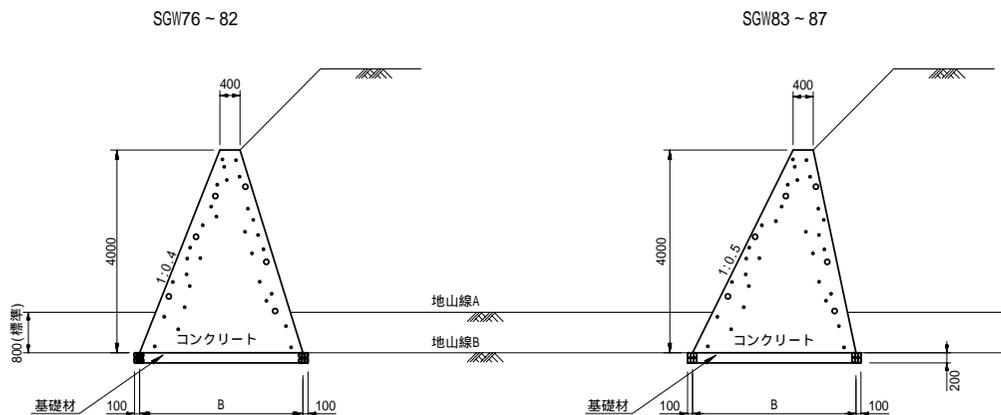
工種記号

(青森) GW()
(断面記号番号)

名称

重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合は国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (1.0m当り)								10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)
	前面勾配 N1	底版幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A	B	
GW76	0.40	2,000	48.0	83	4.4	22	35.0	4.4	15.9	-	48
GW77		2,250	53.0	83	4.9	25	37.5	4.9	16.1	-	53
GW78		2,500	58.0	83	5.4	27	40.0	5.4	16.3	-	58
GW79		2,750	63.0	84	5.9	30	42.5	5.9	16.5	-	63
GW80		3,000	68.0	84	6.4	32	45.0	6.4	16.7	-	68
GW81		3,250	73.0	85	6.9	35	47.5	6.9	16.9	-	73
GW82		3,500	78.0	86	7.4	37	50.0	7.4	17.1	-	78
GW83		0.50	2,500	58.0	85	5.4	27	40.0	5.4	16.3	-
GW84	2,750		63.0	85	5.9	30	42.5	5.9	16.5	-	63
GW85	3,000		68.0	85	6.4	32	45.0	6.4	16.7	-	68
GW86	3,250		73.0	86	6.9	35	47.5	6.9	16.9	-	73
GW87	3,500		78.0	86	7.4	37	50.0	7.4	17.1	-	78

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

-0408

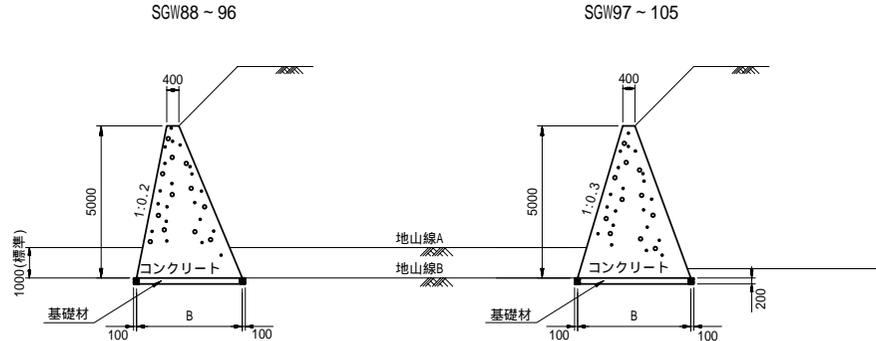
工種記号

(青森) GW()
 (断面記号番号)

名称

重力式擁壁

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合は国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

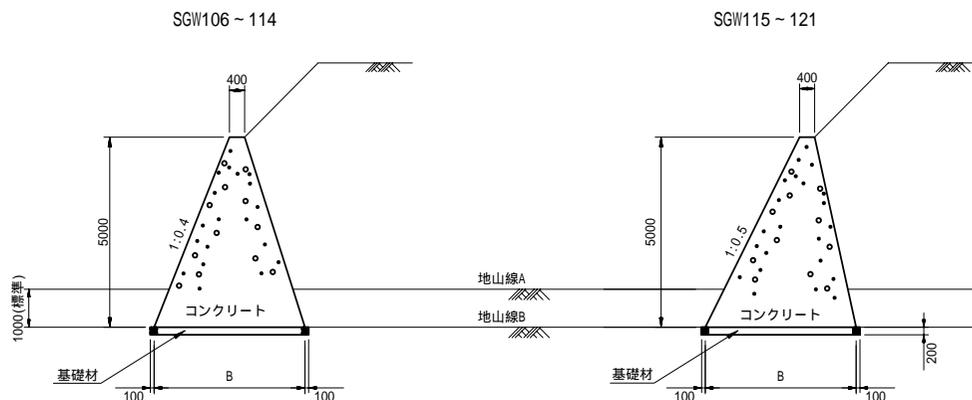
断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)	
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)		
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B
GW88	0.20	2,500	72.5	102	5.4	27	49.2	5.4	20.9	-	73
GW89		2,750	78.8	103	5.9	30	52.2	5.9	21.2	-	79
GW90		3,000	85.0	103	6.4	32	55.2	6.4	21.4	-	85
GW91		3,250	91.3	104	6.9	35	58.2	6.9	21.7	-	91
GW92		3,500	97.5	105	7.4	37	61.2	7.4	21.9	-	98
GW93		3,750	103.8	106	7.9	40	64.2	7.9	22.2	-	104
GW94		4,000	110.0	107	8.4	42	67.2	8.4	22.4	-	110
GW95		4,250	116.3	109	8.9	45	70.2	8.9	22.7	-	116
GW96		4,500	122.5	110	9.4	47	73.2	9.4	22.9	-	123
GW97		0.30	2,250	66.3	102	4.9	25	46.2	4.9	20.7	-
GW98	2,750		78.8	103	5.9	30	52.2	5.9	21.2	-	79
GW99	3,000		85.0	103	6.4	32	55.2	6.4	21.4	-	85
GW100	3,250		91.3	104	6.9	35	58.2	6.9	21.7	-	91
GW101	3,500		97.5	105	7.4	37	61.2	7.4	21.9	-	98
GW102	3,750		103.8	106	7.9	40	64.2	7.9	22.2	-	104
GW103	4,000		110.0	106	8.4	42	67.2	8.4	22.4	-	110
GW104	4,250		116.3	107	8.9	45	70.2	8.9	22.7	-	116
GW105	4,500		122.5	109	9.4	47	73.2	9.4	22.9	-	123

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

-0409	工種記号	(青森) GW() (断面記号番号)	名称	重力式擁壁
-------	------	------------------------	----	-------

断面図



〔適用条件〕

自動車荷重の影響を受ける場合に使用する。
 なお、安全度については、国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻を参照すること。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N / mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。
3. 伸縮目地間隔は1.0m以下とし、排水工は現地の状況に応じて5.0mm程度の水抜孔を2.0~3.0m²に1箇所設けること。
 なお、背面排水施設は、現場の状況に応じて別途計上する（道路土工排水工指針）。
4. V型鉛直目地の間隔は、5m以下を標準とする。
5. 本図は、地震を考慮していない。
6. 中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
7. 擁壁の高さが変化する場合は国土交通省制定土木構造物標準設計第2巻「手引き」を参照のこと。

〔設計表示方法〕

$$GW() - K() - L = m$$

（断面記号番号）（基礎材の種類）（延長）

寸法及び材料表

断面記号 番号	寸法表 (mm)		参考数量表 (10m当り)							10箇所当り 端部型枠、 伸縮目地 (m ²)		
	前面勾配 N1	底板幅 B	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)		埋戻し (m ³)			
					(m ³)	(m ²)	A	B	A		B	
GW106	0.40	2,500	72.5	104	5.4	27	49.2	5.4	20.5	-	73	
GW107		2,750	78.8	104	5.9	30	52.2	5.9	20.7	-	79	
GW108		3,000	85.0	104	6.4	32	55.2	6.4	20.9	-	85	
GW109		3,250	91.3	105	6.9	35	58.2	6.9	21.1	-	91	
GW110		3,500	97.5	105	7.4	37	61.2	7.4	21.3	-	98	
GW111		3,750	103.8	106	7.9	40	64.2	7.9	21.5	-	104	
GW112		4,000	110.0	106	8.4	42	67.2	8.4	21.7	-	110	
GW113		4,250	116.3	107	8.9	45	70.2	8.9	21.9	-	116	
GW114		4,500	122.5	108	9.4	47	73.2	9.4	22.1	-	123	
GW115		0.50	3,000	85.0	106	6.4	32	55.2	6.4	20.9	-	85
GW116			3,250	91.3	106	6.9	35	58.2	6.9	21.1	-	91
GW117			3,500	97.5	106	7.4	37	61.2	7.4	21.3	-	98
GW118			3,750	103.8	107	7.9	40	64.2	7.9	21.5	-	104
GW119			4,000	110.0	107	8.4	42	67.2	8.4	21.7	-	110
GW120	4,250		116.3	108	8.9	45	70.2	8.9	21.9	-	116	
GW121	4,500		122.5	108	9.4	47	73.2	9.4	22.1	-	123	

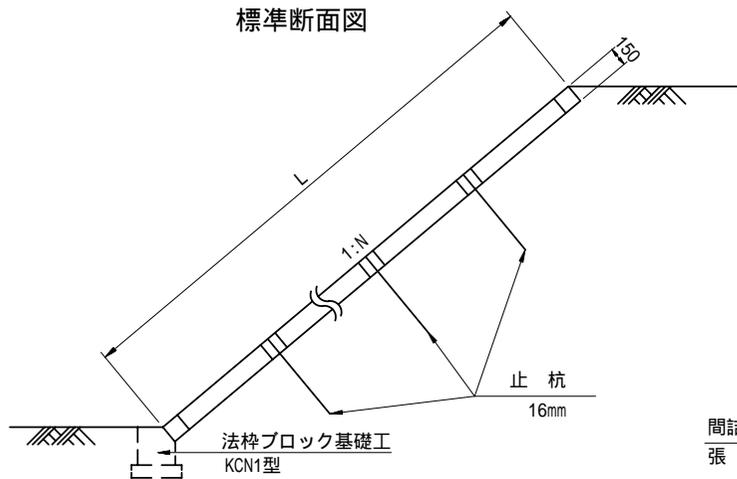
記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）

設計図および現地の状況から地山線A・Bを選択する。

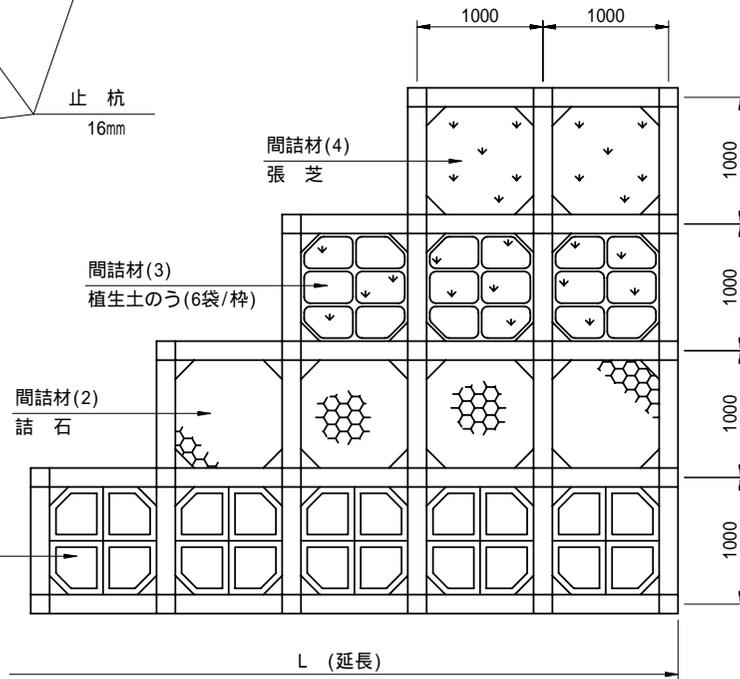
-0410	工種記号	(青森) GW() (断面記号番号)	名称	重力式擁壁
-------	------	------------------------	----	-------

法 面 保 護 類

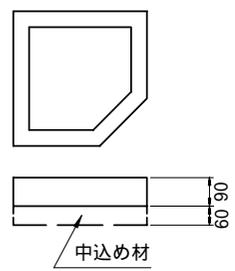
()



平面図



中詰ブロック



〔適用条件〕

道路路面等の直接流水の影響を受けない箇所で、法勾配N 1.0の場合に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート法枠ブロック B類 (枠高150mm、重量50kg/個未満)
コンクリート設計基準強度 $c k = 21 N/mm^2$
2. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N/mm^2$
3. ブロック接続箇所には、止杭 (16mm , 0.5~1.0m) を設置すること。
4. 間詰材の種類については、現地状況により選択する。
5. 詰石は、割栗石 (粒径50~150mm) を標準とする。
6. 伸縮目地間隔は、10m程度とする。

〔設計表示方法〕

$$NB1 - () - N () - A = \quad m^2$$

(間詰材種類) (前面勾配) (面積)

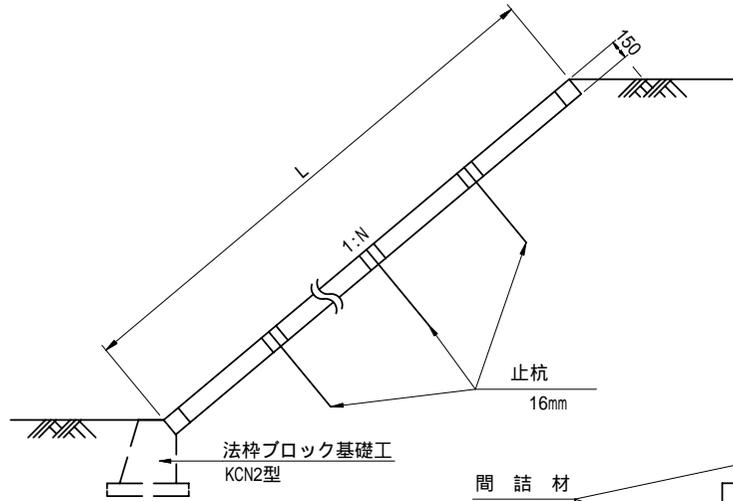
材料表

記号	ブロック 個数 (個)	参考数量表 (100m2当り)				止杭 (本)	参考重量 (kg/個)
		間詰材			張芝 (m2)		
		中詰ブロック(個) 中込め材(m3)	詰石 (m3)	植生土のう (袋)			
NB1	216.3	385.8 3.9	9.7	578	65	90	48.2

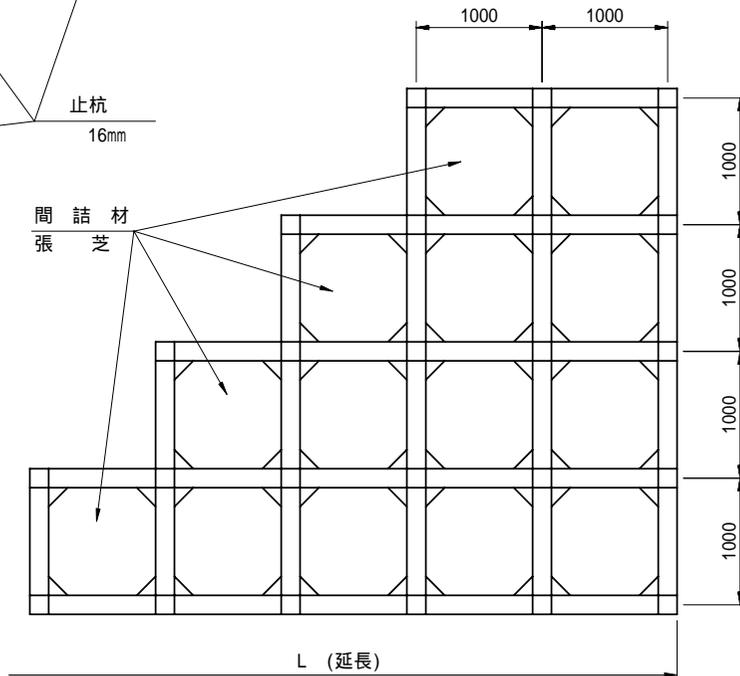
数量は、標準施工量を (L) 30.45m x (1) 7.15m = (A) 217.7125m²として算出し、100m²当りに換算している。

-0101	工種記号	(青森) NB1 - () - N () (間詰材種類) (前面勾配)	名称	法枠ブロック (プレキャスト)
-------	------	--	----	-----------------

標準断面図



平面図



〔適用条件〕

急傾斜地法面の直接流水の影響を受けない箇所、法勾配N 1.0の場合に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート法枠ブロック B類 (枠高150mm、重量50kg/個未満)
コンクリート設計基準強度 $c k = 21 N/mm^2$
2. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N/mm^2$
3. ブロック接続箇所には、止杭 (16mm、1.0m) を設置すること。
4. 間詰材は、張芝を標準とする。
5. 隔壁工、縦排水工等は、別途計上する。
6. 伸縮目地間隔は、10m程度とする。

〔設計表示方法〕

$$NB2-N()-A = \text{m}^2$$

(前面勾配) (面積)

材料表

記号	参考数量表 (100m ² 当り)			参考重量 (kg/個)
	ブロック 個数 (個)	間詰材 張芝 (m ²)	止杭 (本)	
NB2	215.2	65	93	48.2

数量は、標準施工量を (L) 10.15m × (l) 8.15m = (A) 82.7225m²として算出し、100m²当りに換算している。

-0102

工種記号

(青森) NB2-N()
(前面勾配)

名称

法枠ブロック (プレキャスト)

〔適用条件〕

法枠ブロック（NB1，NB2）用基礎工として使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 N/mm^2$
2. 基礎砕石は、再生砕石（最大粒径40mm）、切込砕石（最大粒径80mm）または、コンクリート（呼び強度 $c k = 18 N/mm^2$ ）とする。
3. 伸縮目地間隔は10m程度とする。

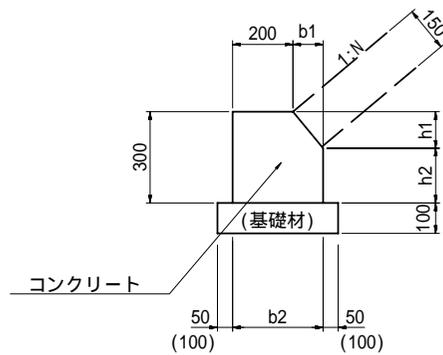
〔設計表示方法〕

KCN1-N () - K () - L = m
 (前面勾配) (基礎材の種類) (延長)

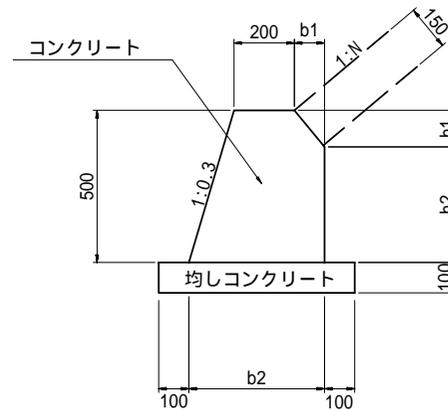
KCN2-N () - L = m
 (前面勾配) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	均しコンクリート

KCN1型



KCN2型



* () 内の数値は、均しコンクリート使用の場合。

基礎工（KCN1）

N (前面勾配)	寸法表 (mm)				参考数量表 (10m当り)					端部型枠 伸縮目地 10箇所当り (m ²)
	b1	b2	h1	h2	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	均しコンクリート (m ³)	均し型枠 (m ²)	
1.0	110	310	110	190	0.9	7	0.4	0.5	2	0.9
1.2	100	300	120	180	0.8	6	0.4	0.5	2	0.8
1.5	90	290	130	170	0.8	6	0.4	0.5	2	0.8
1.8	80	280	140	160	0.8	6	0.4	0.5	2	0.8
2.0	70	270	140	160	0.8	6	0.4	0.5	2	0.8

基礎工（KCN2）

N (前面勾配)	寸法表 (mm)				参考数量表 (10m当り)				端部型枠 伸縮目地 10箇所当り (m ²)
	b1	b2	h1	h2	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	均しコンクリート (m ³)	均し型枠 (m ²)	
1.0	110	460	110	390	1.9	11	0.7	2	1.9
1.1	110	460	120	380	1.9	10	0.7	2	1.9
1.2	100	450	120	380	1.8	10	0.7	2	1.8
1.3	100	450	120	380	1.8	10	0.7	2	1.8
1.4	90	440	130	370	1.8	10	0.6	2	1.8
1.5	90	440	130	370	1.8	10	0.6	2	1.8
1.6	80	430	130	370	1.7	10	0.6	2	1.7
1.7	80	430	130	370	1.7	10	0.6	2	1.7
1.8	80	430	140	360	1.7	10	0.6	2	1.7
1.9	70	420	140	360	1.7	10	0.6	2	1.7
2.0	70	420	140	360	1.7	10	0.6	2	1.7

-0103

工種記号

(青森) KCN ()
 (タイプ)

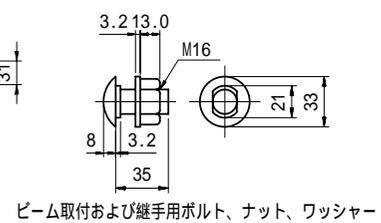
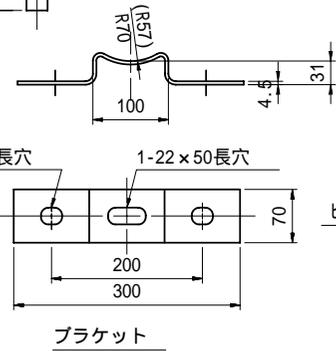
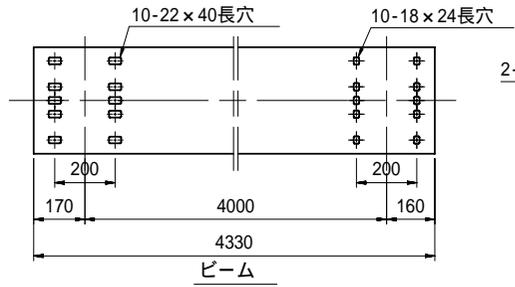
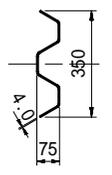
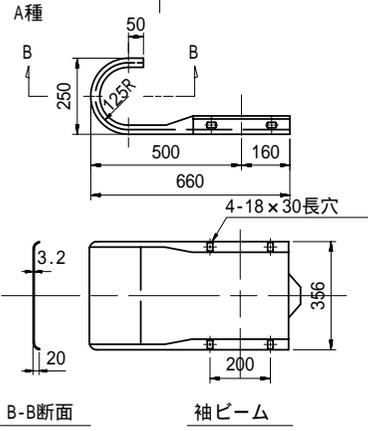
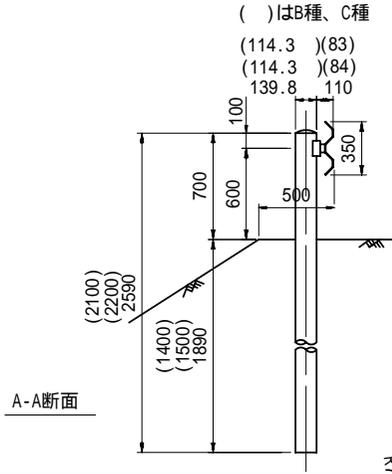
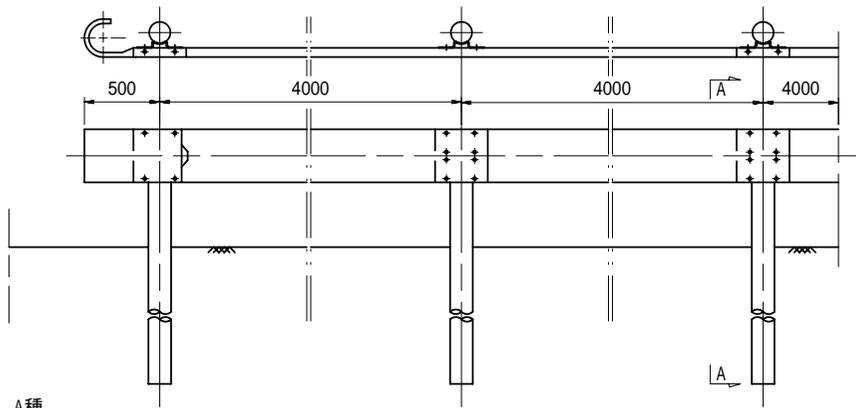
名

称

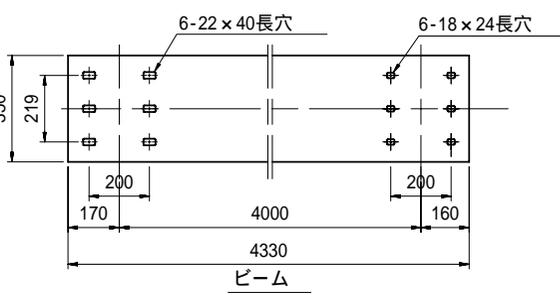
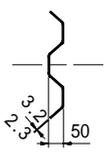
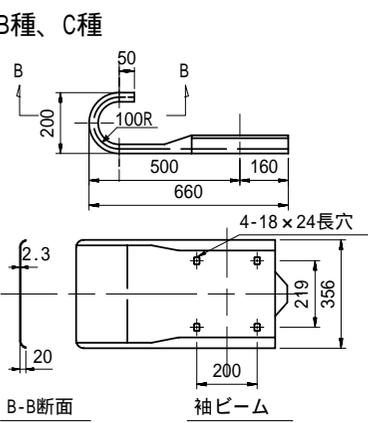
法枠ブロック基礎工

防 護 柵 類

()



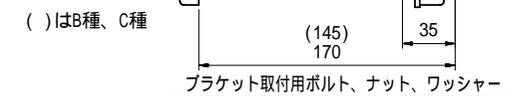
ビーム取付および継手用ボルト、ナット、ワッシャー



()はB種、C種
 (114.3)(83)
 (114.3)(84)
 139.8 110

〔適用条件〕
 種別および形式等の選定については「防護柵の設置基準・同解説（日本道路協会）」「青森県版耐雪型防護柵用積雪ランク図」による。

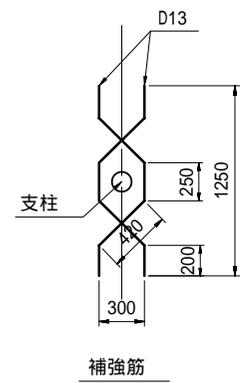
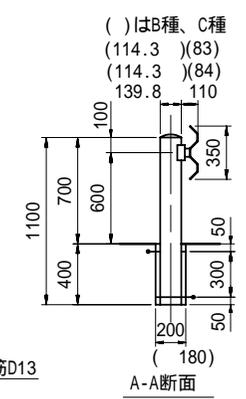
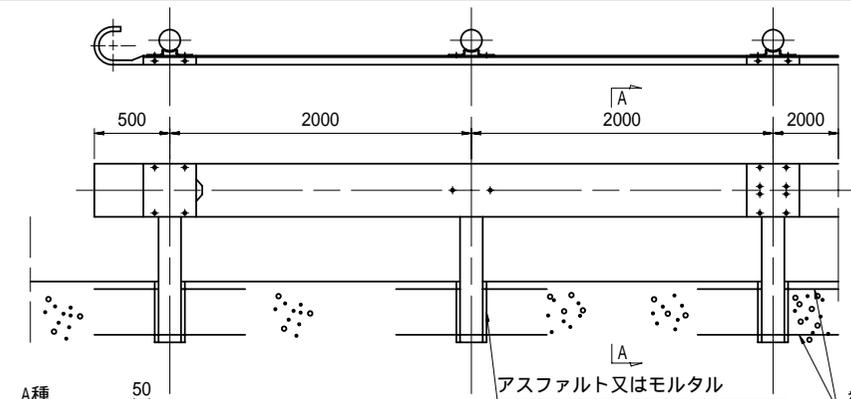
〔設計表示方法〕
 Gr-()-4E()-L= m(延長)



ブラケット取付用ボルト、ナット、ワッシャー

工種記号	ビーム	支柱	ブラケット	
標準型種別	厚さ×幅×長さ	外径×厚さ×長さ	埋込み深さ	
支柱間隔	(mm)	(mm)	(mm)	
	厚さ×幅×長さ		厚さ×幅×長さ	
	(mm)		(mm)	
Gr-A-4E	4.0×350×4330	139.8×4.5×2590	1,890	4.5×70×300
Gr-B-4E	3.2×350×4330	114.3×4.5×2200	1,500	4.5×70×300
Gr-C-4E	2.3×350×4330	114.3×4.5×2100	1,400	4.5×70×300

-0101	工種記号 (青森) Gr-()-4E (種別) (支柱間隔) (土中用)	名称 路側用ガードレール(標準型)
-------	---------------------------------------	-------------------

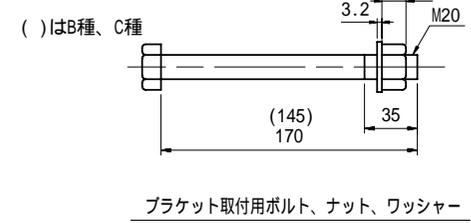
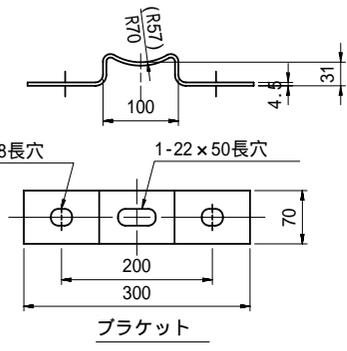
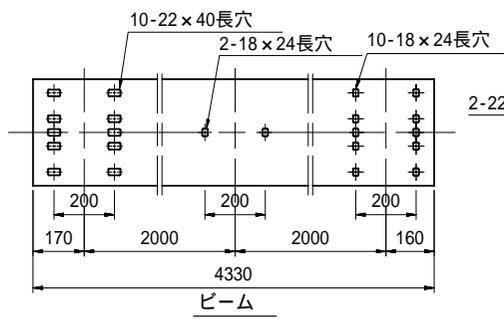
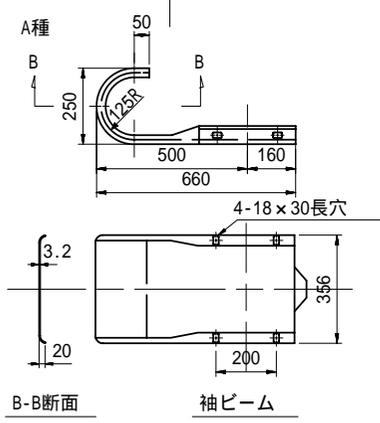


〔適用条件〕

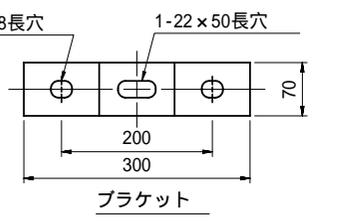
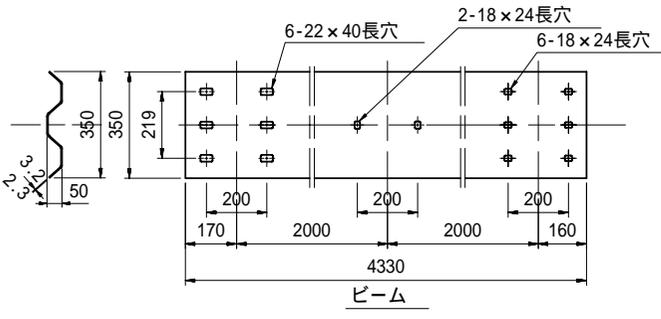
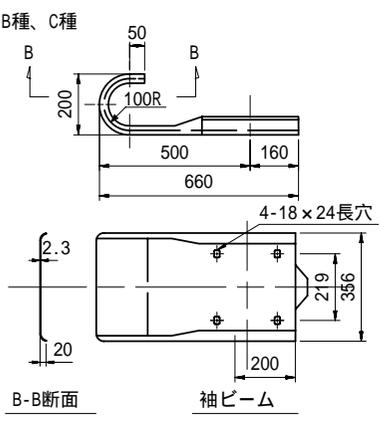
種別および形式等の選定については「防護柵の設置基準・同解説（日本道路協会）」「青森県版耐雪型防護柵用積雪ランク図」による。

〔設計表示方法〕

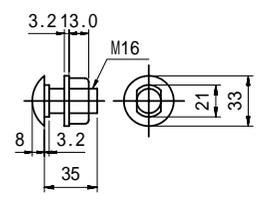
$G r - () - 2 B - L = m (延長)$



ブラケット取付用ボルト、ナット、ワッシャー



ブラケット



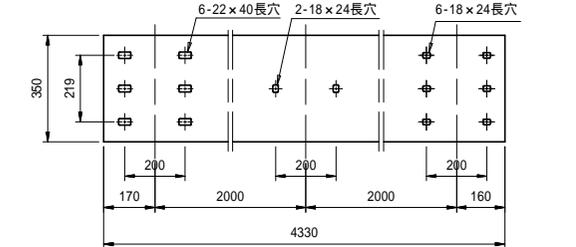
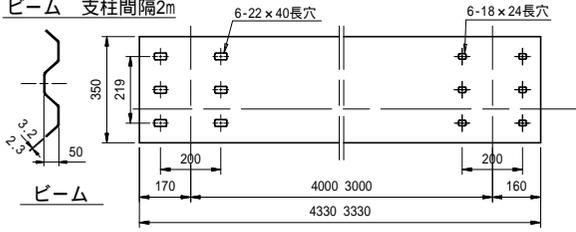
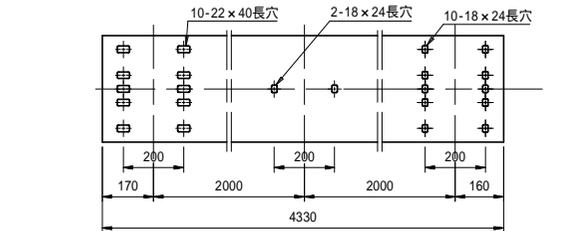
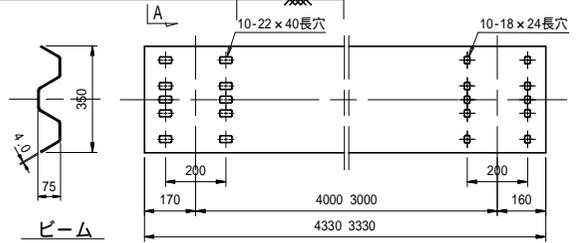
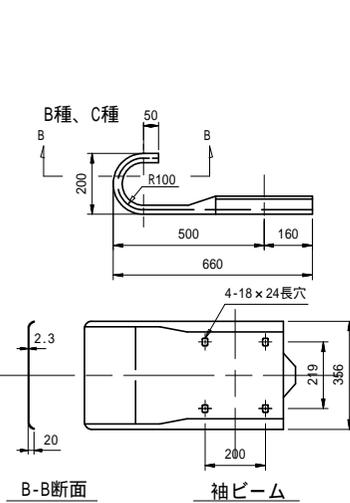
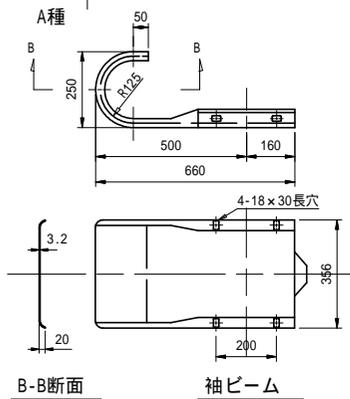
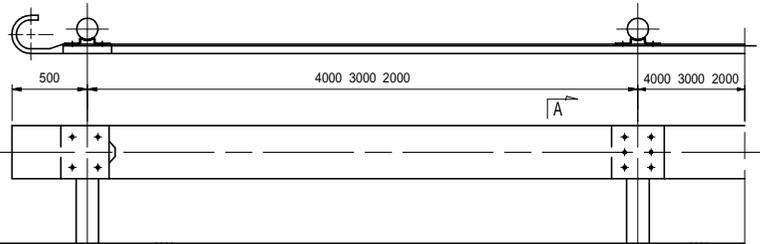
ビーム取付および継手用ボルト、ナット、ワッシャー

工種記号	ビーム	支柱	ブラケット
標準型種別	厚さ×幅×長さ	外径×厚さ×長さ	埋込み深さ
支柱間隔	(mm)	(mm)	(mm)
G r - A - 2 B	4.0×350×4330	139.8×4.5×1100	400
G r - B - 2 B	3.2×350×4330	114.3×4.5×1100	400
G r - C - 2 B	2.3×350×4330	114.3×4.5×1100	400
	厚さ×幅×長さ	埋込み深さ	厚さ×幅×長さ
	(mm)	(mm)	(mm)

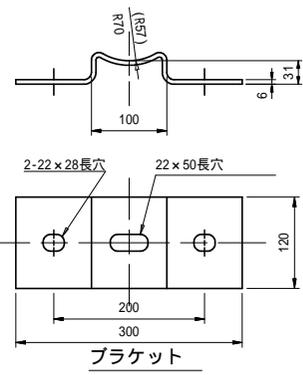
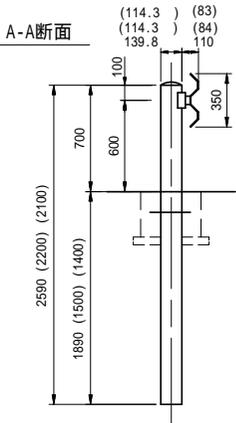
-0201	工種記号 (青森) G r - () - 2 B (種別) (支柱間隔)(コンクリート中用)	名称 路側用ガードレール(標準型)
-------	---	-------------------

(平成19年6月)

青森県土木整備部



()はB種、C種



〔適用条件〕

種別および形式等の選定については「防護柵の設置基準・同解説（日本道路協会）」、「青森県版耐雪型防護柵用積雪ランク図」による。

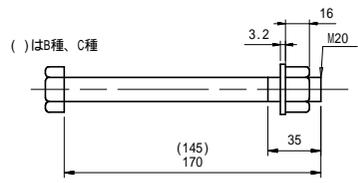
〔仕様〕

根巻きコンクリートは、別途指示すること。

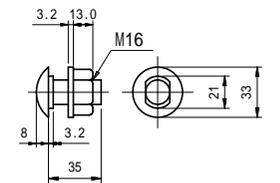
〔設計表示方法〕

Gr - () () - () E - L = m (延長)
(種別) (積雪ランク) (支柱間隔) (延長)

ブラケット取付用ボルト、ナット、ワッシャー



ビーム取付および継手用ボルト、ナット、ワッシャー



工種記号	ビーム	支柱	ブラケット	積雪 ランク	根巻きコンクリート
耐雪型種別	厚さ×幅×長さ	外径×厚さ×長さ	厚さ×幅×長さ		幅×長さ×厚さ
支柱間隔	(mm)	(mm)	(mm)		(mm)
Gr - A4, 5-2E	4.0×350×4330	139.8×4.5×2590	6.0×120×300	4~5	400×400×250
Gr - B2-4E	3.2×350×4330	114.3×4.5×2200	6.0×120×300	2	400×400×250
Gr - B3-3E	3.2×350×3330	114.3×4.5×2200	6.0×120×300	3	400×400×250
Gr - B4-2E	3.2×350×4330	114.3×4.5×2200	6.0×120×300	4	400×400×250
Gr - C2-3E	2.3×350×3330	114.3×4.5×2100	6.0×120×300	2	400×400×250
Gr - C3-2E	2.3×350×4330	114.3×4.5×2100	6.0×120×300	3	400×400×250

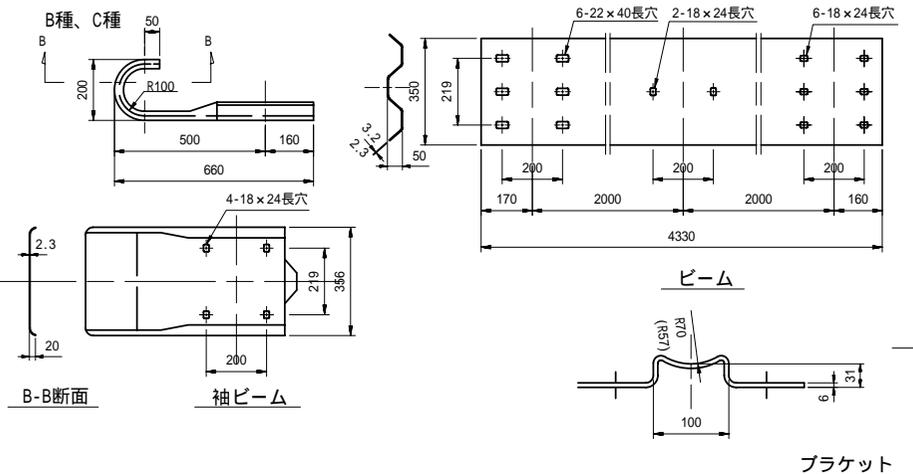
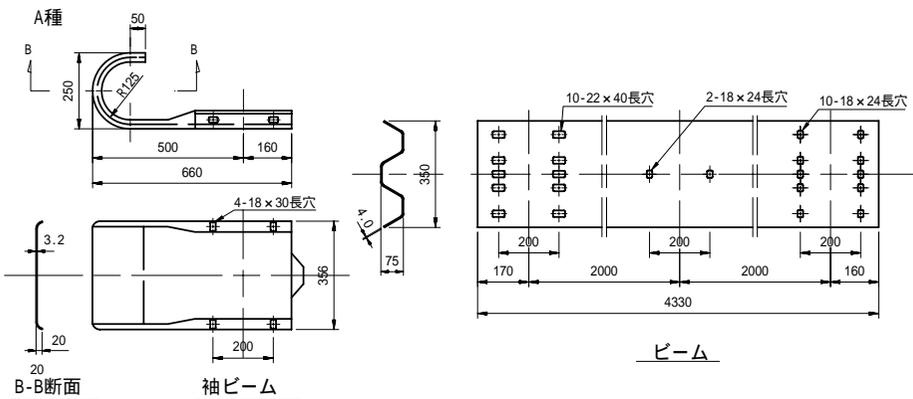
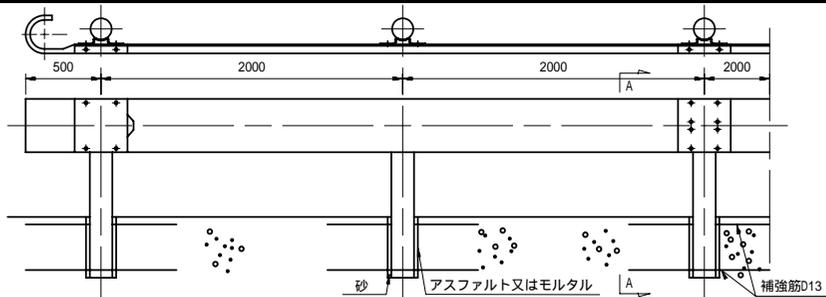
-0301

工種記号

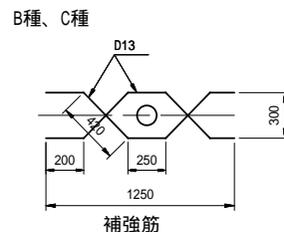
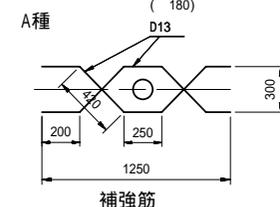
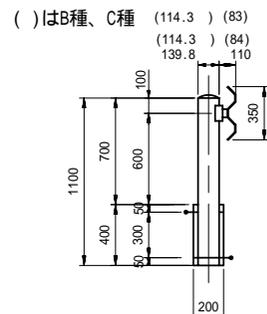
(青森) Gr - () () - () E
(種別) (積雪ランク) (支柱間隔) (土中用)

名称

路側用ガードレール (耐雪型)



A-A断面



〔適用条件〕

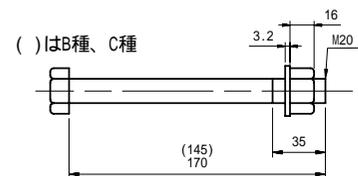
種別および形式等の選定については「防護柵の設置基準・同解説（日本道路協会）」「青森県版耐雪型防護柵用積雪ランク図」による。

〔設計表示方法〕

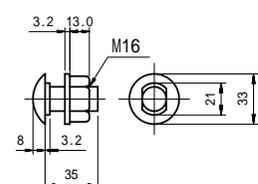
$$Gr - () () - 2 B - L = \quad m$$

(種別) (積雪ランク) (支柱間隔) (延長)

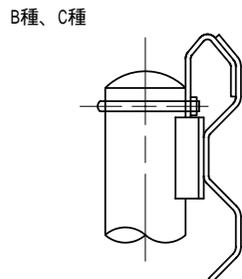
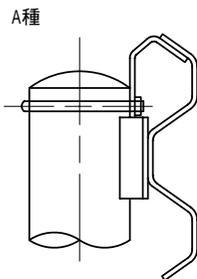
ブラケット取付用ボルト、ナット、ワッシャー



ビーム取付および継手用ボルト、ナット、ワッシャー



工種記号	ビーム	支柱	ブラケット	積雪ランク
耐雪型 種別 支柱間隔	厚さ×幅×長さ (mm)	外径×厚さ×長さ (mm)	厚さ×幅×長さ (mm)	
Gr-A2-5-2 B	4.0×350×4330	139.8×4.5×1100	6.0×120×300	2-5
Gr-B2-4-2 B	3.2×350×4330	114.3×4.5×1100	6.0×120×300	2-4
Gr-C2,3-2 B	2.3×350×4330	114.3×4.5×1100	6.0×120×300	2-3



ビーム補強金具を取付けた場合

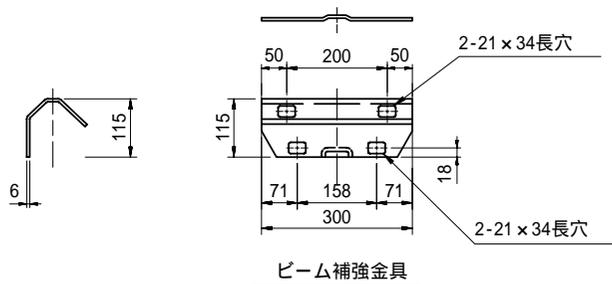
〔適用条件〕

路側用ガードレール（耐雪型）に使用し、切土法面等でビームに作用する斜面雪圧力（グラインド力）が大きく、ビームがねじられる可能性が高い場合に適用する。

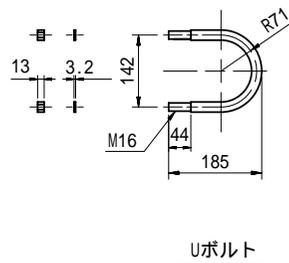
〔設計表示方法〕

HK-()-N= セット

A種

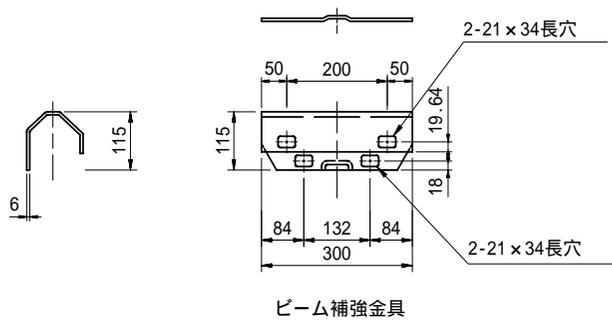


ビーム補強金具

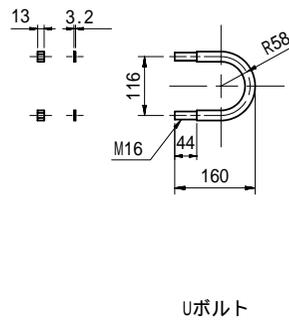


Uボルト

B種、C種



ビーム補強金具



Uボルト

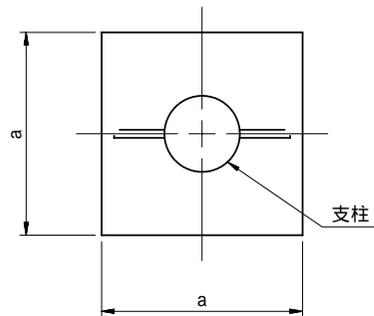
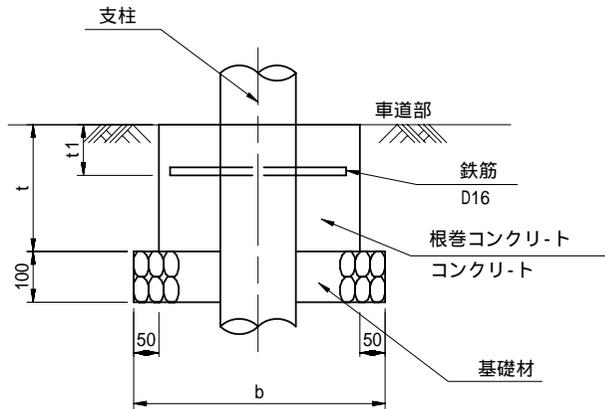
-0501

工種記号

(青森) HK-()
(種別)

名称

ビーム補強金具



〔適用条件〕

路側用ガードレール（耐雪型）の土中建込用支柱根巻に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k = 18 \text{ N/mm}^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。

なお、路盤の上に設置する場合は、基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

NC-A1-()-K()-L = m (ガードレール延長)
(支柱間隔) (基礎材の種類)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

寸法表及び材料表

記号	支柱間隔 (m)	寸法表 (mm)				参考数量表 (100m当り)				
		a	t	b	t1	鉄筋 (mm)	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎材 (m3) (m2)	
NC-A1-2	2.0	400	250	500	100	D16×300	2.0	20	1.3	13
NC-A1-3	3.0					D16×300	1.3	13	0.8	8
NC-A1-4	4.0					D16×300	1.0	10	0.6	6

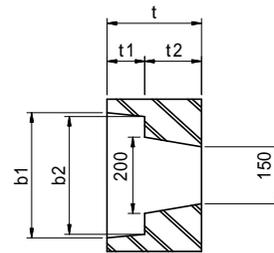
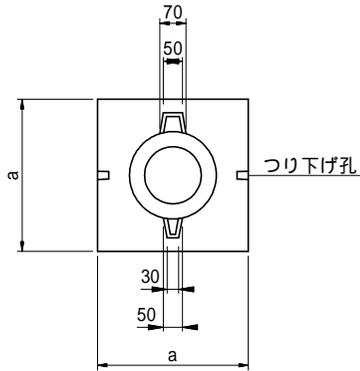
-0601

工種記号

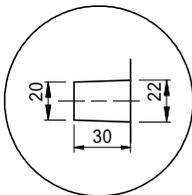
(青森) NC-A1-()
(支柱間隔)

名称

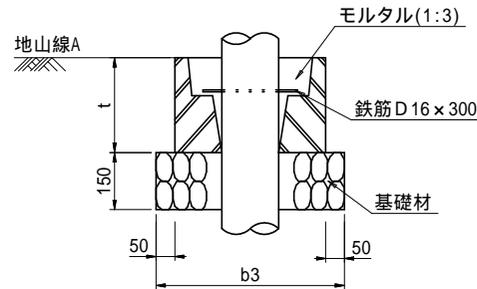
根巻コンクリート（現場打ち）



つり下げ孔詳細



つり下げ孔は天端より100mm下ガリ



〔適用条件〕

路側用ガードレール（耐雪型）の土中建込用支柱根巻に使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 設計基準強度 $c k = 18 N/mm^2$
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。

〔設計表示方法〕

$$NC-B1-()-K()-L = m$$

（支柱間隔）（基礎材の種類）（ガードレール延長）

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

呼び名	支柱間隔 (m)	寸法表 (mm)							参考数量表 (100m当り)				
		a	t	b1	b2	b3	t1	t2	個数	参考質量 (kg/個)	基礎材		丸外
											(m3)	(m2)	(m3)
NC-B1-2	2.0	400	250	330	310	500	100	150	50	80	1.9	13	0.2
NC-B1-3	3.0								33		1.2	8	0.3
NC-B1-4	4.0								25		0.9	6	0.1

モルタル上段は支柱 139.8mm

モルタル下段は支柱 114.3mm

-0701

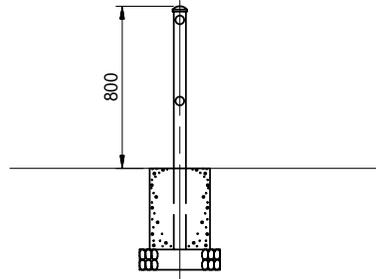
工種記号

(青森) NC-B1-()
(支柱間隔)

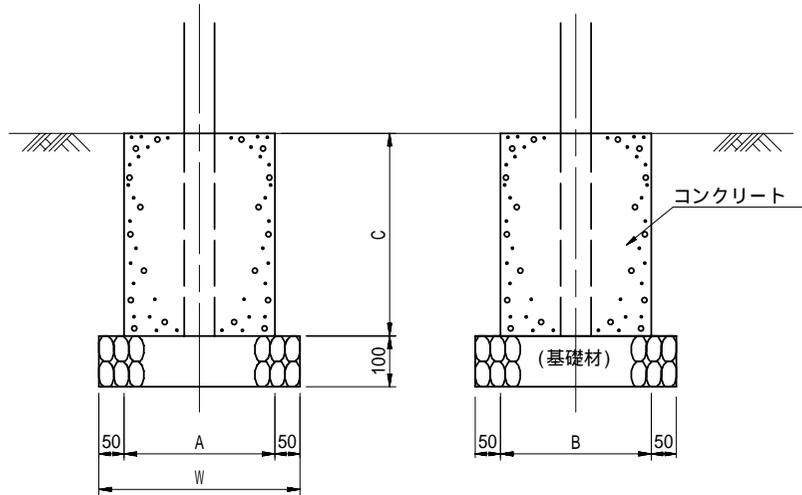
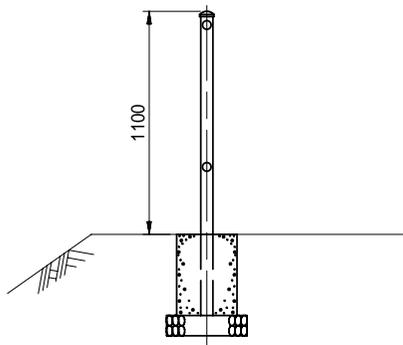
名称

根巻コンクリートブロック（プレキャスト）

B K - A 型
(横断防止柵)



B K - B 型
(転落防止柵)



〔適用条件〕

歩道用横断防止柵、及び転落防止柵のコンクリート根固めに使用する。
 また、横断防止柵（標準高さ80cm）はコンクリート根固めを標準とし、BK-Aを使用する。転落防止柵（標準高さ110cm）は、土中建込を標準とするが、現地の状況等によりコンクリート根固めとする場合は、次により選択する。
 路肩側方余裕10cm以上50cm未満、法勾配1割5分以上の場合。（BK-B1）
 路肩側方余裕50cm以上の場合。（BK-B2）

〔仕様〕

1. 支柱間隔3.0m、支柱外径60.5mm、厚さ3.2mmを標準とする。
2. コンクリート 呼び強度 $c k = 18N/mm^2$
3. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。

〔設計条件〕

1. 設計荷重：垂直方向60kg/m、水平方向40kg/m
2. 土質条件：中位以上の地耐力を有するもの（N値10程度の砂質地盤）

〔設計表示方法〕

$$BK - () - () - K () - L = \quad m$$

(型) (支柱間隔) (基礎材の種類) (延長)

記号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

呼び名	支柱間隔 (m)	寸法表 (mm)				参考数量表 (100m当り)			
		A	B	C	W	コンクリート (M3)	型枠 (m2)	基礎材	
								(m3)	(m2)
BK-A	3	300	300	400	400	1.2	16	0.5	5
BK-B1				800		2.4	32	0.5	5
BK-B2				450		1.4	18	0.5	5

-0801

工種記号

(青森) BK - () - ()
(型) (間隔)

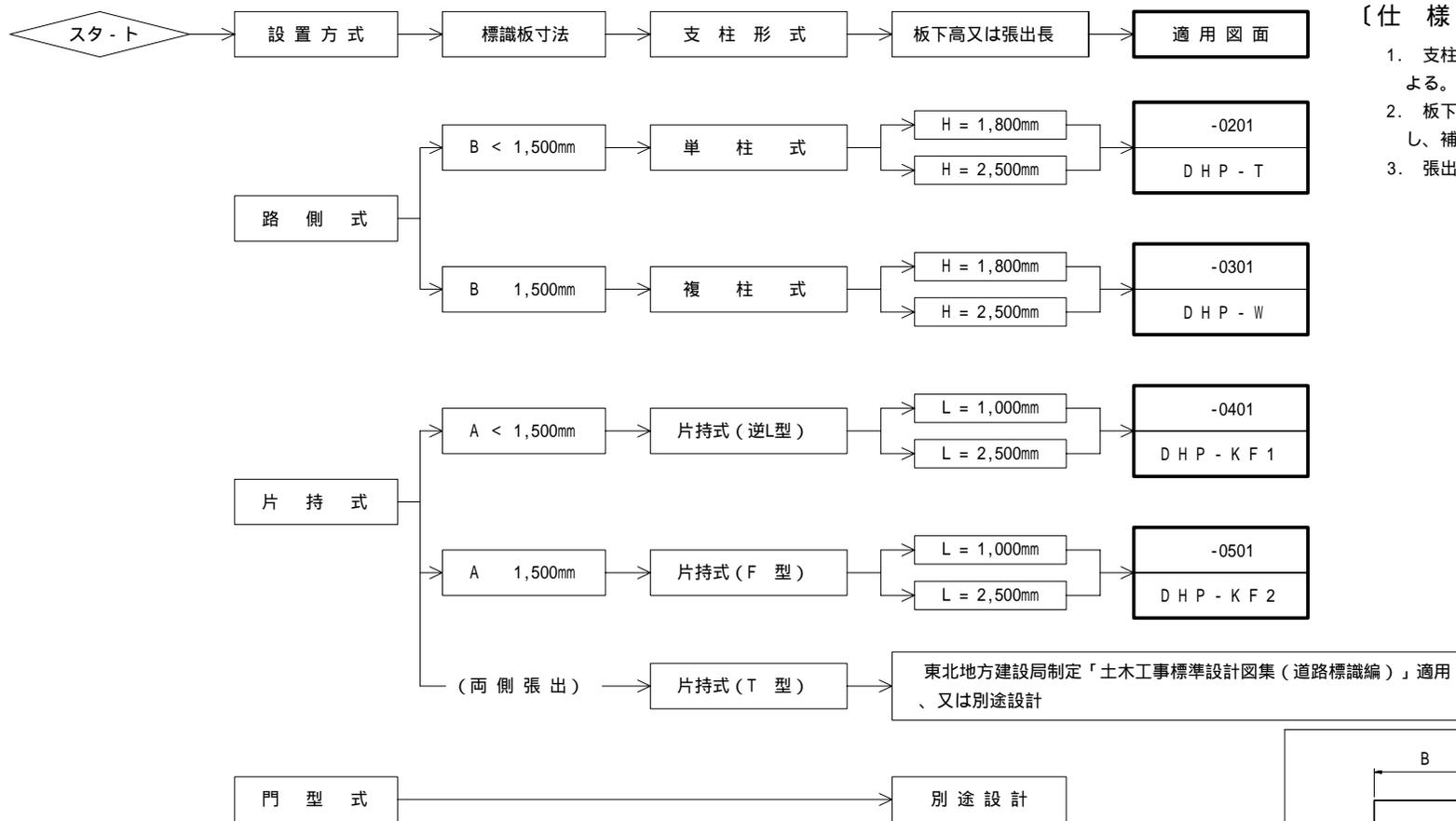
名称

防止柵基礎 (場所打ち)

標 識 類

()

道路標識 支柱形式適用図面 検索 フロ -

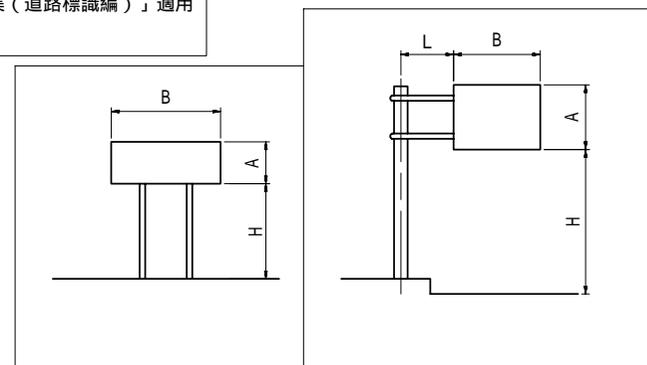


〔適用条件〕

設置場所、設置方式等の選定については、「道路標識設置基準・同解説（日本道路協会）」による。

〔仕様〕

1. 支柱の構造設計は、「鋼構造設計基準（日本建築学会）」による。
2. 板下高とは、路面から標識板の下端までの高さとする。ただし、補助標識がある場合にはその下端までの高さである。
3. 張出長とは、支柱の中心から標識板端までの距離である。



- 0101(1)

工種記号 (青森) DH

名称 道路標識適用索引表

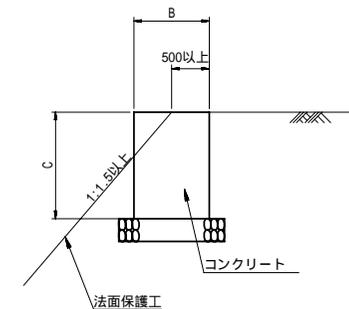
道路標識 板と支柱及び基礎の組合せ表

支柱形式	板下高さ (H) (mm)	張出長さ (L) (mm)	板面積 (A×B) (m ²)	支柱構造形式		基礎構造形式			
				適用図面	記号番号	記号番号			
						平坦地盤	法肩部		
単柱式T型	1,800		0.4以下	-0201	DHP-T-(1) -直(曲)	-0601	DHK-T-2 (or1)		
	"		0.4超 ~ 0.5"		DHP-T-(2) -直(曲)		DHK-T-4 (or2)		
	"		0.5" ~ 0.6"		DHP-T-(3) -直(曲)				
	"		0.6" ~ 0.8"		DHP-T-(4) -直(曲)		DHK-T-5 (or3)		
	"		0.8" ~ 1.0"		DHP-T-(5) -直(曲)				
	"		1.0" ~ 1.2"		DHP-T-(6) -直(曲)		DHK-T-6 (or4)		
	2,500		0.3以下		DHP-T-(1) -直(曲)		DHK-T-2 (or1)		
	"		0.3超 ~ 0.4"		DHP-T-(2) -直(曲)		DHK-T-3 (or1)		
	"		0.4" ~ 0.6"		DHP-T-(4) -直(曲)				
	"		0.6" ~ 0.8"		DHP-T-(5) -直(曲)		DHK-T-5 (or3)		
"		0.8" ~ 1.0"	DHP-T-(6) -直(曲)	DHK-T-6 (or4)					
複柱式W型	1,800		~ 1.0以下	-0301	DHP-W-(1)	-0701	DHK-W-1		
	"		1.0超 ~ 1.1"		DHP-W-(2)		DHK-W-2		
	"		1.1" ~ 1.2"		DHP-W-(3)				
	"		1.2" ~ 1.6"		DHP-W-(4)		DHK-W-3		
	2,500		~ 0.8以下		DHP-W-(2)				
	"		0.8超 ~ 0.9"		DHP-W-(3)		DHK-W-1		
"		0.9" ~ 1.2"	DHP-W-(4)	DHK-W-3					
片持式 KF型	逆L型	1,000	~ 1.0以下	-0401	DHP-KF1-(1)	-0801	DHK-KF1-1F	KF1-1S	
			"		1.0超 ~ 1.5"		DHP-KF1-(2)	DHK-KF1-2F	KF1-2S
			"		1.5" ~ 2.4"		DHP-KF1-(3)	DHK-KF1-3F	KF1-3S
			"		2.4" ~ 3.5"		DHP-KF1-(4)		KF1-4S
			"		3.5" ~ 4.2"		DHP-KF1-(5)	DHK-KF1-4F	KF1-5S
		5,000	2,500		~ 0.6以下		DHP-KF1-(1)	DHK-KF1-1F	KF1-1S
		"	"		0.6超 ~ 1.0"		DHP-KF1-(2)		
		"	"		1.0" ~ 2.0"		DHP-KF1-(3)	DHK-KF1-3F	KF1-3S
		"	"		2.0" ~ 2.5"		DHP-KF1-(4)		
		"	"		2.5" ~ 3.5"		DHP-KF1-(5)	DHK-KF1-4F	KF1-4S
	F型	1,000	~ 3.3以下	-0501	DHP-KF2-(1)	-0901 or -1101	DHK-KF2-1F	KF2-1S	
			"		3.3超 ~ 6.0"		DHP-KF2-(2)	DHK-KF2-2F	KF2-2S
			"		6.0" ~ 8.0"		DHP-KF2-(3)	DHK-KF2-3F or KF3-1	KF2-3S
			"		8.0" ~ 9.5"		DHP-KF2-(4)	DHK-KF2-4F or KF3-2	KF2-5S
			"		9.5" ~ 11.2"			DHK-KF2-5F or KF3-2	KF2-6S
		"	11.2" ~ 12.5"		DHP-KF2-(5)				
		5,000	2,500		~ 2.2以下	DHP-KF2-(1)	-0801	DHK-KF1-3F	KF1-3S
		"	"		2.2超 ~ 4.3"	DHP-KF2-(2)		DHK-KF1-5F	KF1-5S
		"	"		4.3" ~ 5.5"	DHP-KF2-(3)		DHK-KF2-1F	KF2-1S
		"	"		5.5" ~ 7.2"	DHP-KF2-(4)	-0901 or -1101	DHK-KF2-2F	KF2-2S
"	"	7.2" ~ 8.4"	DHK-KF2-4F or KF3-1	KF2-4S					
"	"	8.4" ~ 11.3"	DHK-KF2-5F or KF3-2	KF2-5S					

〔仕様〕

- 基礎の設計は、「道路付属物の基礎について(道路局企画課長通達)」によることを原則とするが、これによることが適切でないときは、道路橋示方書 下部構造編の設計法に準拠して直接基礎あるいは杭基礎として設計する。
- 基礎設計における地盤は、砂質土N値10程度とし、許容地耐力度を次の値以上とする。
 常時 $q = 50\text{KN/m}^2$
 異常時(風等) $q = 100\text{KN/m}^2$
- 片持式の基礎を法肩に設置する場合は、下図の法面形状及び設置位置の条件に合致する場合のみ適用すること。
 その他の場合は、別途設計すること。
- 板面積(A×B)には、補助標識がある場合は、補助標識板の面積を加えたものとする。

片持式の基礎を法肩に設置する場合



注) 単柱式の基礎構造形式において、基礎が舗装面に埋め込まれている場合には、根入れ長さを70%まで低減した()内番号の構造としてよい。

- 0101(2)

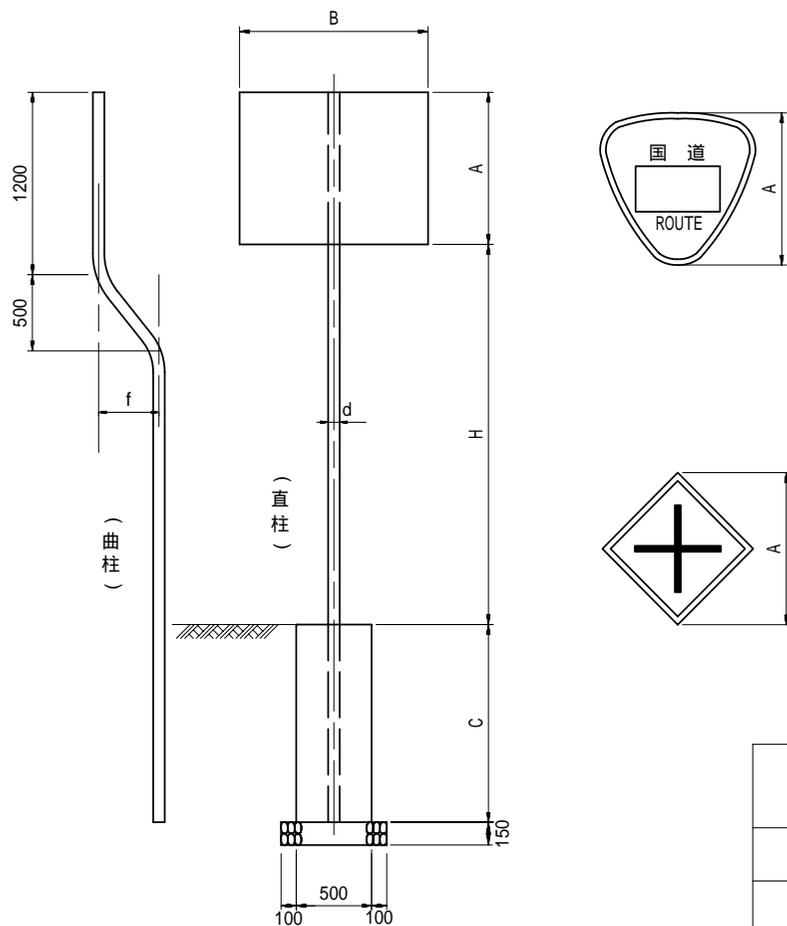
工種記号

(青森) DH

名

称

道路標識適用索引表



〔適用条件〕

標識板の横寸法(B)が、1,500mm未満の場合に適用する。

〔仕様〕

- 板下高さ(H)は、1,800mmを標準とするが、歩道等に設置する場合において、歩道等の幅員が歩行者等の交通量に対し十分でない場合、もしくは交通量にかかわらず、歩道にあっては最低1.5m程度、自転車道等にあっては最低2.0m程度より狭い場合においては、歩行者等の通行に対する障害を極力少なくする必要があるため、歩道等の建築限界である2,500mmとする。
また、積雪地域に設置する場合には当該地域の積雪深、除雪方法等を考慮して、積雪、堆雪による視認性が損なわれることのないように、並びに除雪の妨げとならないように2,500mmとする。
- 一般構造用炭素鋼管 J I S G 3444-2006 STK400
溶融亜鉛メッキ 2種 HD Z 55
合成樹脂静電粉体焼付(下地亜鉛メッキ)

〔設計表示方法〕

DHP-T-()-()-()-N=〇〇基
(型) (直or曲) (番号)

支柱記号	柱寸法 (d × t) (mm)	板下高 (H) (mm)
DHP-T-(1)-直	60.5×2.3	1,800
DHP-T-(1)-曲	曲柱 f=300	2,500
DHP-T-(2)-直	60.5×2.8	1,800
DHP-T-(2)-曲	曲柱 f=300	2,500
DHP-T-(3)-直	60.5×3.2	1,800
DHP-T-(3)-曲	曲柱 f=300	2,500
DHP-T-(4)-直	76.3×2.8	1,800
DHP-T-(4)-曲	曲柱 f=400	2,500
DHP-T-(5)-直	76.3×3.2	1,800
DHP-T-(5)-曲	曲柱 f=400	2,500
DHP-T-(6)-直	89.1×3.2	1,800
DHP-T-(6)-曲	曲柱 f=500	2,500

直柱番号

柱外径 (mm)	全長 (mm)	番号
60.5 76.3 89.1	3,000	1
	3,300	2
	3,500	3
	4,000	4
	4,200	5
	4,500	6
	5,000	7

曲柱番号

柱外径 (mm)	全長 (mm)	番号
60.5 76.3 89.1	3,800	1
	3,900	2
	4,000	3
	4,100	4
	4,200	5
	4,300	6
	4,400	7
	4,500	8
	4,700	9
	4,800	10
	4,900	11
	5,000	12
	5,100	13
	5,200	14

-0201

工種記号

(青森) DHP-T-()-()-()
(型) (直or曲) (番号)

名称

道路標識支柱 (単柱式)

〔適用条件〕

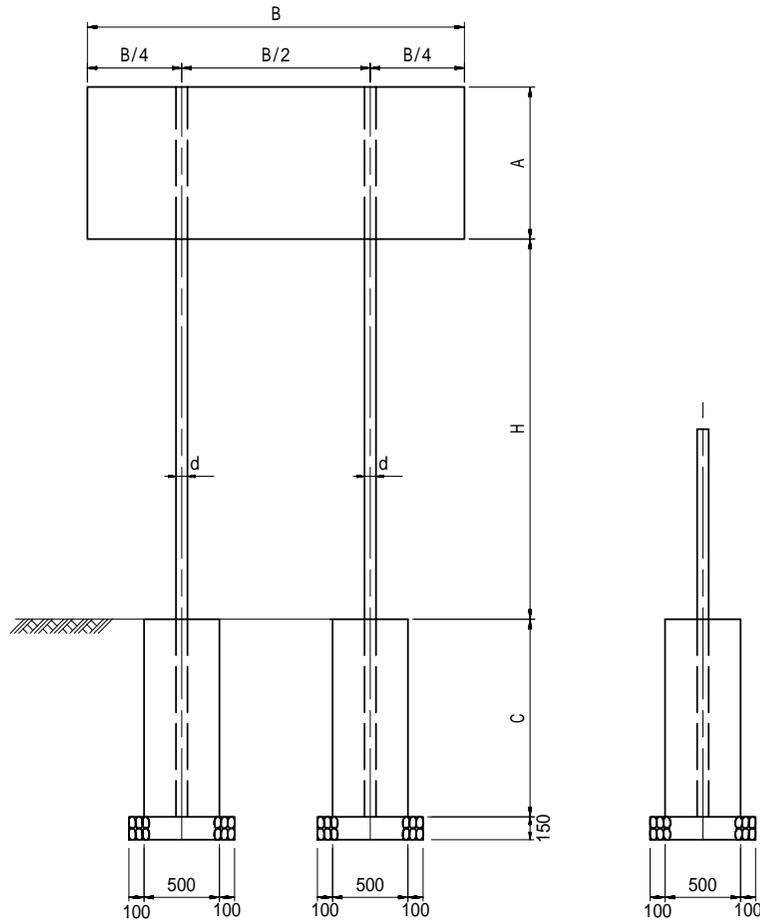
標識板の横寸法(B)が、1,500mm以上の場合に適用する。

〔仕様〕

- 板下高さ(H)は、1,800mmを標準とするが、歩道等に設置する場合において、歩道等の幅員が歩行者等の交通量に対し十分でない場合、もしくは交通量にかかわらず、歩道にあつては最低1.5m程度、自転車道等にあつては最低2.0m程度より狭い場合においては、歩行者等の通行に対する障害を極力少なくするため、歩道等の建築限界である2,500mmとする。
また、積雪地域に設置する場合には当該地域の積雪深、除雪方法等を考慮して、積雪、堆雪による視認性が損なわれることのないように、並びに除雪の妨げとならないように2,500mmとする。
- 一般構造用炭素鋼管 J I S G 3444-2006 STK400
溶融亜鉛メッキ 2種 H D Z 55
合成樹脂静電粉体焼付(下地亜鉛メッキ)

〔設計表示方法〕

D H P - W - () - () - N = ○ ○ 基
(型) (番号)



支柱記号	柱寸法 (d × t) (mm)	板下高 (H) (mm)
D H P - W - (1)	60.5 × 2.3	1,800
D H P - W - (2)	60.5 × 2.8	1,800
D H P - W - (3)	60.5 × 3.2	1,800
		2,500
D H P - W - (4)	76.3 × 2.8	1,800
		2,500

柱外径 (mm)	全長 (mm)	番号
60.5 76.3	3,000	1
	3,300	2
	3,500	3
	4,000	4
	4,200	5

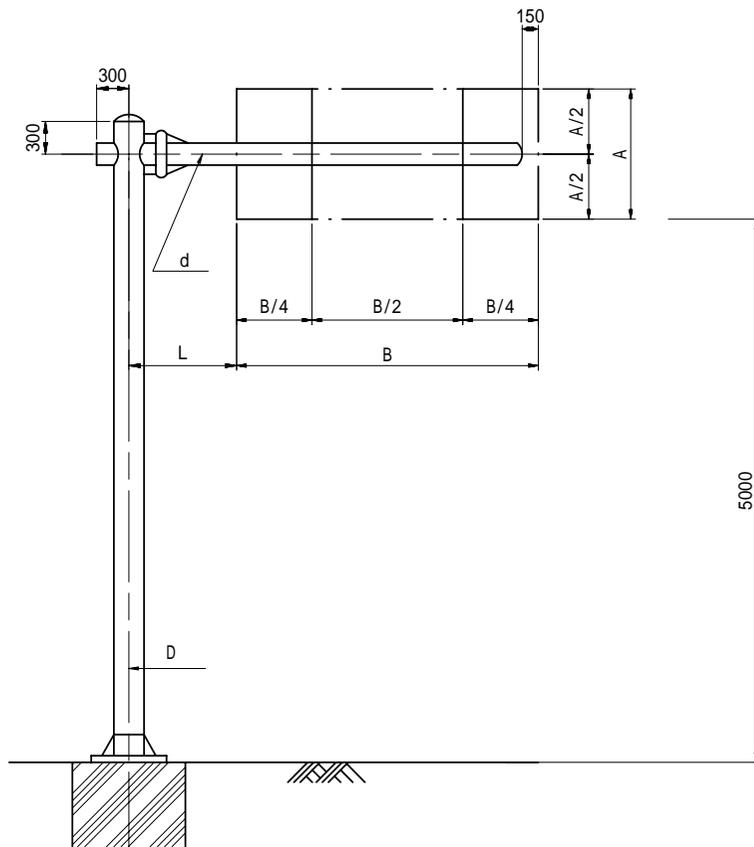
-0301

工種記号

(青森) D H P - W - () - ()
(型) (番号)

名 称

道路標識支柱 (複柱式)



〔適用条件〕

標識板の縦寸法(A)が、1500mm未満の場合に適用する。

〔仕様〕

1. 板下高さ(H)は、5,000mmを標準とする。
2. 張出長さ(L)については、標識板への障害が無く、視認性の良い場合は、1,000mmとする。
また、街路樹等が、標識板に影響を与える場合、もしくは現地条件等により、視認性を良くしたい場合には、2,500mmとする。
3. 鋼管 J I S G 3444-2006 STK400
鋼版、ボルト J I S G 3101-2004 S S 400
溶融亜鉛メッキ 2種 H D Z 55
合成樹脂静電粉体焼付 (下地亜鉛メッキ)
4. 形状、寸法、重量、及び支柱番号については、東北地方建設局制定「土木工事標準設計図表(道路標識編)」によること。

〔設計表示方法〕

DHP-KF1-()-()-N=〇〇基
(型) (番号)

支柱記号	張出長 (L) (mm)	柱材 (D × t) (mm)	梁材 (d × t) (mm)
DHP-KF1-(1)	1,000	139.8 × 4.5	101.6 × 3.2
	2,500	(15.0Kg/m)	(7.76Kg/m)
DHP-KF1-(2)	1,000	165.2 × 4.5	114.3 × 3.5
	2,500	(17.8Kg/m)	(9.56Kg/m)
DHP-KF1-(3)	1,000	190.7 × 5.3	139.8 × 4.5
	2,500	(24.2Kg/m)	(15.0Kg/m)
DHP-KF1-(4)	1,000	216.3 × 5.8	165.2 × 4.5
	2,500	(30.1Kg/m)	(17.8Kg/m)
DHP-KF1-(5)	1,000	267.4 × 6.6	190.7 × 5.3
	2,500	(42.4Kg/m)	(24.2Kg/m)

-0401

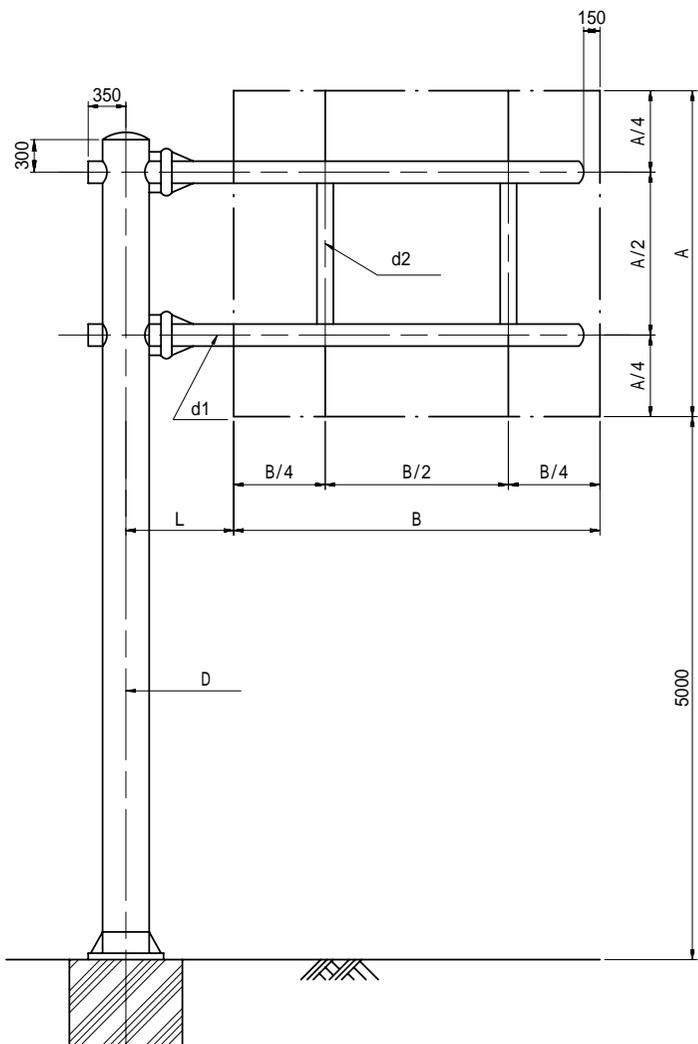
工種記号

(青森) DHP-KF1-(型)-(番号)

名

称

道路標識支柱 (片持式・梁材1本)



〔適用条件〕

標識板の縦寸法(A)が、1500mm以上の場合に適用する。

〔仕様〕

1. 板下高さ(H)は、5,000mmを標準とする。
2. 張出長さ(L)については、標識板への障害が無く、視認性の良い場合は、1,000mmとする。
また、街路樹等が、標識板に影響を与える場合、もしくは現地条件等により、視認性を良くしたい場合には、2,500mmとする。
3. 鋼管 J I S G 3444-2006 STK400
鋼版、ボルト J I S G 3101-2004 S S 400
溶融亜鉛メッキ 2種 H D Z 55
合成樹脂静電粉体焼付 (下地亜鉛メッキ)
4. 形状、寸法、重量、及び支柱番号については、東北地方建設局制定「土木工事標準設計図表(道路標識編)」によること。

〔設計表示方法〕

DHP-KF2-()-()-N=〇〇基
(型) (番号)

支柱記号	張出長 (L) (mm)	柱材 (D × t) (mm)	梁材 (d1 × t) (mm)	ツナギ材 (d2 × t) (mm)
DHP-KF2-(1)	1,000	216.3 × 5.8	101.6 × 4.2	76.3 × 3.2
	2,500	(30.1Kg/m)	(10.1Kg/m)	(5.77Kg/m)
DHP-KF2-(2)	1,000	267.4 × 6.6	139.8 × 4.5	101.6 × 4.2
	2,500	(42.4Kg/m)	(15.0Kg/m)	(10.1Kg/m)
DHP-KF2-(3)	1,000	318.5 × 6.9	165.2 × 4.5	114.3 × 4.5
	2,500	(53.0Kg/m)	(17.8Kg/m)	(12.2Kg/m)
DHP-KF2-(4)	1,000	406.4 × 6.4	190.7 × 5.3	139.8 × 4.5
	2,500	(63.1Kg/m)	(24.2Kg/m)	(15.0Kg/m)
DHP-KF2-(5)	1,000	406.4 × 7.9	216.3 × 5.8	139.8 × 4.5
	2,500	(77.6Kg/m)	(30.1Kg/m)	(15.0Kg/m)

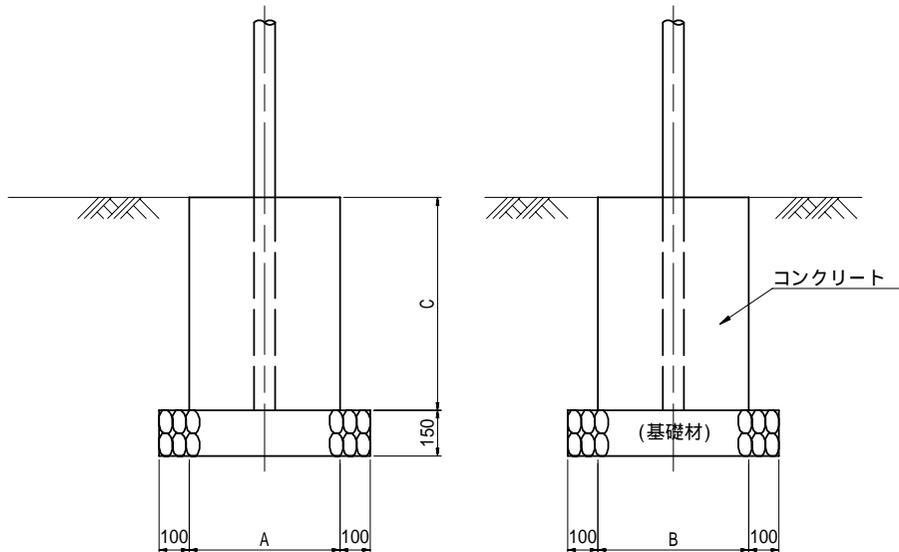
-0501

工種記号

(青森) DHP-KF2-(型)-(番号)

名 称

道路標識支柱 (片持式・梁材2本)



〔適用条件〕

支柱形式が、単柱式T型の場合に適用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 ck=18N/mm²
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）、又は、切込砕石（最大粒径80mm）とする。

〔設計表示方法〕

DHK-T-()-K()-N=〇〇基
 (型) (基礎材の種類)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）

寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)			参考数量表 (10基当り)					
	A	B	C	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基 礎 材		床掘 (m ³)	埋戻し (m ³)
						(m ³)	(m ²)		
DHK-T-1	500	500	500	1.3	10	0.7	5	12	10
DHK-T-2	500	500	600	1.5	12	0.7	5	14	12
DHK-T-3	500	500	700	1.8	14	0.7	5	17	14
DHK-T-4	500	500	800	2.0	16	0.7	5	19	16
DHK-T-5	500	500	900	2.3	18	0.7	5	21	18
DHK-T-6	500	500	1100	2.8	22	0.7	5	47	43

注) 土工数量は、オープン掘削の場合であり、土留工を必要とする場合等は適用できない。

-0601

工種記号

(青森) DHK-T-()
 (型)

名 称

道路標識基礎 (単柱式)

〔適用条件〕

支柱形式が、複柱式W型の場合に適用する。

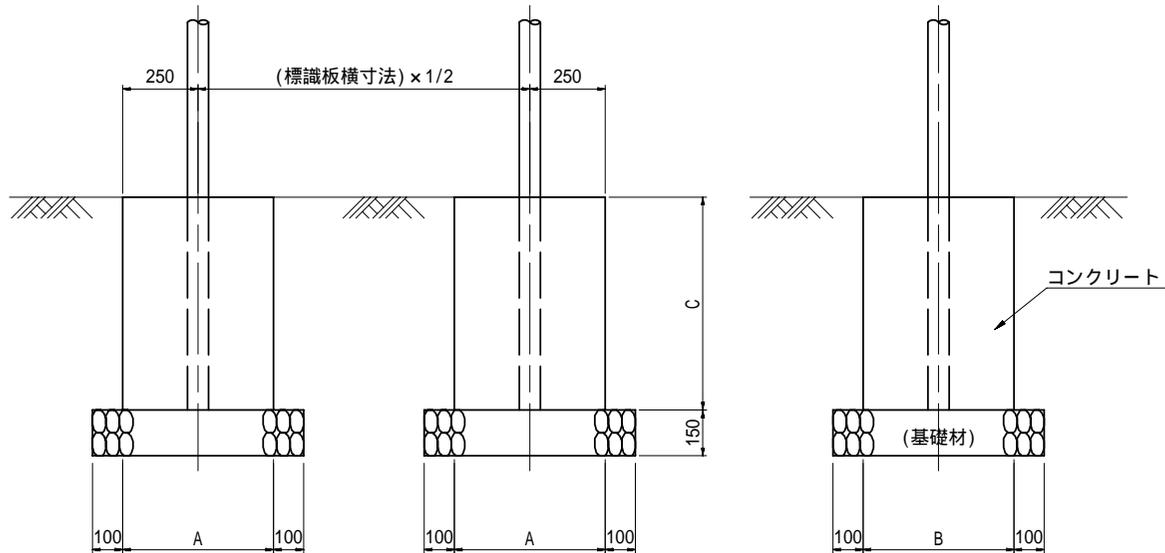
〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 ck=18N/mm²
2. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）、又は、切込砕石（最大粒径80mm）とする。

〔設計表示方法〕

DHK-W-()-K()-N=〇〇基
 (型) (基礎材の種類)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）



寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)			参考数量表 (10基当り)					
	A	B	C	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材		床掘 (m ³)	埋戻し (m ³)
						(m ³)	(m ²)		
DHK-W-1	500	500	700	3.5	28	1.5	10	25	20
DHK-W-2	500	500	800	4.0	32	1.5	10	29	23
DHK-W-3	500	500	900	4.5	36	1.5	10	32	26

設計数量は、標識1基当りにつき基礎2個分の数量である。

注) 土工数量は、オープン掘削の場合であり、土留工を必要とする場合等は適用できない。

また、標識板横寸法(B)を1,500mmで算出しているため、これ以外は別途算出すること。

-0701

工種記号

(青森) DHK-W-(型)

名 称

道路標識基礎 (複柱式)

〔適用条件〕

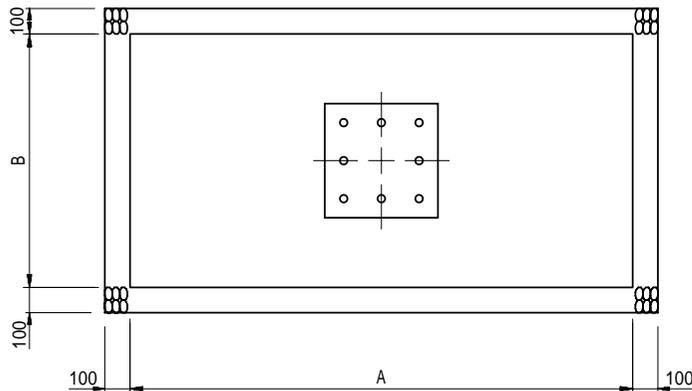
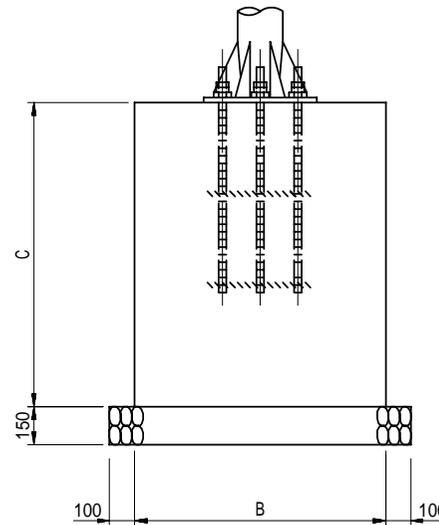
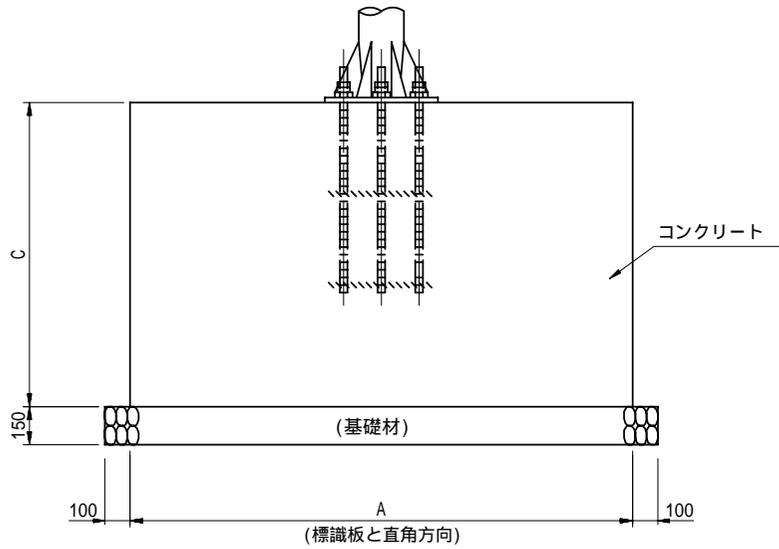
支柱形式が、片持式KF型の場合に適用し、直接基礎で、かつ基礎長さ(A)3,000mm以下の無筋構造物に使用し、平坦地盤にはDHK-KF1-()F型を、法肩部にはDHK-KF1-()S型を使用する。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 ck=18N/mm²
2. 基礎材は、再生砕石(最大粒径40mm)、又は、切込砕石(最大粒径80mm)とする。

〔設計表示方法〕

DHK-KF1-()-K()-N=〇〇基
(型) (基礎材の種類)



記号	基礎材の種類
K1	再生砕石(最大粒径40mm)
K2	切込砕石(最大粒径80mm)

寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)			参考数量表 (10基当り)					
	A	B	C	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	基礎材 (m ²)	床掘 (m ³)	埋戻し (m ³)
DHK-KF1-1F	1,000	1,000	1,200	12.0	48	2.2	14	83	69
DHK-KF1-2F	1,500	1,000	1,200	18.0	60	3.1	20	100	79
DHK-KF1-3F	2,000	1,000	1,200	24.0	72	4.0	26	116	88
DHK-KF1-4F	2,500	1,000	1,200	30.0	84	4.9	32	133	98
DHK-KF1-5F	3,000	1,000	1,200	36.0	96	5.8	38	149	108
DHK-KF1-1S	1,500	1,000	1,200	18.0	60	3.1	20	100	79
DHK-KF1-2S	1,500	1,200	1,200	21.6	65	3.6	24	108	83
DHK-KF1-3S	2,000	1,200	1,200	28.8	77	4.6	31	126	92
DHK-KF1-4S	2,500	1,200	1,200	36.0	89	5.7	38	144	102
DHK-KF1-5S	3,000	1,200	1,200	43.2	101	6.7	45	161	111

注) 土工数量は、オープン掘削の場合であり、土留工を必要とする場合等は適用できない。

アンカーボルト重量

支柱記号	重量 (kg/基)
DHP-KF1-(1)	28.04
DHP-KF1-(2)	28.04
DHP-KF1-(3)	46.48
DHP-KF1-(4)	48.40
DHP-KF1-(5)	52.16
DHP-KF2-(1)	48.40
DHP-KF2-(2)	69.12

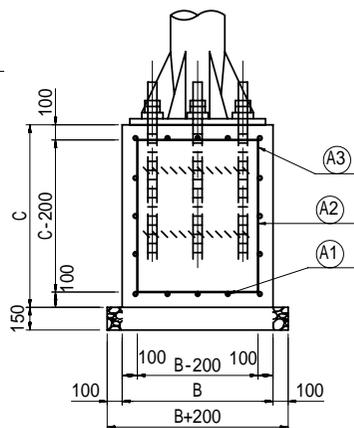
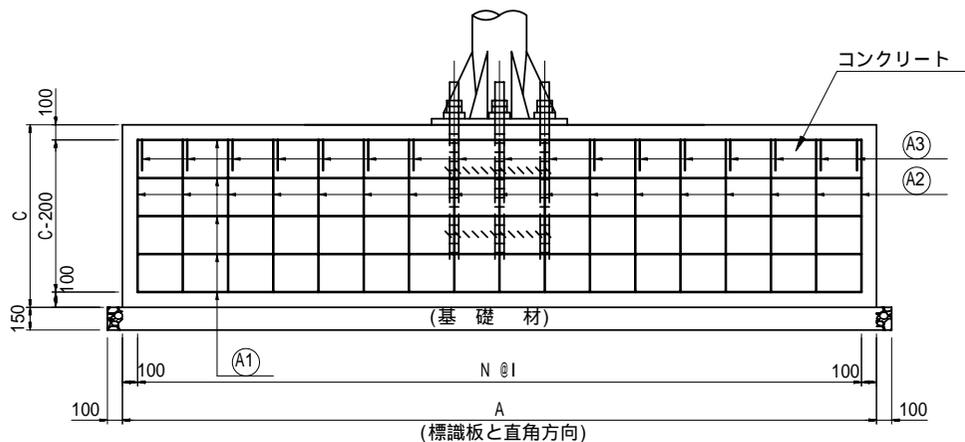
-0801

工種記号

(青森) DHK-KF1-()
(型)

名称

道路標識基礎 (片持式直接基礎・無筋)



〔適用条件〕

支柱形式が、片持式KF型の場合に適用し、直接基礎で、かつ基礎長さ(A) 3,500mm以上の鉄筋構造物に使用し、平坦地盤にはDHK-KF2-()F型を、法肩部にはDHK-KF2-()S型を使用する。

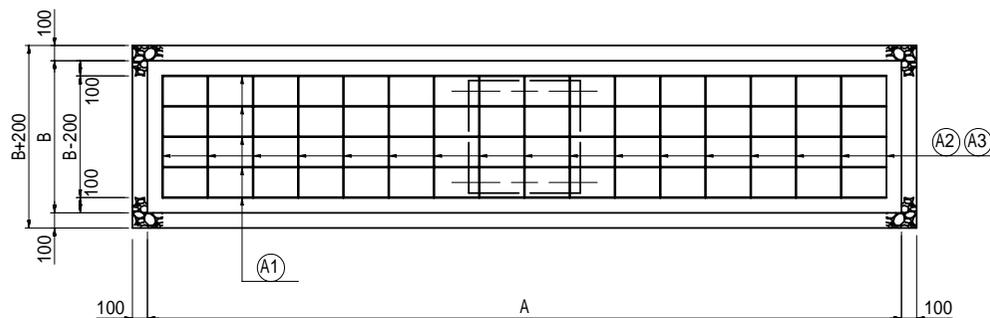
〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 ck=21N/mm²
2. 鉄筋コンクリート用棒鋼 JIS G 3112-2004 SD295
3. 基礎材は、再生砕石(最大粒径40mm)、又は、切込砕石(最大粒径80mm)とする。

〔設計表示方法〕

DHK-KF2-()-K()-N=〇〇基
(型) (基礎材の種類)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石(最大粒径40mm)
K2	切込砕石(最大粒径80mm)



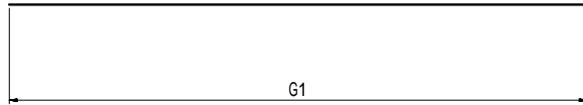
寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)					設計数量表 (10基当り)					
	A	B	C	ピッチ数 N	ピッチ I	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基 礎 材		床掘 (m ³)	埋戻し (m ³)
								(m ³)	(m ²)		
DHK-KF2-1F	3,500	1,000	1,200	11	300	42.0	108	6.7	44	166	117
DHK-KF2-2F	4,000	1,000	1,200	13	292	48.0	120	7.6	50	182	127
DHK-KF2-3F	4,500	1,000	1,200	15	287	54.0	132	8.5	56	199	136
DHK-KF2-4F	5,000	1,000	1,200	16	300	60.0	144	9.4	62	215	146
DHK-KF2-5F	5,000	1,200	1,200	16	300	72.0	149	10.9	73	233	150
DHK-KF2-1S	3,500	1,200	1,400	11	300	58.8	132	7.8	52	219	152
DHK-KF2-2S	4,500	1,200	1,400	15	286	75.6	160	9.9	66	262	176
DHK-KF2-3S	4,500	1,400	1,400	15	286	88.2	165	11.3	75	280	181
DHK-KF2-4S	5,000	1,200	1,400	16	300	84.0	174	10.9	73	283	188
DHK-KF2-5S	5,000	1,400	1,400	16	300	98.0	179	12.5	83	303	193
DHK-KF2-6S	6,000	1,400	1,400	20	290	117.6	207	14.9	99	349	217

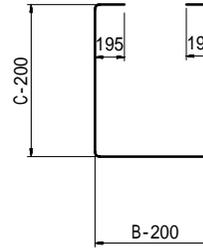
注) 土工数量は、オープン掘削の場合であり、土留工を必要とする場合等は適用できない。

-0901	工種記号 (青森) DHK-KF2-() (型)	名 称 道路標識基礎 (片持式直接基礎・鉄筋)
-------	------------------------------	-------------------------

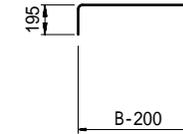
鉄筋加工図



Ⓐ1 N1-D13 × G1



Ⓐ2 N2-D13 × G2



Ⓐ3 N3-D13 × G3

鉄筋表

(1基当り)

記号	A1					A2					A3					鉄筋総重量 (kg)
	鉄筋径 (mm)	本数 N1 (本)	1本当り長さ G1 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	鉄筋径 (mm)	本数 N2 (本)	1本当り長さ G2 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	鉄筋径 (mm)	本数 N3 (本)	1本当り長さ G3 (mm)	単位重量 (kg/m)	重量 (kg)	
DHK-KF2-1F	D13	16	3,330	0.995	53.0	D13	12	3,190	0.995	38.1	D13	12	1,190	0.995	14.2	105.3
DHK-KF2-2F	D13	16	3,830	0.995	61.0	D13	14	3,190	0.995	44.4	D13	14	1,190	0.995	16.6	122.0
DHK-KF2-3F	D13	16	4,330	0.995	68.9	D13	16	3,190	0.995	50.8	D13	16	1,190	0.995	18.9	138.7
DHK-KF2-4F	D13	16	4,830	0.995	76.9	D13	17	3,190	0.995	54.0	D13	17	1,190	0.995	20.1	151.0
DHK-KF2-5F	D13	16	4,830	0.995	76.9	D13	17	3,390	0.995	57.3	D13	17	1,390	0.995	23.5	157.7
DHK-KF2-1S	D13	16	3,330	0.995	53.0	D13	12	3,790	0.995	45.3	D13	12	1,390	0.995	16.6	114.9
DHK-KF2-2S	D13	16	4,330	0.995	68.9	D13	16	3,790	0.995	60.3	D13	16	1,390	0.995	22.1	151.4
DHK-KF2-3S	D13	16	4,330	0.995	68.9	D13	16	3,990	0.995	63.5	D13	16	1,590	0.995	25.3	157.8
DHK-KF2-4S	D13	16	4,830	0.995	76.9	D13	17	3,790	0.995	64.1	D13	17	1,390	0.995	23.5	164.5
DHK-KF2-5S	D13	16	4,830	0.995	76.9	D13	17	3,990	0.995	67.5	D13	17	1,590	0.995	26.9	171.3
DHK-KF2-6S	D13	16	5,830	0.995	92.8	D13	21	3,990	0.995	83.4	D13	21	1,590	0.995	33.2	209.4

アンカーボルト重量

支柱記号	重量 (kg/基)
DHP-KF2-(2)	69.12
DHP-KF2-(3)	71.04
DHP-KF2-(4)	125.52
DHP-KF2-(5)	125.52

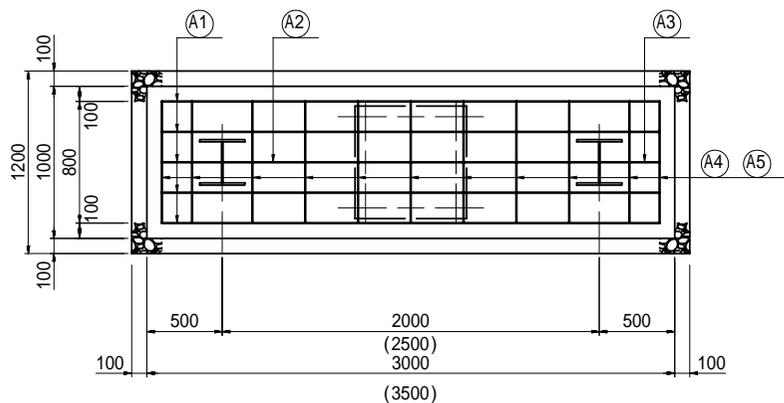
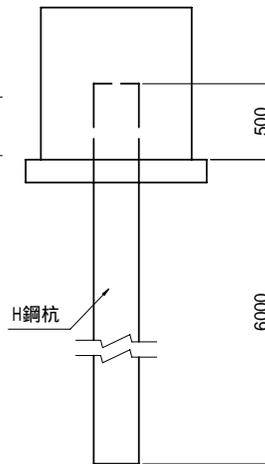
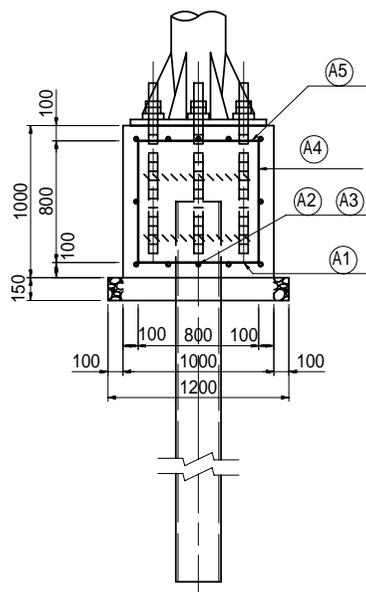
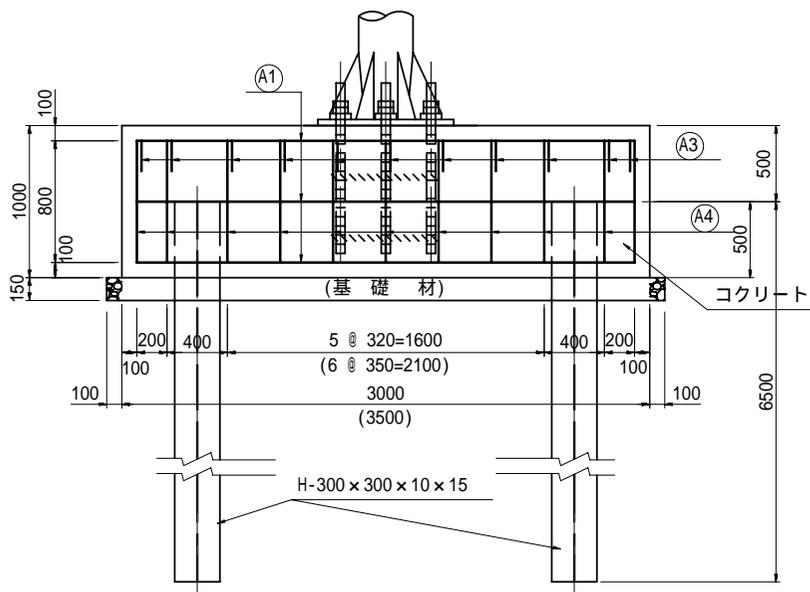
-1001

工種記号

(青森) DHK-KF2-()
(型)

名称

道路標識基礎 (片持式直接基礎・鉄筋)



〔適用条件〕

支柱形式が、片持式KF2型の場合に適用し、杭基礎に使用し、平坦地盤を対象とする。

〔仕様〕

1. コンクリート 呼び強度 $c k=21N/mm^2$
2. 鉄筋コンクリート用棒鋼 JIS G3112-2004 SD295A
H型鋼杭 JIS G3102-2004 SHK400
3. 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）、又は、切込砕石（最大粒径80mm）とする。

〔設計条件〕

杭基礎については、N値10と仮定して、先端支持力を考慮できる場合とする。

〔設計表示方法〕

DHK-KF3-()-K()-N=〇〇基
(型) (基礎材の種類)

記号	基礎材の種類
K1	再生砕石（最大粒径40mm）
K2	切込砕石（最大粒径80mm）

注()無しはDHK-KF3-1
()付きはDHK-KF3-2を示す。

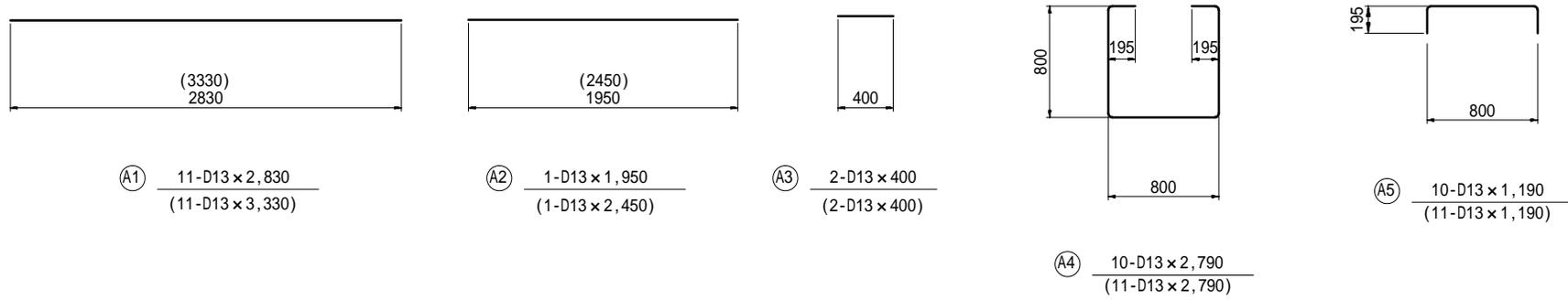
寸法表 及び 材料表

記号	寸法表 (mm)			設計数量表 (10基当り)					
	A	B	C	コンクリート (m3)	型 枠 (m2)	基礎材 (m3)		床掘 (m3)	埋戻し (m3)
DHK-KF3-1	3,000	1,000	1,000	30.0	80	5.8	38	118	83
DHK-KF3-2	3,500	1,000	1,000	35.0	90	6.7	44	132	90

注) 土工数量は、オープン掘削の場合であり、土留工を必要とする場合等は適用できない。

-1101	工種記号 (青森) DHK-KF3-(型)	名 称 道路標識基礎 (片持式杭基礎・鉄筋)
-------	-----------------------	------------------------

鉄筋加工図



注) ()無しはDHK-KF3-1型を、()付きはDHK-KF3-2型を示す。

アンカーボルト重量

支柱記号	重量 (kg/基)
DHP-KF2-(4)	125.52
DHP-KF2-(5)	125.52

鋼材表

(1基当り)

記号	鉄筋																	鉄筋 総重量 (Kg)	H鋼杭 (L=6.5m) H-300×H300×10×15 94Kg/m×6.5m×2本 (Kg)
	鉄筋径 (mm)	単位重量 (Kg/m)	A1			A2			A3			A4			A5				
			本数 (本)	1本当り長さ (mm)	重量 (Kg)	本数 (本)	1本当り長さ (mm)	重量 (Kg)	本数 (本)	1本当り長さ (mm)	重量 (Kg)	本数 (本)	1本当り長さ (mm)	重量 (Kg)	本数 (本)	1本当り長さ (mm)	重量 (Kg)		
DHK-KF3-1	D13	0.995	11	2,830	31.0	1	1,950	1.9	2	400	0.8	10	2,790	27.8	10	1,190	11.8	73.3	1,222
DHK-KF3-2	D13	0.995	11	3,330	36.4	1	2,450	2.4	2	400	0.8	11	2,790	30.5	11	1,190	13.0	83.2	1,222

-1201

工種記号

(青森) DHK-KF3-()
(型)

名称

道路標識基礎 (片持式杭基礎・鉄筋)